

平成28年度
札幌市の障がい福祉施策に係る
障がい児者実態等調査

報 告 書
(概要版)

平成29年2月

札 幌 市

目次

I	調査概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査方法	2
4	調査期間および調査基準日	2
5	回収状況	3
6	集計・分析上の注意事項	3
II	障がい者調査	5
II-1	障がい者調査	5
1	あなたのこと、世帯の状況について	5
2	心身の状況について	9
3	障がい福祉サービスについて	14
4	外出の状況	17
5	仕事など	20
6	運動（スポーツ）について	25
7	生活の場について	27
8	防災について	28
9	制度や政策等について	30
II-2	障がい児調査	34
1	あなたのこと、世帯の状況について	34
2	心身の状況について	38
3	障がい福祉サービスについて	42
4	外出の状況	46
5	学校・日中の過ごし方など	48
6	防災について	50
7	制度や政策等について	52
II-3	難病患者調査	56
1	あなたのこと、世帯の状況について	56
2	心身の状況について	60
3	障がい福祉サービスについて	65
4	外出の状況	68
5	仕事など	71
6	運動（スポーツ）について	76
7	生活の場について	78
8	防災について	79

9	制度や政策等について	81
II-4	施設入所者調査（身体障がい者・知的障がい者）	85
1	年齢	85
2	性別	85
3	入所期間	86
4	障害者総合支援法による障害程度区分について	86
5	地域生活への移行について	87
6	退所の可能性について	88
7	施設の取組など	94
II-5	精神科病院入院患者調査	97
1	年齢	97
2	性別	97
3	収入	98
4	精神障害者福祉手帳等区分	98
5	入院形態	99
6	疾患名	99
7	在院期間	100
8	入院時の住所	100
9	症状	101
10	退院に向けての要件について	102
II-6	市民意識調査	106
1	あなたのこと、世帯の状況について	106
2	障がいのある人とのかかわりについて	107
3	障がいのある人が働く店について	111
4	障害者権利条約などについて	117
5	札幌市の施策について	119

I 調査概要

1 調査の目的

障がい者（児）の生活や活動状況、障害福祉サービス等の利用状況などを把握し、さっぽろ障がい者プランの改定、札幌市の障がい福祉施策の検討のための基礎資料等とすることを目的とした。

2 調査対象

(1) 調査対象者

①障がい者調査（いずれも 18 歳以上）

- ・札幌市内に居住する身体障害者手帳の被交付者
- ・札幌市内に居住する療育手帳の被交付者
- ・札幌市内に居住する精神障害者保健福祉手帳の被交付者

②障がい児調査（いずれも 18 歳未満）

- ・札幌市内に居住する身体障害者手帳の被交付者
- ・札幌市内に居住する療育手帳の被交付者

③難病患者調査

- ・難病患者団体の会員の方

④施設入所者調査

- ・札幌市内の障がい者入所施設を利用している方を対象とし、施設長等に回答を依頼した。

⑤精神科病院入院患者調査

- ・札幌市内の精神科病院の入院患者を対象とし、院長等に回答を依頼した。

⑥市民意識調査

- ・札幌市内に居住する 18 歳以上の市民

(2) 対象者の抽出

- ・身体障がい者（児）については「身体障害者手帳交付台帳」を、知的障がい者（児）については「療育手帳交付台帳」をもとに対象者数を抽出した。
- ・身体障がい者（児）と知的障がい者（児）の対象者数については、平成 25 年度調査を参考に回収率を定め、抽出率を設定した。
- ・精神障がい者については「精神障害者保健福祉手帳」をもとに対象者数を抽出した。
- ・市民意識調査は、平成 25 年度調査を参考に抽出率を設定した。

(3) 抽出方法

- ・身体障がい者（児）については、障がい区分（視覚、聴覚、平衡機能、音声・言語、そしゃく機能、肢体不自由、内部障がい）および障がい程度（重度、中度、軽度）の比率により各区分を層化し、各層から無作為に抽出した。
- ・精神障がい者については、精神障害者保健福祉手帳種別の比率により層化し、各層から無作為に抽出した。
- ・知的障がい者（児）については、療育手帳種別の比率により層化し、各層から無作為に抽出した。
- ・市民意識調査については、住民基本台帳から無作為に抽出した。

図表 I-1-1 調査対象 抽出数 （単位：票）

調査種別	手帳交付者数	抽出数	想定有効回答数
1 障がい者調査			
身体障がい者	82,625	2,000	1,000
知的障がい者	11,968	2,000	1,000
精神障がい	23,715	2,000	1,000
2 障がい児調査			
身体障がい者	1,596	500	250
知的障がい者	4,698	500	250
合計	124,602	7,000	3,500

調査種別	抽出数	想定有効回答数
3 難病患者調査	500	250

調査種別	施設数	抽出数	想定有効回答数
4 施設入所者数	30	30	悉皆
5 精神科病院入院患者調査	38	38	悉皆
合計	68	68	悉皆

調査種別	人口 (平成28年10月1日時点で、札幌市に住 民登録している満18歳以上の住民)	抽出数	想定有効回答数
6 市民意識調査	1,674,423	3,000	1,500

3 調査方法

(1) 障がい者（児）調査

郵送により調査票を発送・回収した。

(2) 施設・病院調査

電子メールにより調査票を送信・回収した。

(3) 市民意識調査・難病患者調査

郵送により調査票を送信・回収した。

4 調査期間および調査基準日

調査期間は平成28年11月16日から12月7日までとし、調査基準日は平成28年11月1日とした。

なお、難病患者調査のみ、調査期間は平成28年12月7日から12月25日までとした。

5 回収状況

本調査の回収状況については、次表のとおりである。

図表 I-1-2 回収状況（単位：票）

調査種別	発送数	回収数	回収率
1 障がい者調査	6,000	3,039	50.7%
2 障がい児調査	1,000	466	46.6%
3 難病患者調査	500	108	21.6%
4 施設入所者数	30	27	90.0%
5 精神科病院入院患者調査	38	24	63.2%
6 市民意識調査	3,000	1,094	36.5%
合計	10,568	4,758	45.0%

※「4 施設入所者数」および「5 精神科病院入院患者調査」は施設数とする。

6 集計・分析上の注意事項

図表の凡例は以下のとおりである。

- ・ <SA> …シングルアンサー（単一回答）
- ・ <MA> …マルチアンサー（複数回答）
- ・ N…サンプルサイズ

「無回答」とは、回答が記載されていないなどの理由によって回答内容が不明であることを示す。

マルチアンサー設問<MA>では、表記の割合の合計は 100%を超える。また、シングルアンサー設問<SA>に関しても、表記の割合は選択肢ごとに小数点第二位を四捨五入しているため、合計が 100%にならない場合がある。

II 障がい者調査

II-1 障がい者調査

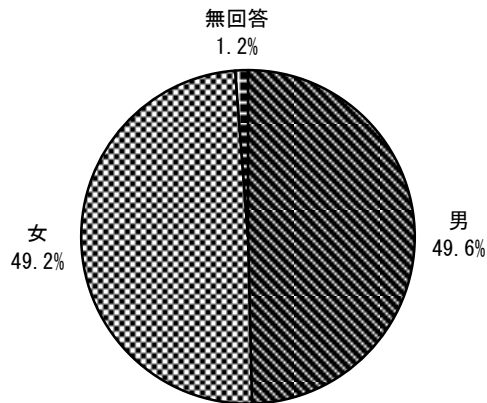
1 あなたのこと、世帯の状況について

(1) 性別

問1 あなたの性別に○をつけてください。

性別は、「男性」が49.6%、「女性」が49.2%と、ほぼ同数となっている。

図表 II-1-1 性別〈SA〉 (N=3,039)

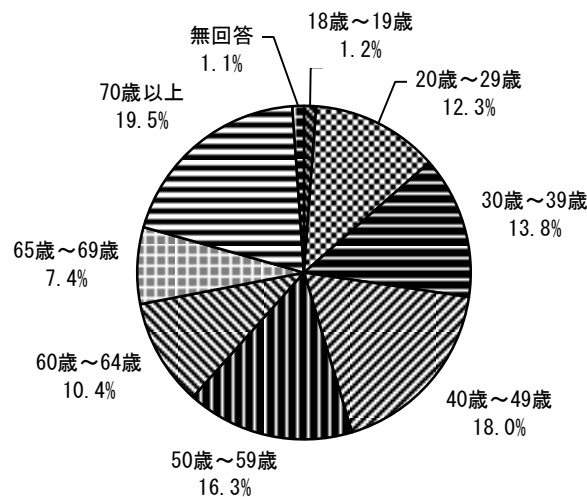


(2) 年齢

問2 あなたの年齢について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

年齢は、「70歳以上」が19.5%と最も高く、次いで「40～49歳」が18.0%となっている。

図表 II-1-2 年齢〈SA〉 (N=3,039)

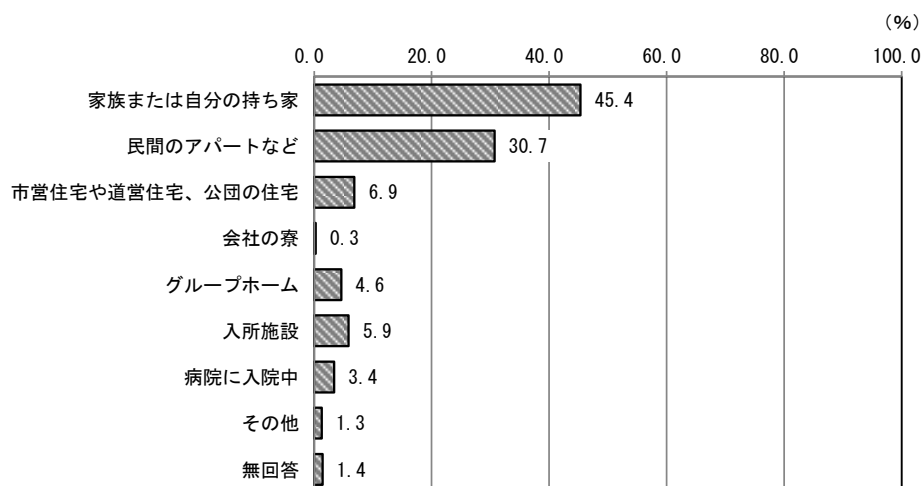


(3) 生活している場所

問3 あなたは、現在どこで生活していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

生活している場所は、「家族または自分の持ち家」が45.4%と最も高く、次いで「民間のアパートなど」が30.7%となっている。

図表Ⅱ-1-3 生活している場所〈SA〉 (N=3,039)

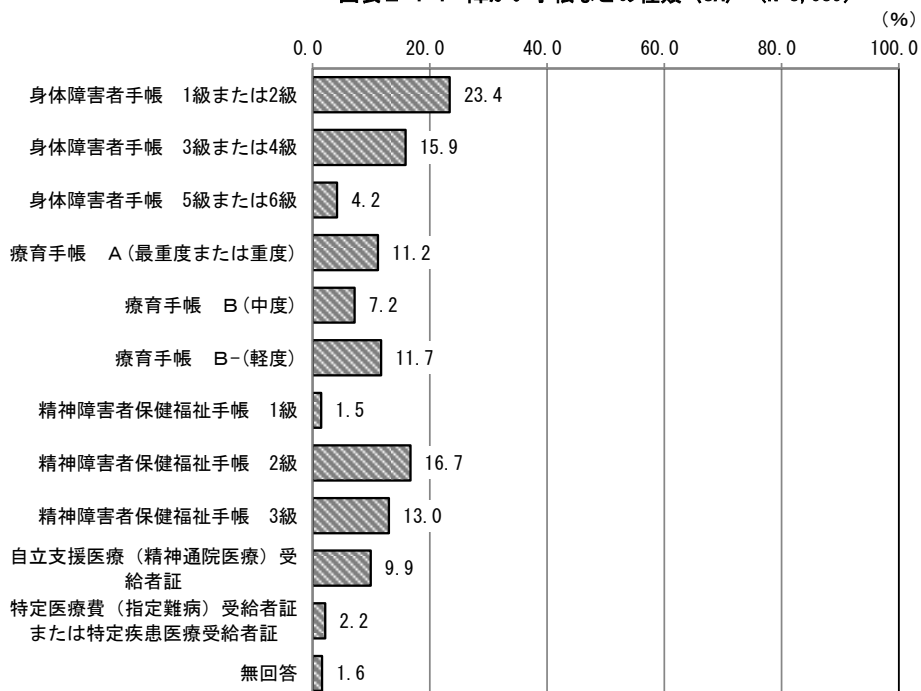


(4) 障がい手帳などの種類

問4 あなたが持っている障がい者手帳などの種類はどれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

障がい者手帳などの種類は、「身体障害者手帳 1級または2級」が23.4%と最も高く、次いで「精神障害者保健福祉手帳 2級」が16.7%となっている。

図表Ⅱ-1-4 障がい手帳などの種類〈SA〉 (N=3,039)

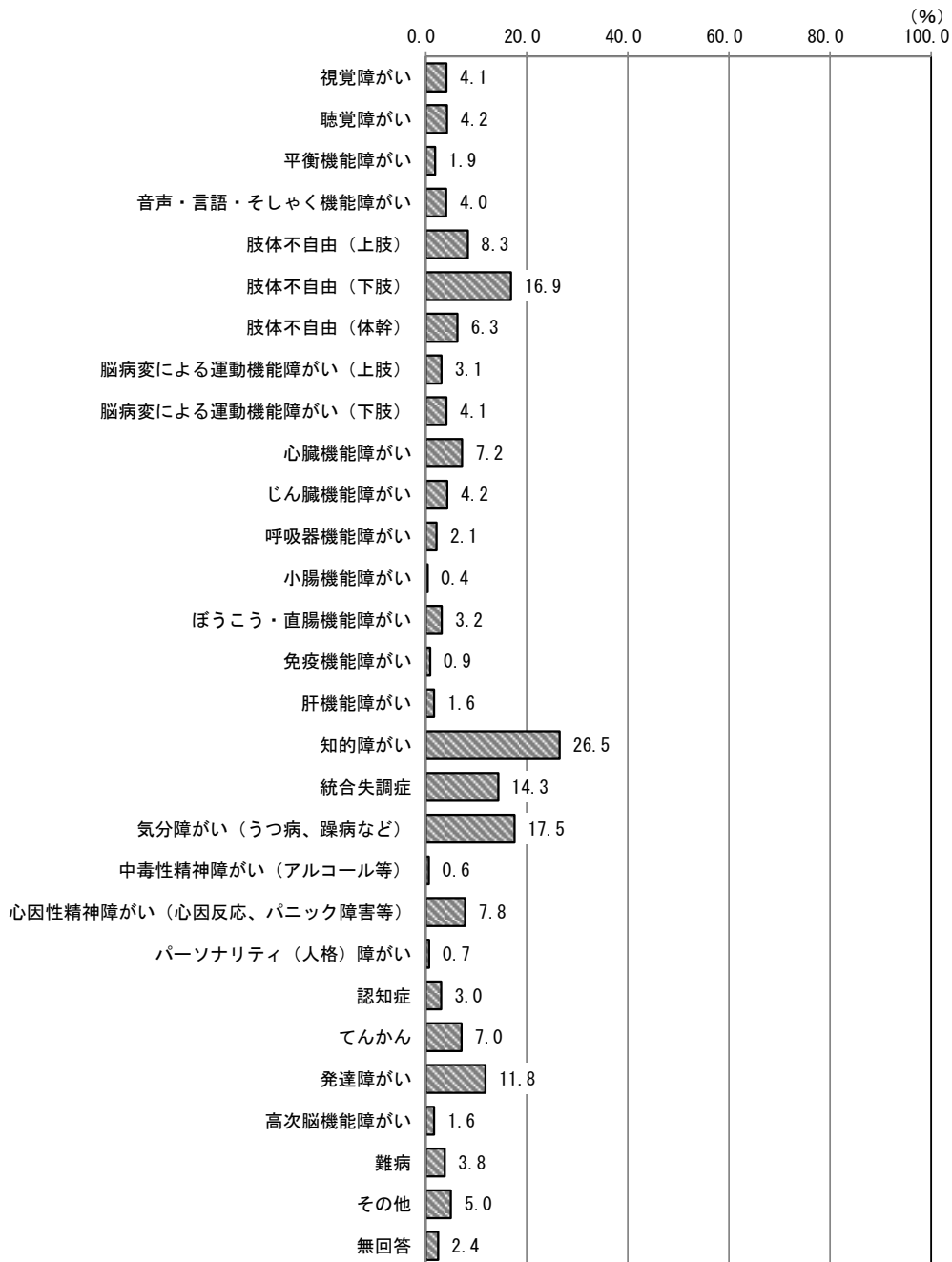


(5) 障がいや疾病の種類

問5 あなたの障がいや疾病で、あてはまるものすべてに○をつけてください。

障がいや疾病の種類は、「知的障がい」が26.5%と最も高く、次いで「気分障がい（うつ病、躁病など）」が17.5%となっている。

図表 II-1-5 障がいや疾病の種類〈MA〉 (N=3,039)



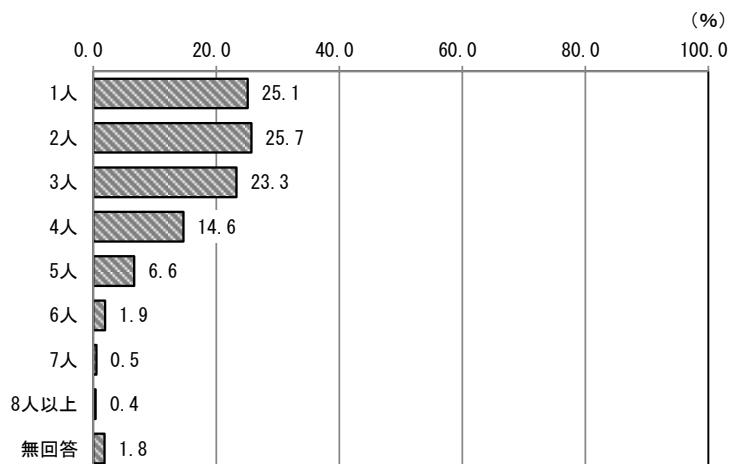
(6) 一緒に住んでいる家族の人数

問6 家族のことでおしえてください。

(1) あなたは何人家族ですか。

一緒に住んでいる家族の人数は、「2人」が25.7%と最も高く、次いで「1人」が25.1%となっている。

図表Ⅱ-1-6 一緒に住んでいる家族の人数〈SA〉 (N=3,039)



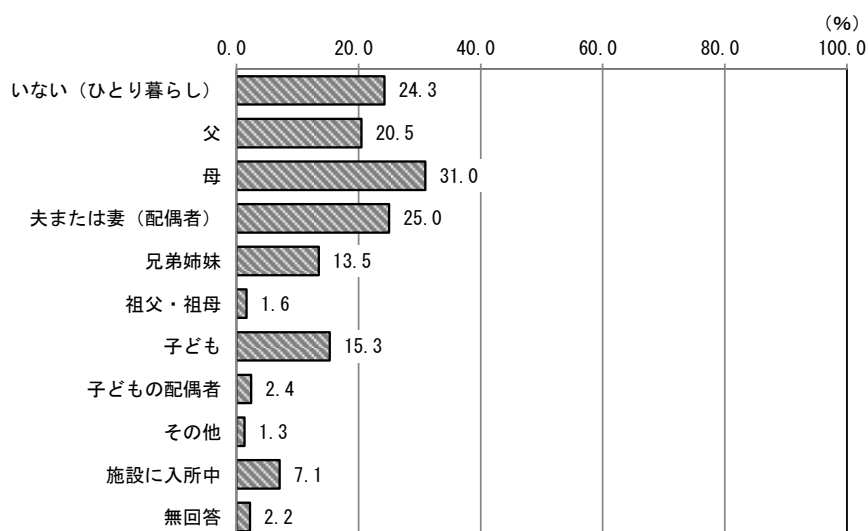
(7) 一緒に住んでいる人

問6 家族のことでおしえてください。

(2) 一緒に住んでいる人はだれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

一緒に住んでいる人は、「母」が31.0%と最も高く、次いで「夫または妻（配偶者）」が25.0%となっている。

図表Ⅱ-1-7 一緒に住んでいる人〈MA〉 (N=3,039)



2 心身の状況について

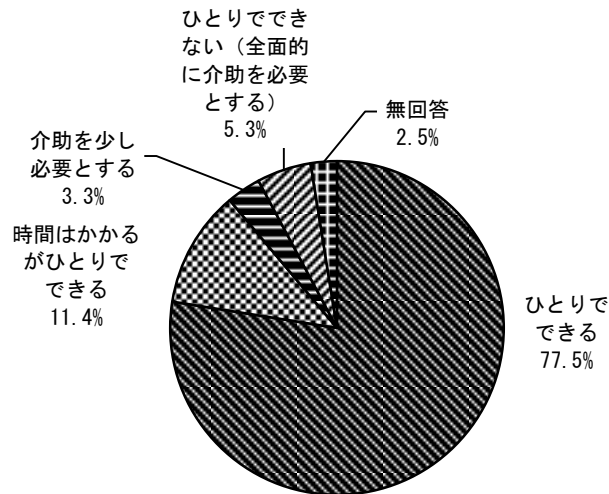
(1) 自立性

問7 あなたは、日常生活の中で、次の項目をひとりでできますか。それぞれの項目についてあてはまる番号1つに○をつけてください。

① 家の中の移動

家の中の移動は、「ひとりでできる」が77.5%と最も高く、次いで「時間はかかるがひとりでできる」が11.4%となっている。

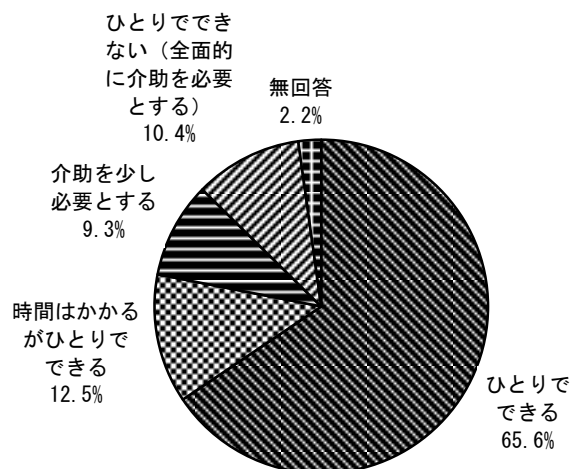
図表Ⅱ-1-8 家の中の移動〈SA〉(N=3,039)



② 入浴

入浴は、「ひとりでできる」が65.6%と最も高く、次いで「時間はかかるがひとりでできる」が12.5%となっている。

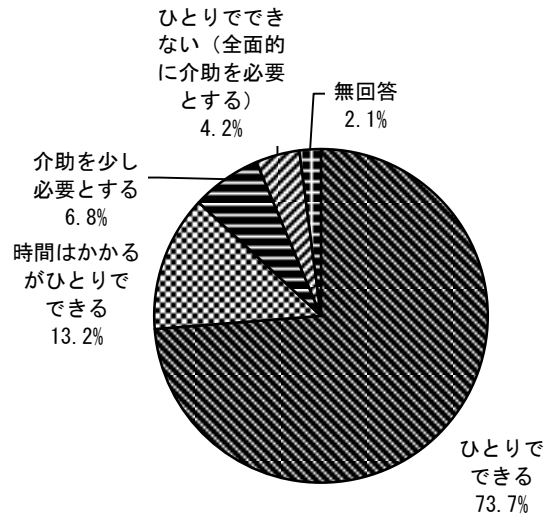
図表Ⅱ-1-9 入浴〈SA〉(N=3,039)



③ 食事

食事は、「ひとりでできる」が73.7%と最も高く、次いで「時間はかかるがひとりでできる」が13.2%となっている。

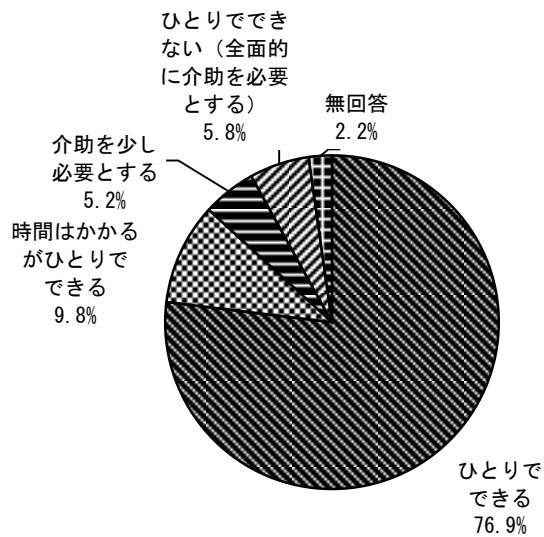
図表Ⅱ-1-10 食事〈SA〉(N=3,039)



④ トイレ

トイレは、「ひとりでできる」が76.9%と最も高く、次いで「時間はかかるがひとりでできる」が9.8%となっている。

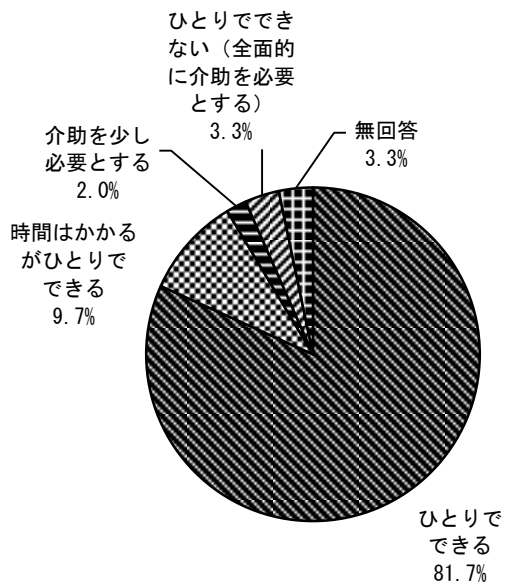
図表Ⅱ-1-11 トイレ〈SA〉(N=3,039)



⑤ 寝返り

寝返りは、「ひとりでできる」が81.7%と最も高く、次いで「時間はかかるがひとりでできる」が9.7%となっている。

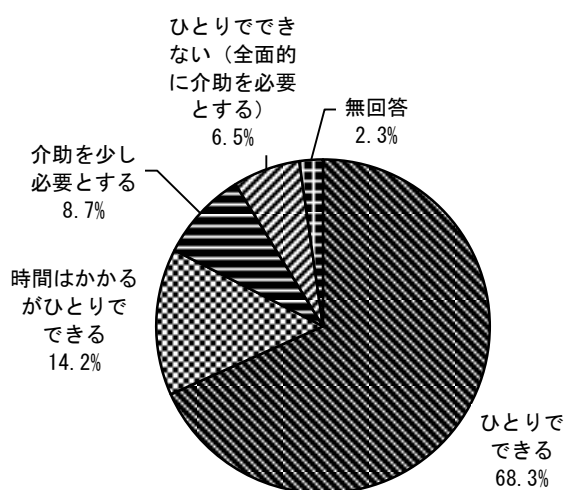
図表Ⅱ-1-12 寝返り〈SA〉 (N=3,039)



⑥ 着替えや洗顔、歯みがきなど

着替えや洗顔、歯みがきなどは、「ひとりでできる」が68.3%と最も高く、次いで「時間はかかるがひとりでできる」が14.2%となっている。

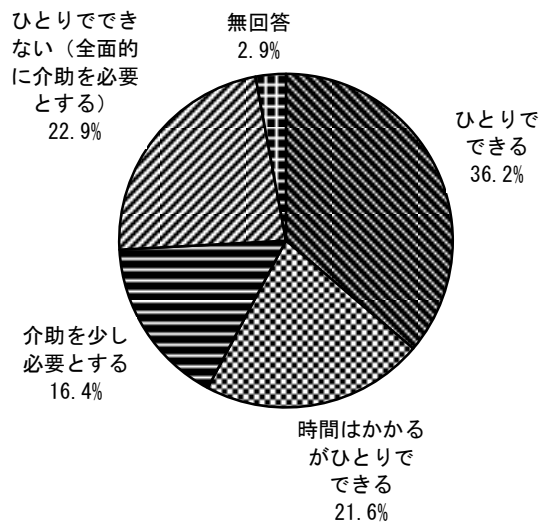
図表Ⅱ-1-13 着替えや洗顔、歯みがきなど〈SA〉 (N=3,039)



⑦ 家事（調理・掃除・洗濯等）

家事（調理・掃除・洗濯等）は、「ひとりでできる」が 36.2%と最も高く、次いで「ひとりでできない（全面的に介助を必要とする）」が 22.9%となっている。

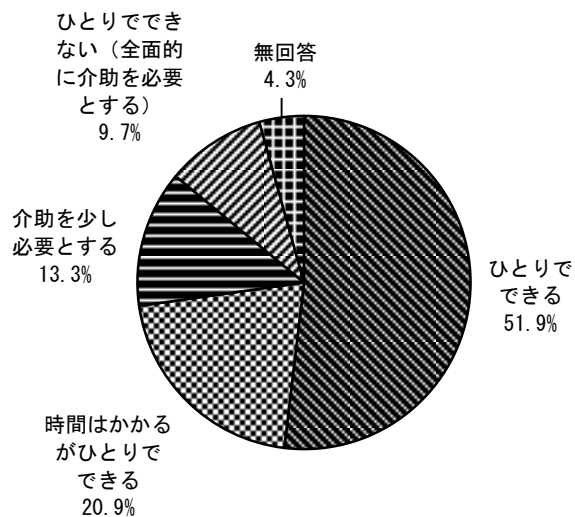
図表Ⅱ-1-14 家事（調理・掃除・洗濯等）〈SA〉（N=3,039）



⑧ 家族以外の人との意思の疎通

家族以外の人との意思の疎通は、「ひとりでできる」が 51.9%と最も高く、次いで「時間はかかるがひとりでできる」が 20.9%となっている。

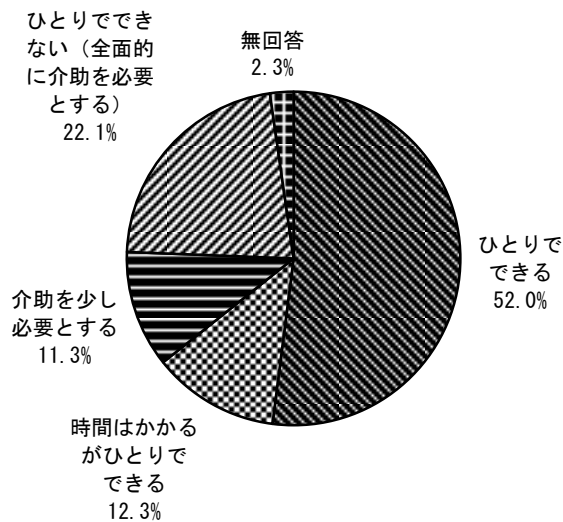
図表Ⅱ-1-15 家族以外の人との意思の疎通〈SA〉（N=3,039）



⑨ お金の管理

お金の管理は、「ひとりでできる」が52.0%と最も高く、次いで「ひとりでできない（全面的に介助を必要とする）」が22.1%となっている。

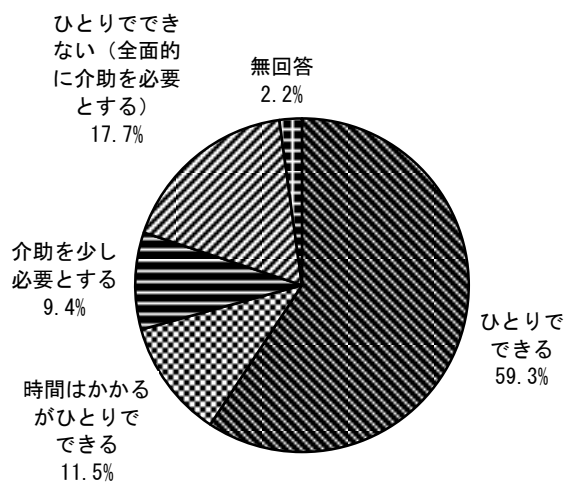
図表Ⅱ-1-16 お金の管理〈SA〉（N=3,039）



⑩ 薬の管理

薬の管理は、「ひとりでできる」が59.3%と最も高く、次いで「ひとりでできない（全面的に介助を必要とする）」が17.7%となっている。

図表Ⅱ-1-17 薬の管理〈SA〉（N=3,039）



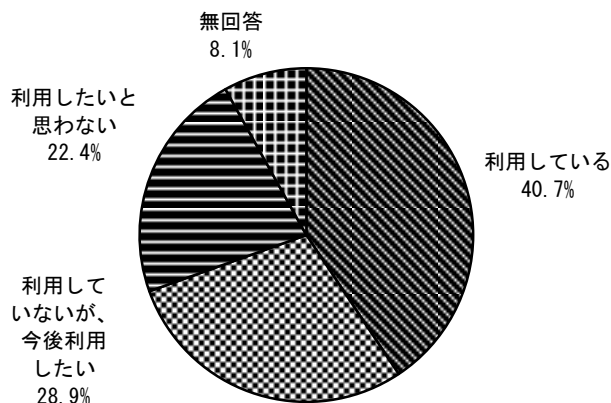
3 障がい福祉サービスについて

(1) 障がい福祉サービス（障害者総合支援法）の利用

問 8 あなたは、現在、障がい福祉サービス（障害者総合支援法）を利用していますか。

障がい福祉サービス（障害者総合支援法）の利用は、「利用している」が 40.7%と最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」が 28.9%となっている。

図表Ⅱ-1-18 障がい福祉サービス（障害者総合支援法）の利用
〈SA〉（N=3,039）



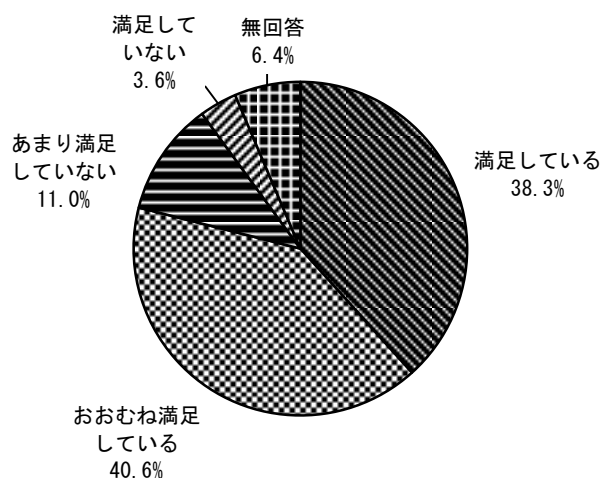
(2) 満足度

問 8-1 あなたは、現在受けている障がい福祉サービス（障害者総合支援法）に満足していますか。それぞれの項目についてあてはまる番号1つに○をつけてください。

① 支給決定の内容（サービスを利用できる時間数）

支給決定の内容（サービスを利用できる時間数）は、「おおむね満足している」が 40.6%と最も高く、次いで「満足している」が 38.3%となっている。

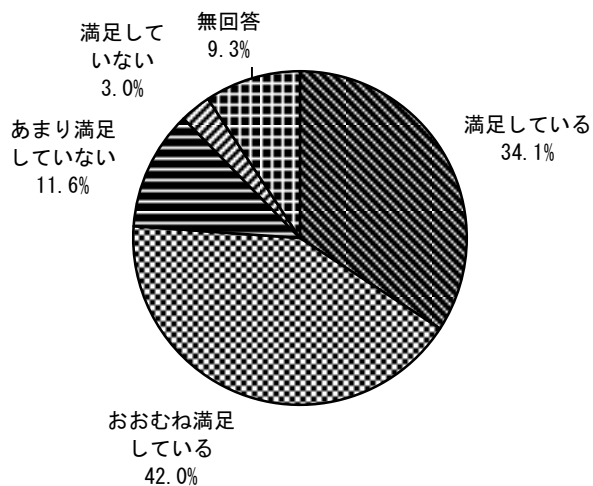
図表Ⅱ-1-19 満足度〔支給決定の内容（サービスを利用できる時間数）〕
〈SA〉（N=1,236）※非該当除く



② サービスの内容

サービスの内容は、「おおむね満足している」が 42.0%と最も高く、次いで「満足している」が 34.1%となっている。

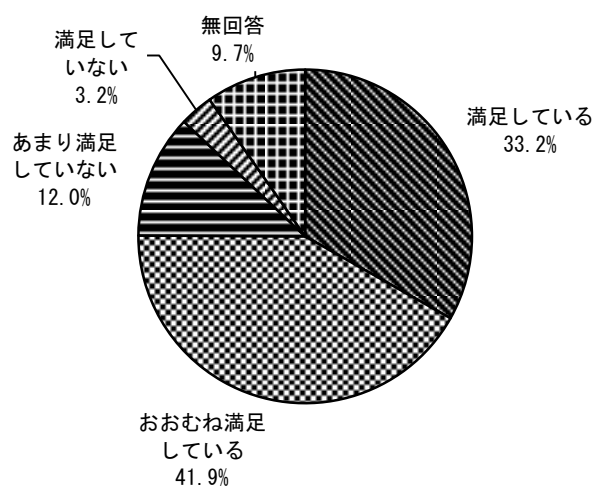
図表Ⅱ-1-20 満足度〔サービスの内容〕〈SA〉(N=1,236)



③ ヘルパーの技術

ヘルパーの技術は、「おおむね満足している」が 41.9%と最も高く、次いで「満足している」が 33.2%となっている。

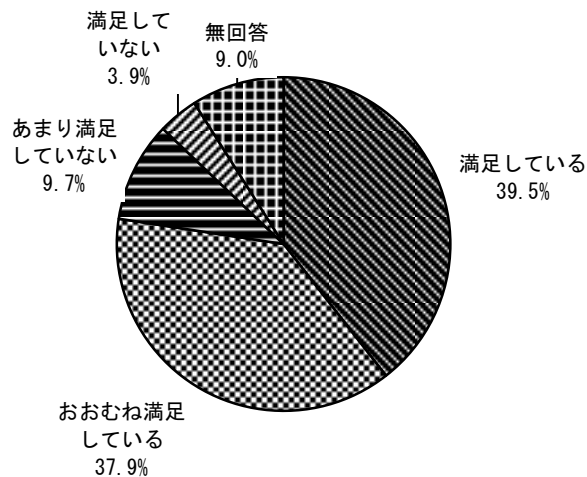
図表Ⅱ-1-21 満足度〔ヘルパーの技術〕〈SA〉(N=1,236)



④ 事業所の対応（わかりやすく説明してくれるか等）

事業所の対応（わかりやすく説明してくれるか等）は、「満足している」が39.5%と最も高く、次いで「おおむね満足している」が37.9%となっている。

図表Ⅱ-1-22 満足度〔事務所の対応（わかりやすく説明してくれるか等）〕
〈SA〉（N=1,236）

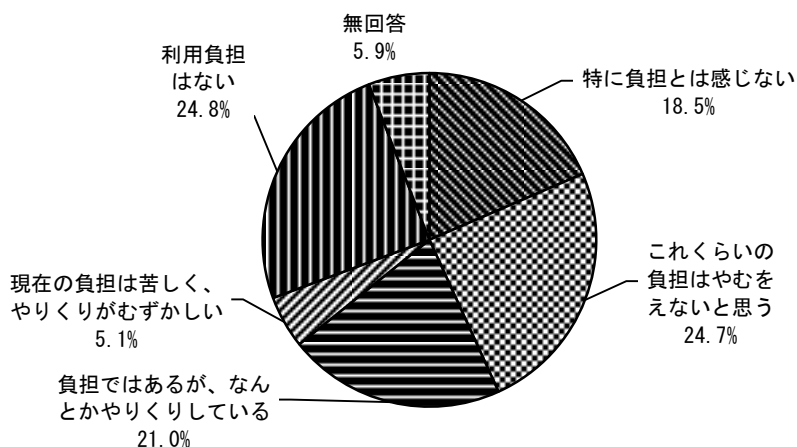


(3) 支払っている利用者負担額の負担感

問 8-2 現在支払っている利用者負担について、どう思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

支払っている利用者負担額の負担感は、「利用負担はない」が24.8%と最も高く、次いで「これくらいの負担はやむをえないと思う」が24.7%となっている

図表Ⅱ-1-23 支払っている利用者負担額の負担感〈SA〉（N=1,236）

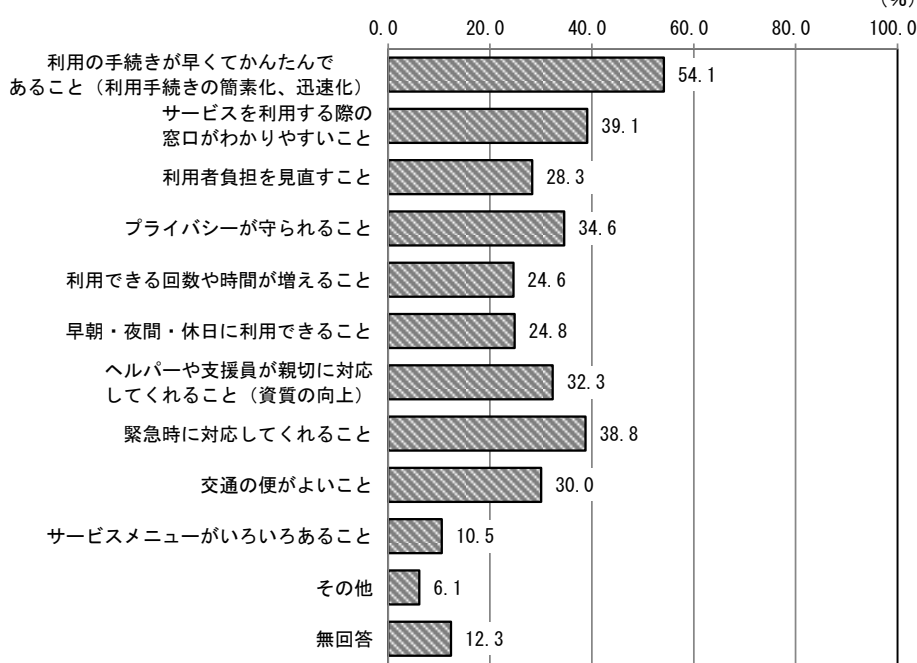


(4) 福祉サービスを利用しやすくするために必要なこと

問9 あなたは、障がい福祉サービスを利用しやすくするために、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

福祉サービスを利用しやすくするために必要なことは、「利用の手続きが早くてかんたんであること（利用手続きの簡素化、迅速化）」が54.1%と最も高く、次いで「サービスを利用する際の窓口がわかりやすいこと」が39.1%となっている。

図表Ⅱ-1-24 福祉サービスを利用しやすくするために必要なこと
〈MA〉 (N=3,039)



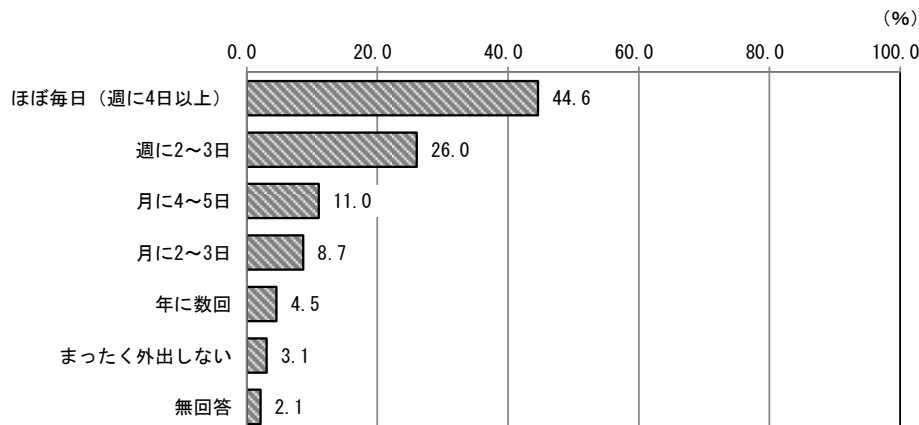
4 外出の状況

(1) 外出頻度

問10 あなたは、普段どのくらい外出しますか。あてはまるもの1つに○をつけてください

外出頻度は、「ほぼ毎日（週に4日以上）」が44.6%と最も高く、次いで「週に2～3日」が26.0%となっている。

図表Ⅱ-1-25 外出頻度〈SA〉 (N=3,039)

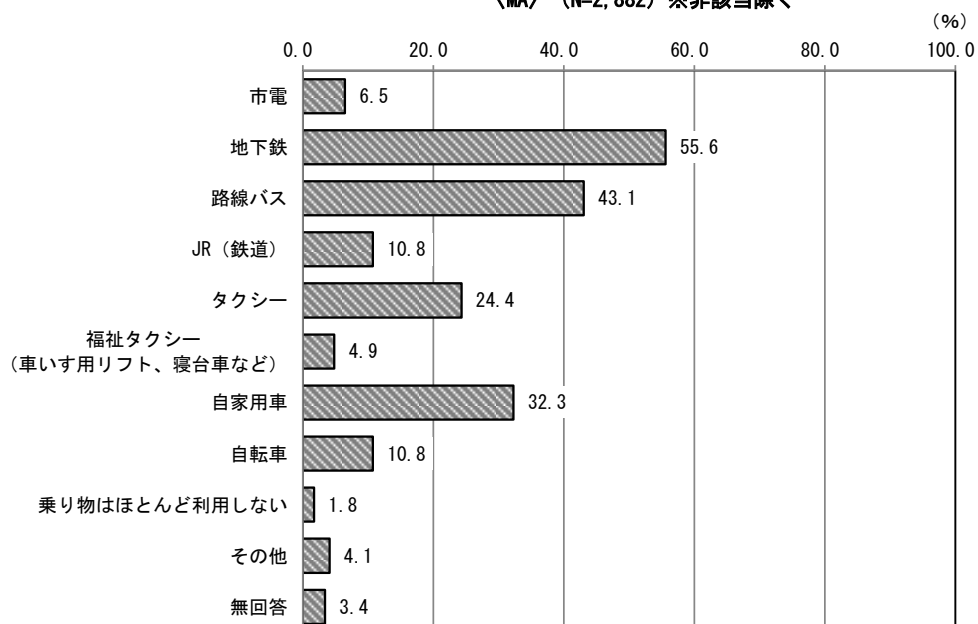


(2) 外出する時に利用する主な乗り物

問 10-1 外出する時に利用する乗り物は何ですか。主なものを3つまで選んで○をつけてください。

外出する時に利用する乗り物は、「地下鉄」が 55.6%と最も高く、次いで「路線バス」が 43.1%となっている。

図表Ⅱ-1-26 外出する時に利用する乗り物
〈MA〉 (N=2,882) ※非該当除く

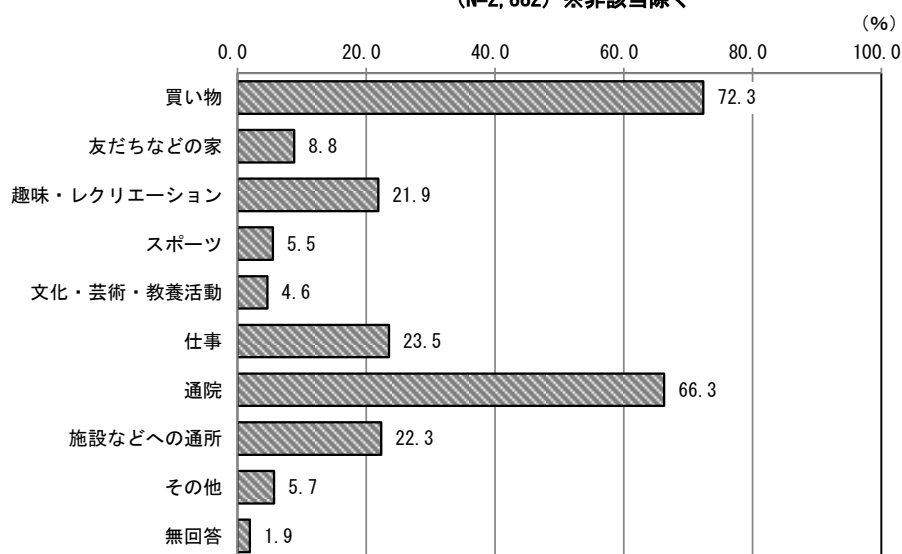


(3) 主な外出目的

問 10-2 外出の目的は何ですか。主なものを3つまで選んで○をつけてください。

主な外出目的は、「買い物」が 72.3%と最も高く、次いで「通院」が 66.3%となっている。

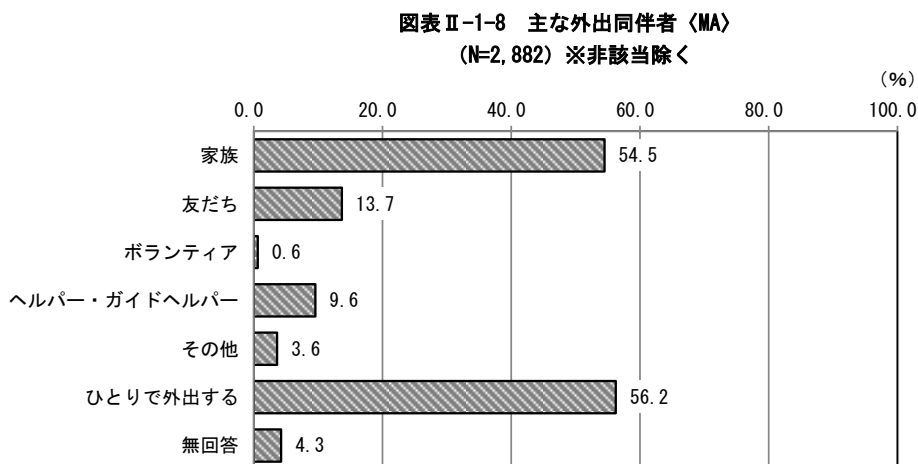
図表Ⅱ-1-27 主な外出目的 〈MA〉
(N=2,882) ※非該当除く



(4) 主な外出同伴者

問 10-3 だれと一緒に外出することが多いですか。主な方を2人まで選んで○をつけてください。

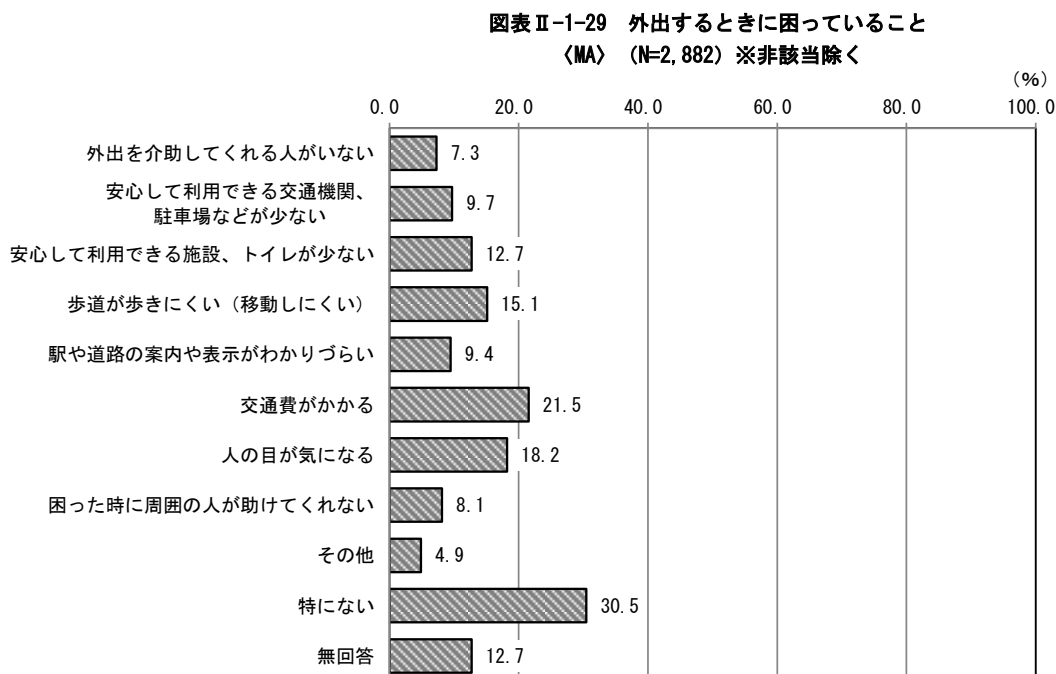
主な外出同伴者は、「ひとりで外出する」が 56.2%と最も高く、次いで「家族」が 54.5%となっている。



(5) 外出するときに困っていること

問 10-4 外出するときに困っていることは何ですか。主なものを3つまで選んで○をつけてください。

外出するときに困っていることは、「特にない」が 30.5%と最も高く、次いで「交通費がかかる」が 21.5%となっている。

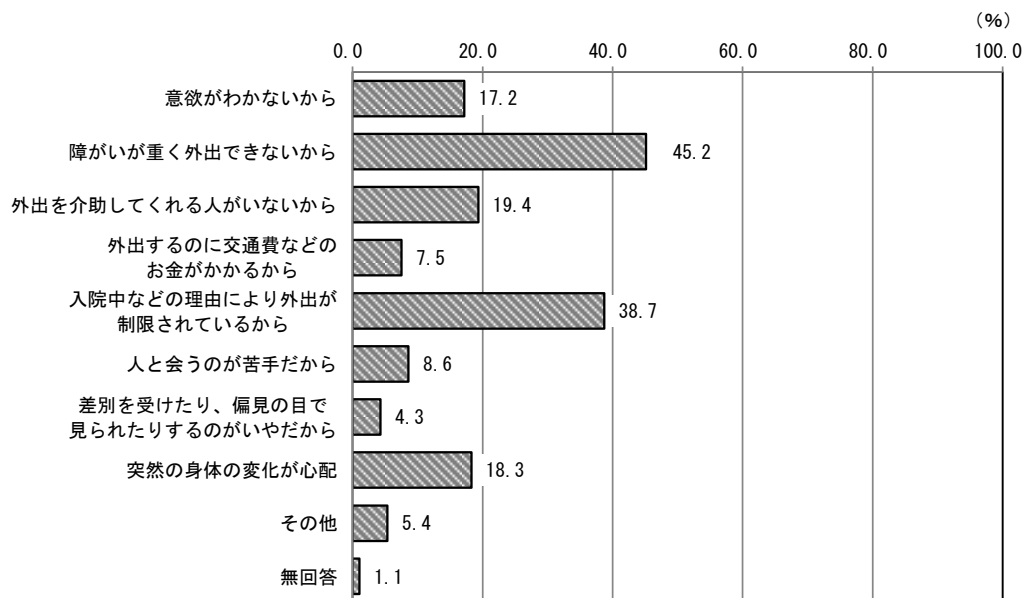


(6) まったく外出しない理由

問 10-5 まったく外出しない理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

まったく外出しない理由は、「障がいが高く外出できないから」が45.2%と最も高く、次いで「入院中などの理由により外出が制限されているから」が38.7%となっている。

図表Ⅱ-1-30 まったく外出しない理由〈MA〉
(N=93) ※非該当除く



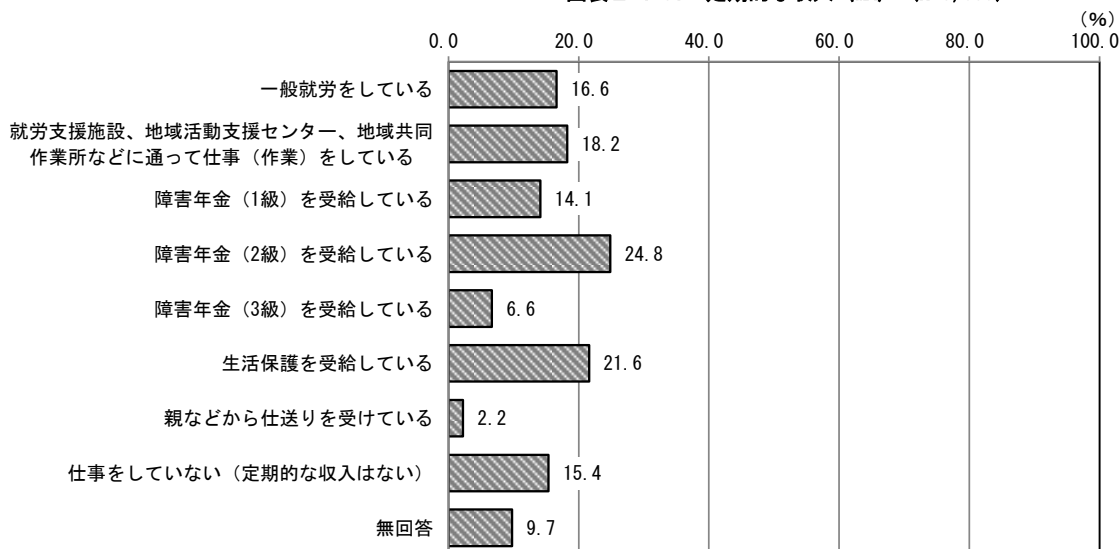
5 仕事など

(1) 定期的な収入

問 11 あなたは現在、どのように収入を得ていますか（複数回答可）。

定期的な収入は、「障害年金（2級）を受給している」が24.8%と最も高く、次いで「生活保護を受給している」が21.6%となっている。

図表Ⅱ-1-31 定期的な収入〈MA〉 (N=3,039)

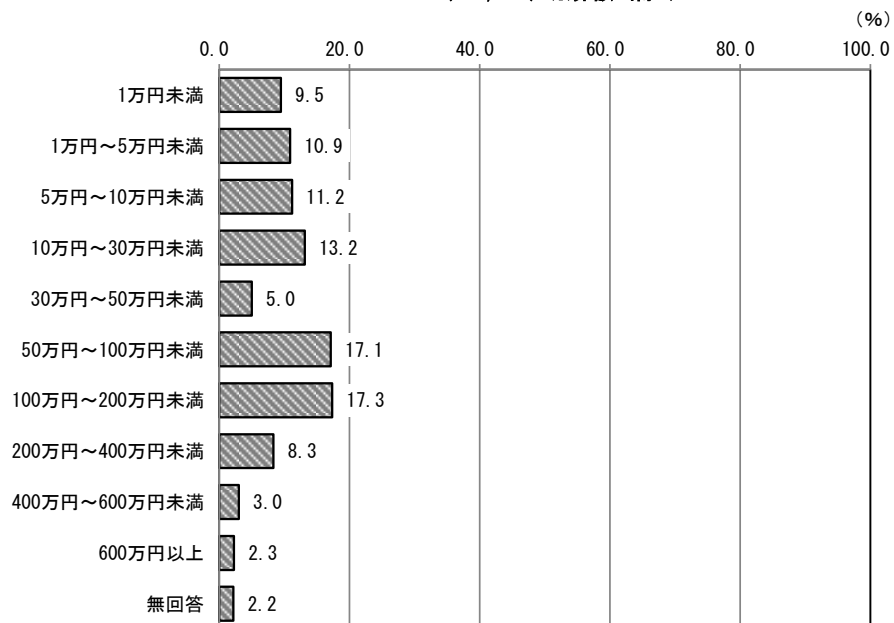


(2) 仕事や作業の年収

(1) あなたの仕事（作業）の年収はどれくらいですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

仕事や作業の年収は、「100万円～200万円未満」が17.3%と最も高く、次いで「50万円～100万円未満」が17.1%となっている。

図表Ⅱ-1-32 仕事や作業の年収〈SA〉
(N=1,056) ※非該当除く

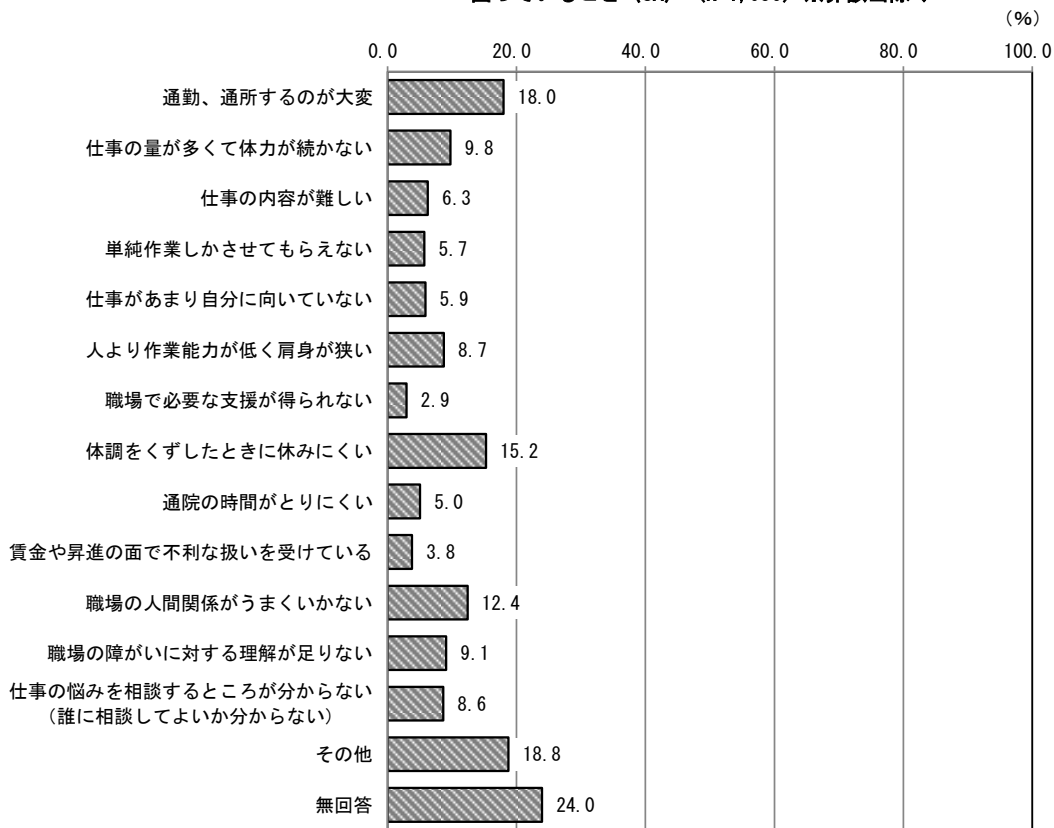


(3) 現在の仕事（作業）を続けていくうえで困っていること

(2) あなたが現在の仕事（作業）を続けていくうえで、困っていることはありますか。主なものを3つまで選んで○をつけてください。

現在の仕事（作業）を続けていくうえで困っていることは、「その他」を除くと、「通勤、通所するのが大変」が18.0%と最も高く、次いで「体調をくずしたときに休みにくい」が15.2%となっている。

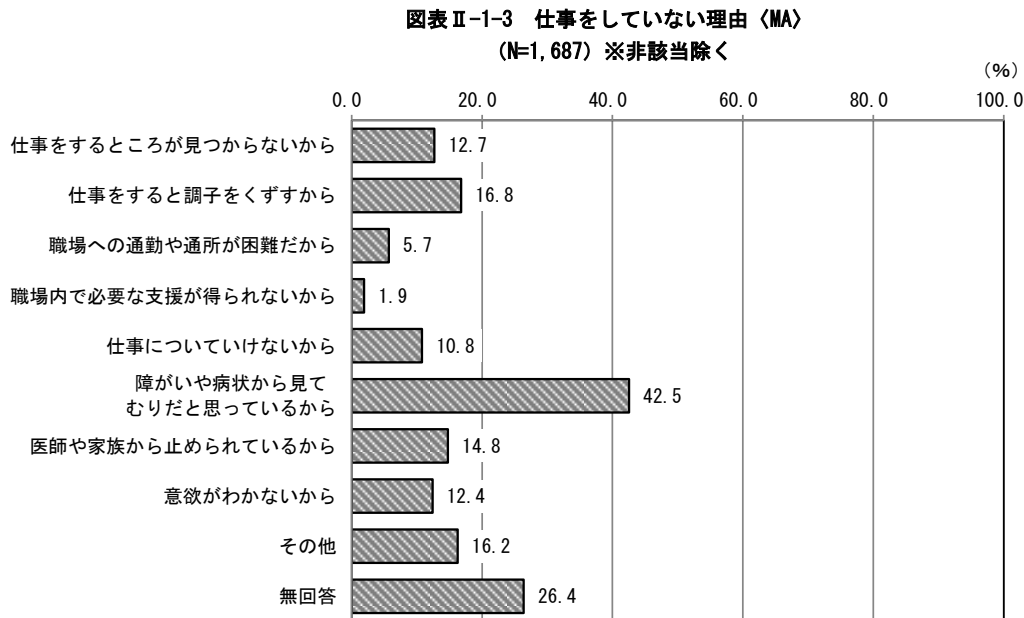
図表Ⅱ-1-33 現在の仕事（作業）を続けていくうえで困っていること〈SA〉（N=1,056）※非該当除く



(4) 仕事をしていない理由

問 12 あなたが仕事をしていない理由について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

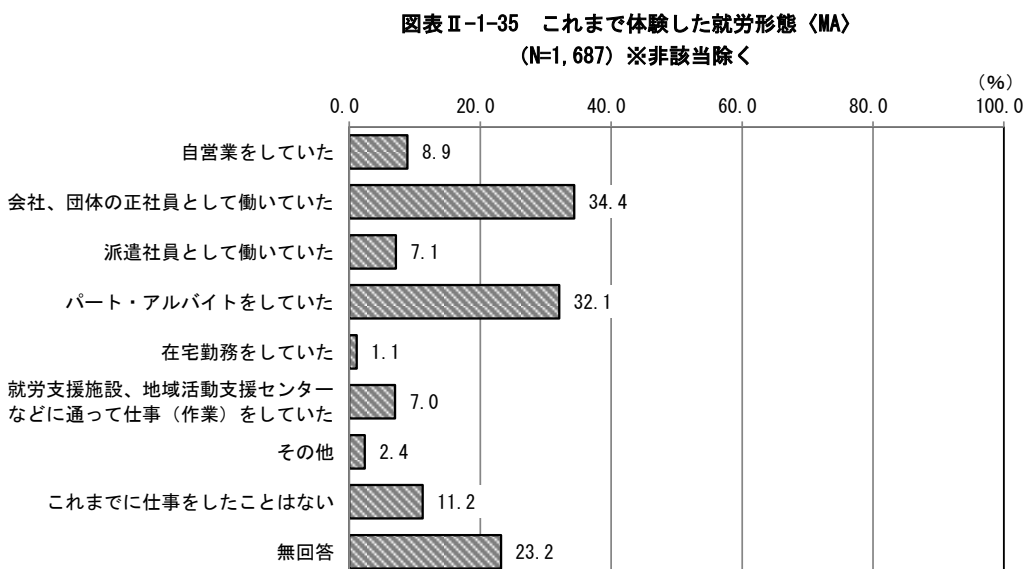
仕事をしていない理由は、「障がいや病状から見てむりだと思っているから」が42.5%と最も高く、次いで「仕事をすると調子をくずすから」が16.8%となっている。



(5) これまで体験した就労形態

問 13 あなたはこれまでに、仕事をすることがあります。仕事をすることがある場合、どのような形でしたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

これまで体験した就労形態は、「会社、団体の正社員として働いていた」が34.4%と最も高く、次いで「パート・アルバイトをしていた」が32.1%となっている。

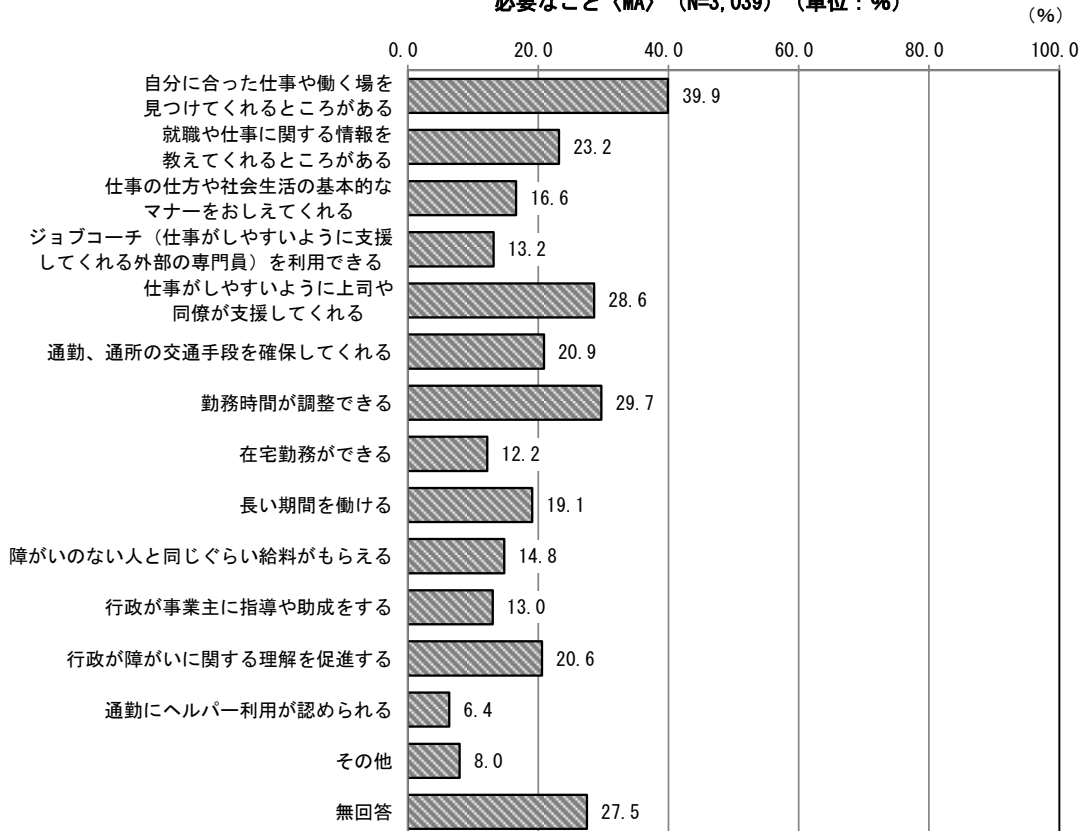


(6) 仕事を続ける（あるいは仕事を始める）上で必要なこと

問 14 あなたが仕事を続ける（あるいは仕事を始める）上で必要なことは何だと思えますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

仕事を続ける（あるいは仕事を始める）上で必要なことは、「自分に合った仕事や働く場を見つけられるところがある」が 39.9%と最も高く、次いで「勤務時間が調整できる」が 29.7%となっている。

図表 II-1-36 仕事を続ける（あるいは仕事を始める）上で必要なこと〈NA〉（N=3,039）（単位：%）



6 運動（スポーツ）について

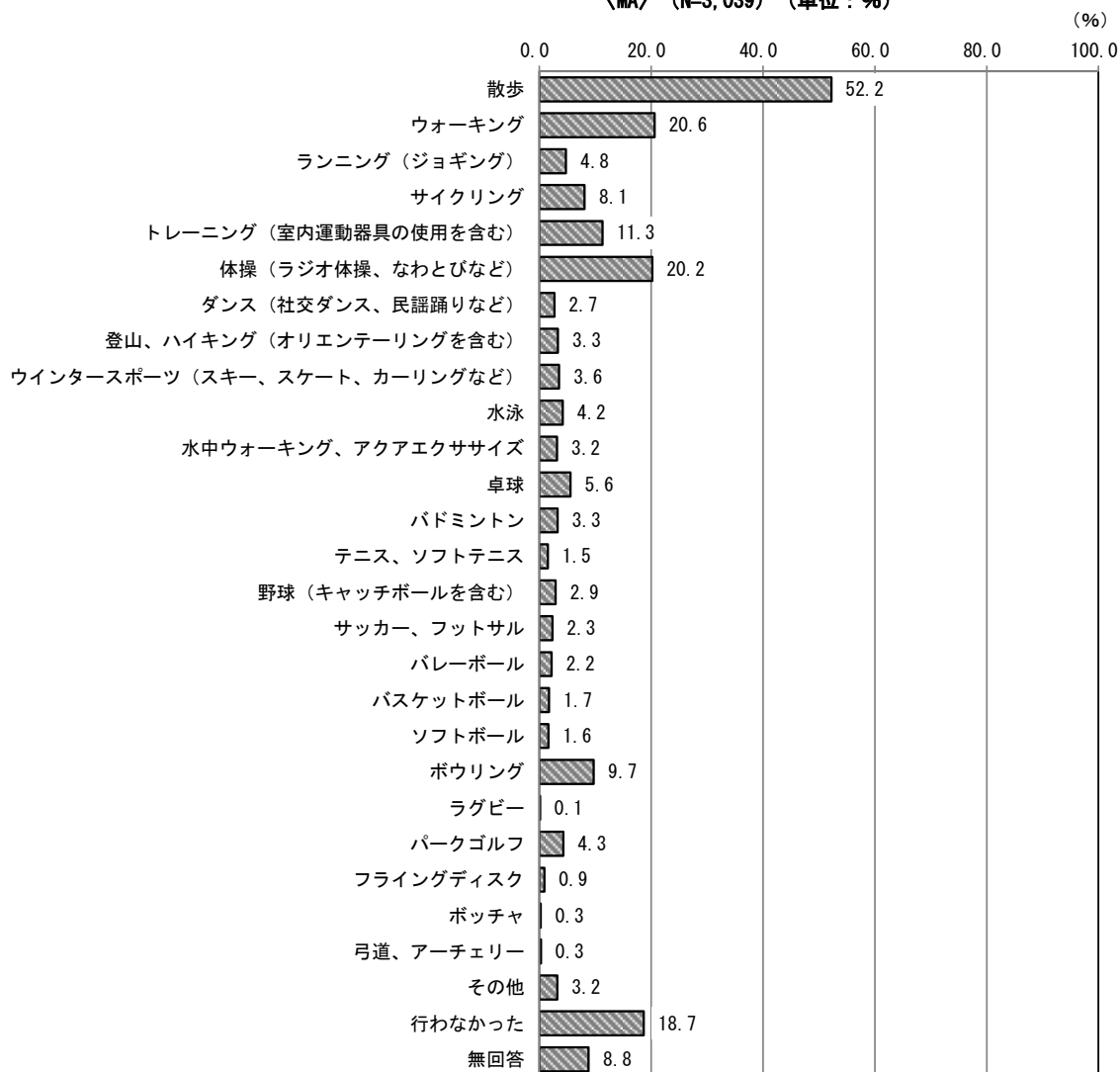
(1) 過去1年間にやったことがある運動（スポーツ）

問 15 あなたは、過去1年間に、やったことがある運動（スポーツ）はどれですかあてはまるものすべてに○をつけてください。

過去1年間にやったことがある運動（スポーツ）は、「散歩」が52.2%と最も高く、次いで「ウォーキング」が20.6%となっている。

図表 II-1-37 過去1年間にやったことがある運動（スポーツ）

〈MA〉 (N=3,039) (単位：%)

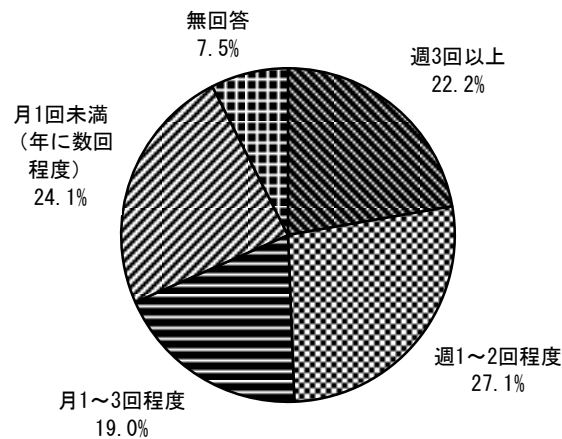


(2) 運動（スポーツ）の頻度

問 16 あなたは、過去1年間に、どれくらいの運動（スポーツ）をしましたか。

運動（スポーツ）の頻度は、「週1～2回程度」が27.1%と最も高く、次いで「月1回未満（年に数回程度）」が24.1%となっている。

図表Ⅱ-1-38 運動（スポーツ）の頻度（SA）
（N=2,203）※非該当除く

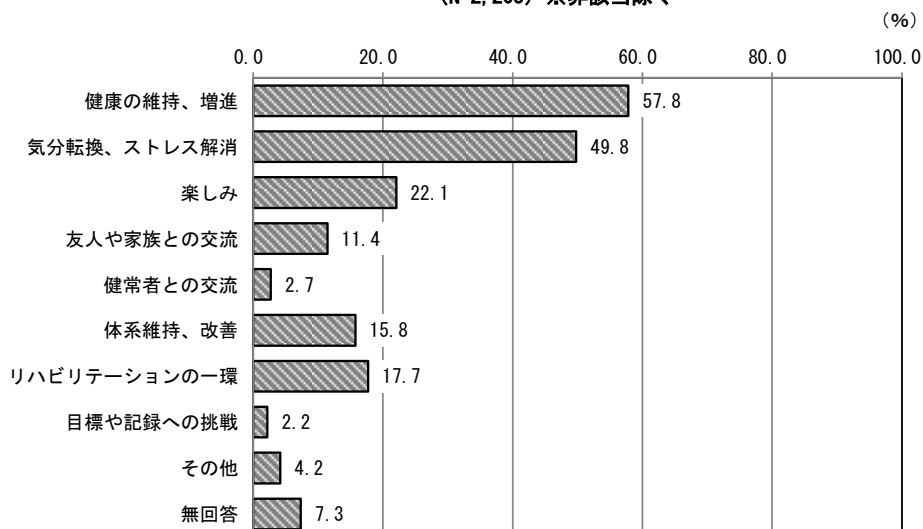


(3) 運動（スポーツ）を行う目的

問 17 あなたの運動（スポーツ）を行う目的はなんですか。あてはまるもの3つまでに○をつけてください。

運動（スポーツ）を行う目的は、「健康の維持、増進」が57.8%と最も高く、次いで「気分転換、ストレス解消」が49.8%となっている。

図表Ⅱ-1-39 運動（スポーツ）を行う目的（MA）
（N=2,203）※非該当除く



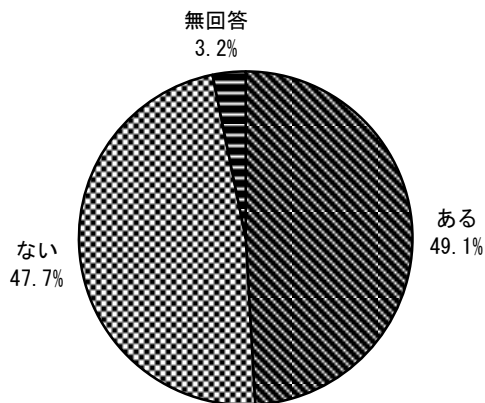
7 生活の場所について

(1) 民間のアパート、公営住宅などで生活した経験

問 18 これまでに「民間のアパート」や「公営住宅（道営・市営）」、公団の住宅で生活したことがありますか。

民間のアパート、公営住宅などで生活した経験は、「ある」が49.1%、「ない」が47.7%となっている。

図表Ⅱ-1-40 民間のアパート、公営住宅などで生活した経験〈SA〉(N=3,039)

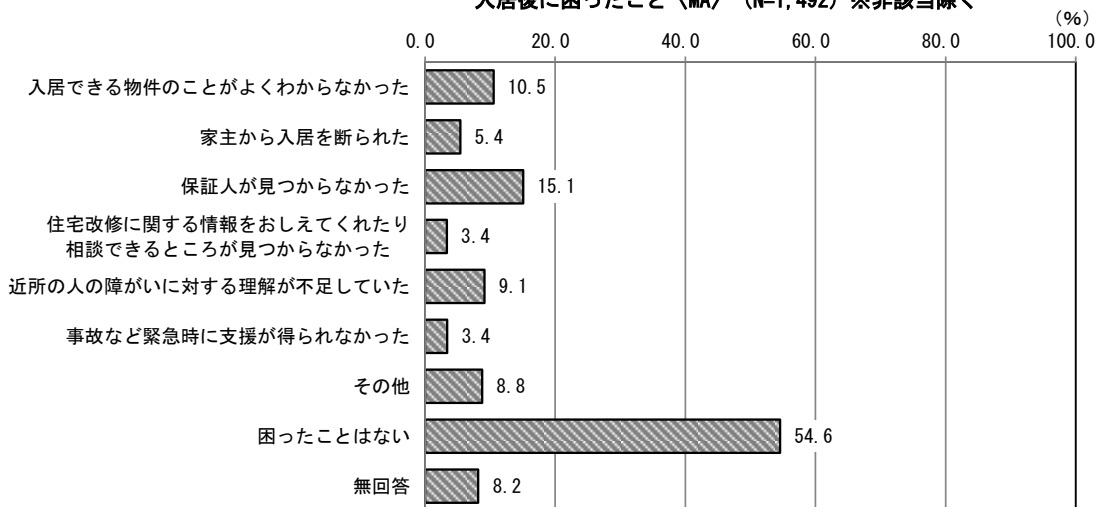


(2) 民間のアパート、公営住宅などの入居時、入居後に困ったこと

問 18-1 入居するまでに、または入居後に困ったことはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

民間のアパート、公営住宅などの入居時、入居後に困ったことは、「困ったことはない」が54.6%と最も高く、次いで「保証人が見つからなかった」が15.1%となっている。

図表Ⅱ-1-41 民間のアパート、公営住宅などの入居時、入居後に困ったこと〈MA〉(N=1,492) ※非該当除く



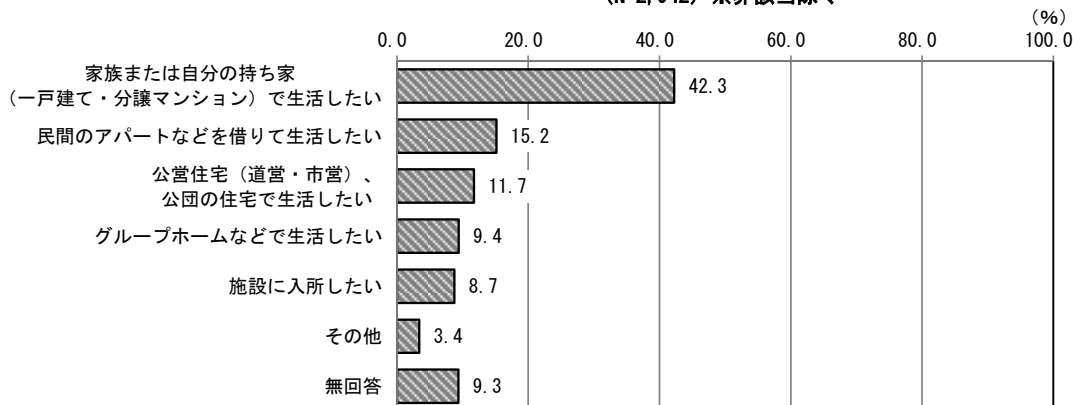
(3) 生活したい場所

問 18-2 あなたは今後、どのような場所で生活したいですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

生活したい場所は、「家族または自分の持ち家(一戸建て・分譲マンション)で生活したい」が42.6%と最も高く、次いで「民間のアパートなどを借りて生活したい」が15.2%となっている。

図表Ⅱ-1-42 生活したい場所〈SA〉

(N=2,942) ※非該当除く



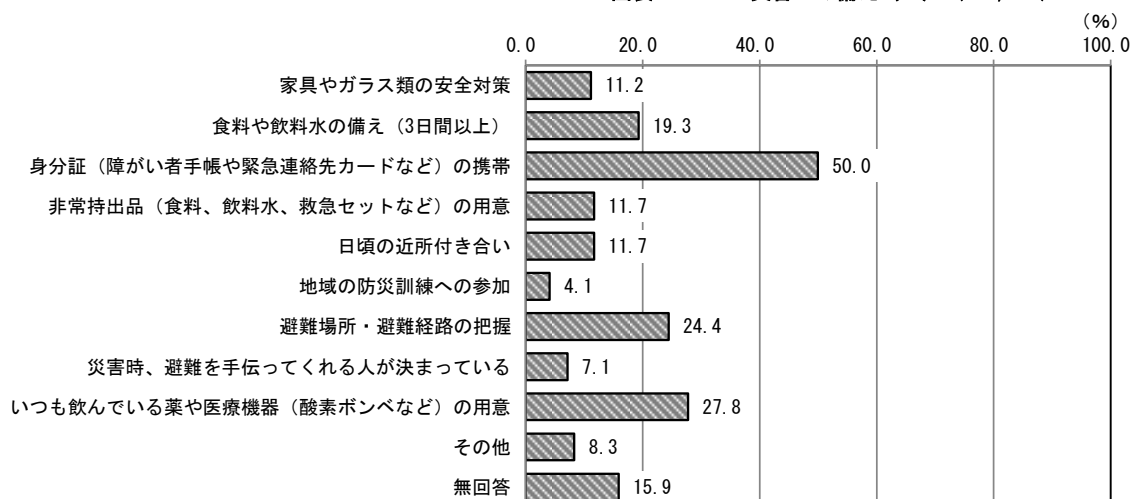
8 防災について

(1) 災害への備え

問 19 あなたは、地震などの災害への備えとして、普段どのようなことをしていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

災害への備えは、「身分証(障がい者手帳や緊急連絡先カードなど)の携帯」が50.0%と最も高く、次いで「いつも飲んでる薬や医療機器(酸素ボンベなど)の用意」が27.8%となっている。

図表Ⅱ-1-43 災害への備え〈MA〉 (N=3,039)

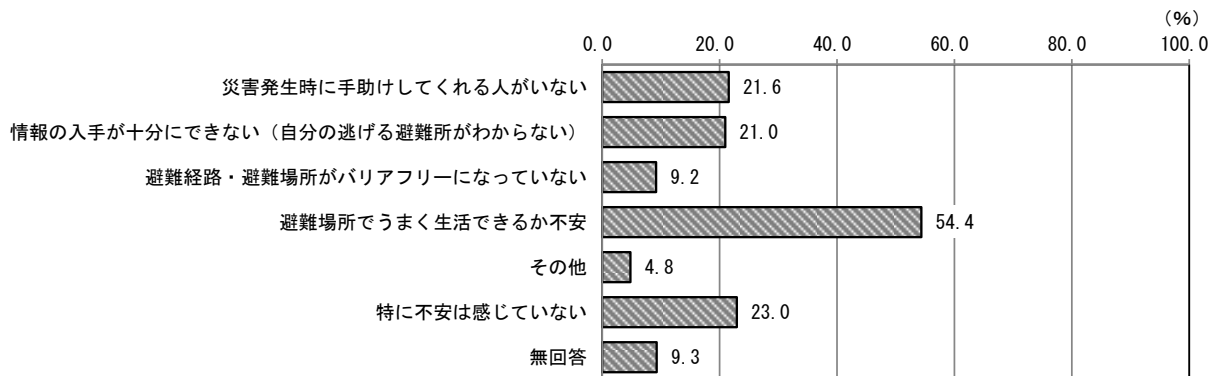


(2) 防災に関する不安

問 20 あなたは、防災に関して不安に感じていることはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

防災に関する不安は、「避難場所でうまく生活できるか不安」が54.4%と最も高く、次いで「特に不安は感じていない」が23.0%となっている。

図表Ⅱ-1-44 防災に関する不安〈MA〉(N=3,039)

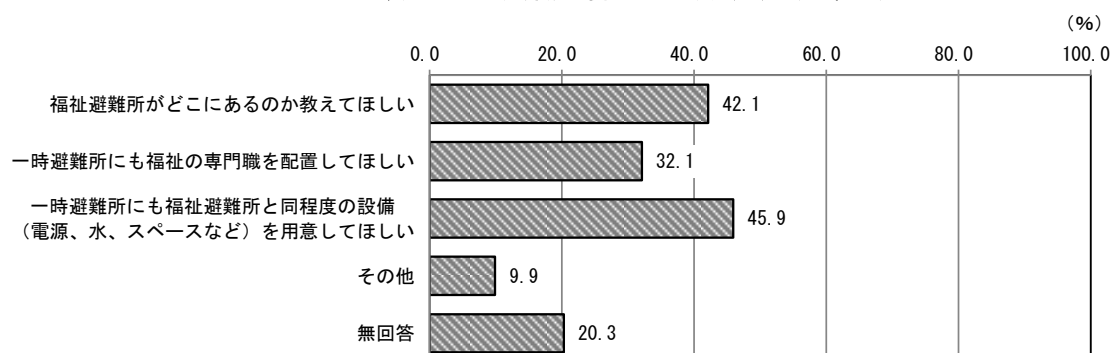


(3) 避難所に関する不安

問 21 避難所についてお聞きします。あてはまるものすべてに○をつけてください。

避難所に関する不安は、「一時避難所にも福祉避難所と同程度の設備(電源、水、スペースなど)を用意してほしい」が45.9%と最も高く、次いで「福祉避難所がどこにあるのか教えてほしい」が42.1%となっている。

図表Ⅱ-1-45 避難所に関する不安〈MA〉(N=3,039)



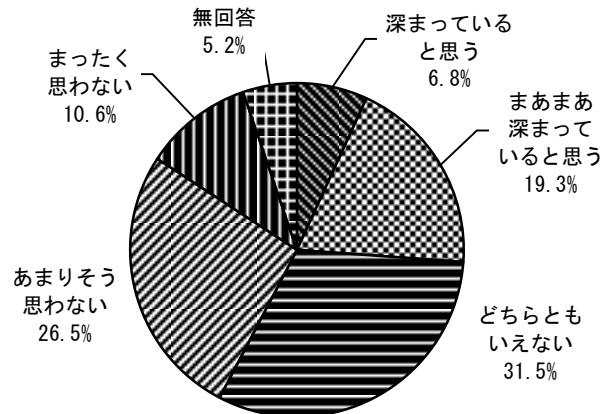
9 制度や政策等について

(1) 障がいのある人に対する市民の理解度

問 22 あなたは、障がいのある人に対する市民の理解が深まってきていると思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

障がいのある人に対する市民の理解度は、「どちらともいえない」が31.5%と最も高く、次いで「あまりそう思わない」が26.5%となっている。

図表Ⅱ-1-46 障がいのある人に対する市民の理解度
〈SA〉 (N=3,039)

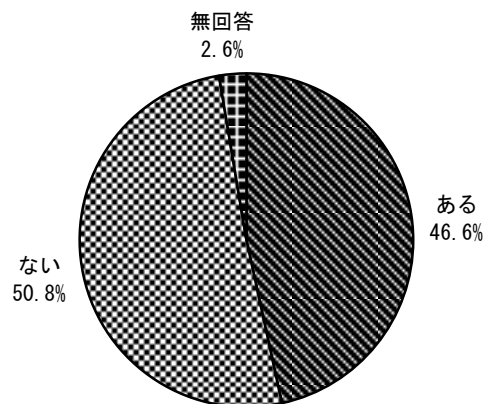


(2) 障がいがあるために受けた差別やいやな思いの有無

問 23 あなたはこれまでに、障がいがあるために差別をうけたり、いやな思いをしたことがありますか。

障がいがあるために受けた差別やいやな思いの有無は、「ない」が50.8%と高く、「ある」が46.6%となっている。

図表Ⅱ-1-47 障がいがあるために受けた差別やいやな思いの有無
〈SA〉 (N=3,039)

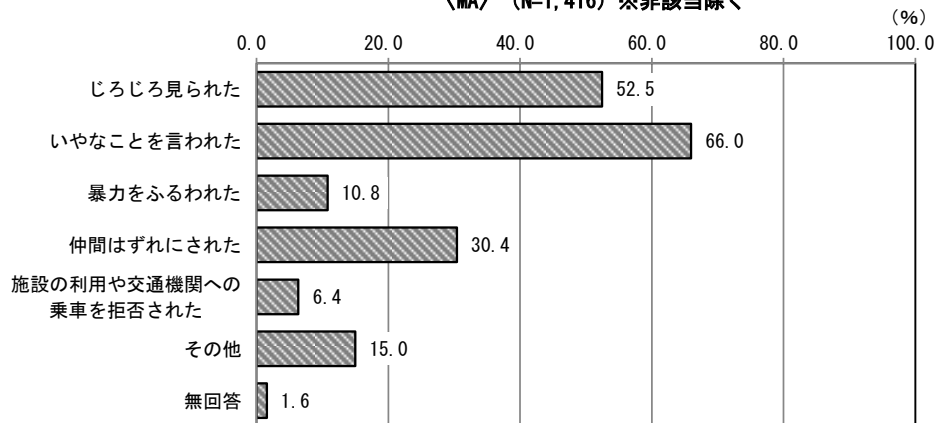


(3) 障がいがあるために受けた差別やいやな思い

問 23-1 それはどのようなことですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

障がいがあるために受けた差別やいやな思いは、「いやなことを言われた」が 50.0%と最も高く、次いで「じろじろ見られた」が 34.2%となっている。

図表 II-1-48 障がいがあるために受けた差別やいやな思い
〈MA〉 (N=1,416) ※非該当除く

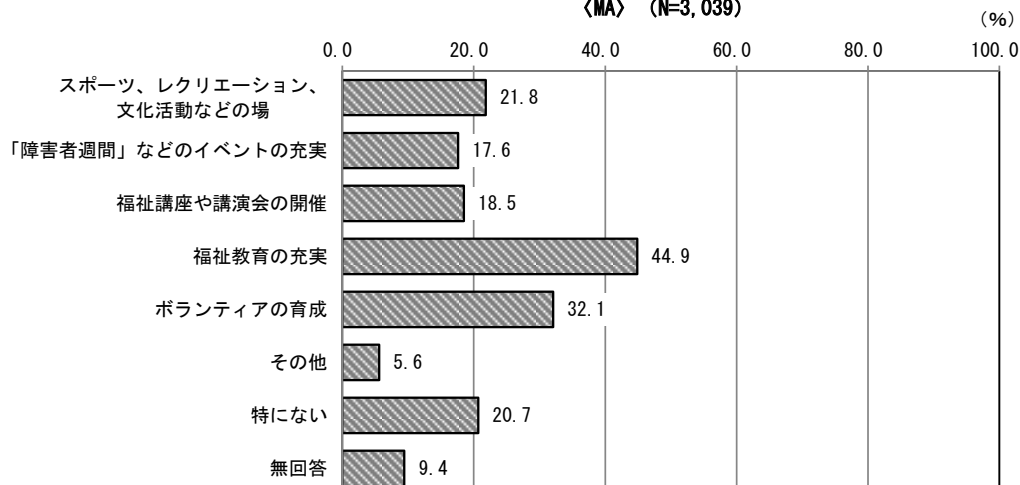


(4) 障がい者への理解が深まるために必要なこと

問 24 あなたは、障がいのある人への理解が深まるためには、今後どのようなことが必要だと思いますか。主なものを3つまで選んで○をつけてください。

障がい者への理解が深まるために必要なことは、「福祉教育の充実」が 44.9%と最も高く、次いで「ボランティアの育成」が 32.1%となっている。

図表 II-1-49 障がい者への理解が深まるために必要なこと
〈MA〉 (N=3,039)

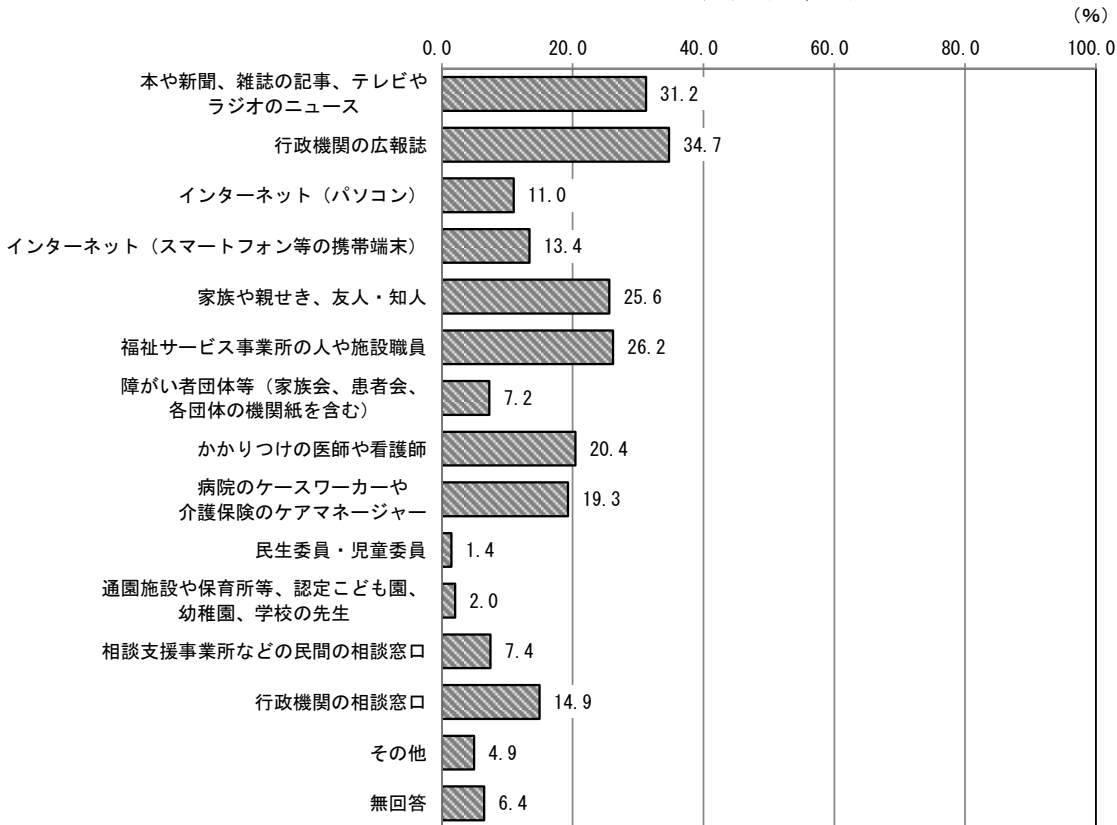


(5) 障がいまたは障がい福祉サービス情報の入手方法

問 25 あなたは、障がいまたは障がい福祉サービスの情報をどのように入手していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

障がいまたは障がい福祉サービス情報の入手方法は、「行政機関の広報誌」が 34.7%と最も高く、次いで「本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース」が 31.2%となっている。

図表Ⅱ-1-50 障がいまたは障がい福祉サービス情報の入手方法
〈MA〉 (N=3,039)

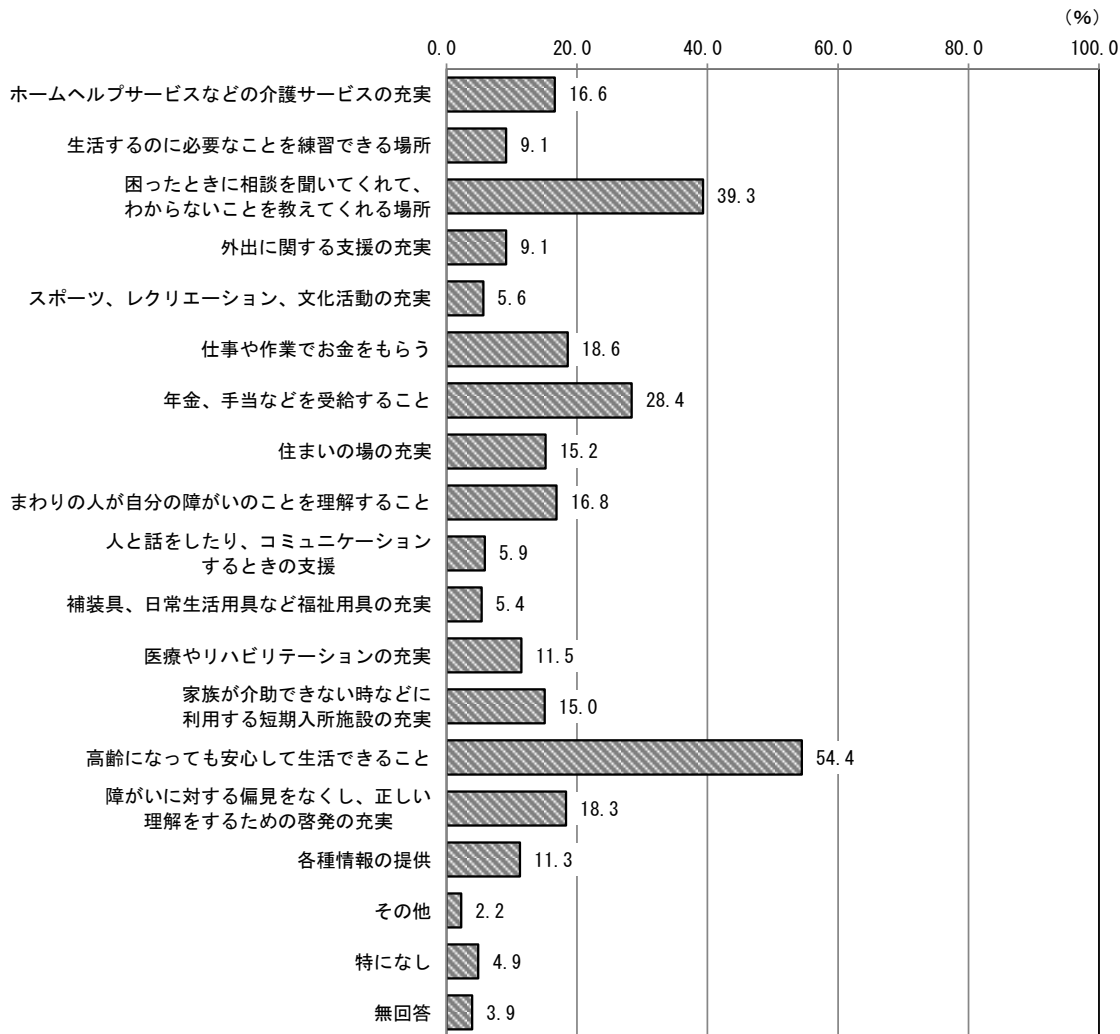


(6) 希望する生活をするためにあればよいこと

問 26 あなたが今後、希望する生活をするためには、どのようなことがあればよいと思いますか。あてはまるものを3つまでえらんで○をつけてください。

希望する生活をするためにあればよいことは、「高齢になっても安心して生活できること」が54.4%と最も高く、次いで「困ったときに相談を聞いてくれて、わからないことを教えてくれる場所」が39.3%となっている。

図表Ⅱ-1-51 希望する生活をするためにあればよいこと
〈MA〉 (N=3,039)



Ⅱ—2 障がい児調査

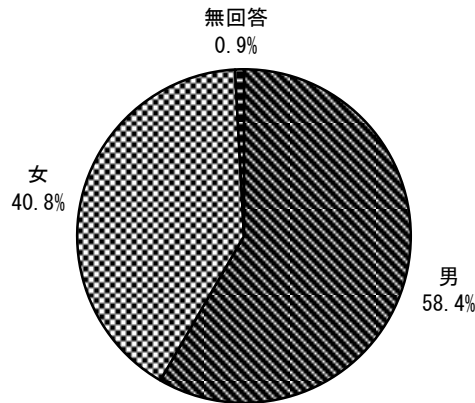
1 あなたのこと、世帯の状況について

(1) 性別

問1 あなたの性別に○をつけてください。

性別は、「男性」が58.4%と高く、「女性」が40.8%となっている。

図表Ⅱ-2-1 性別〈SA〉(N=466)

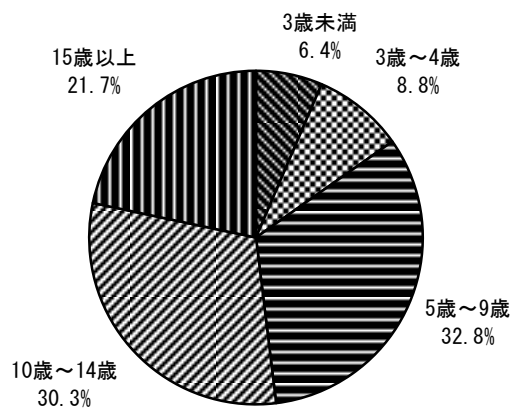


(2) 年齢

問2 あなたの年齢について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

年齢は、「5歳～9歳」が32.8%と最も高く、次いで「10歳～14歳」が30.3%となっている。

図表Ⅱ-2-2 年齢〈SA〉(N=466)

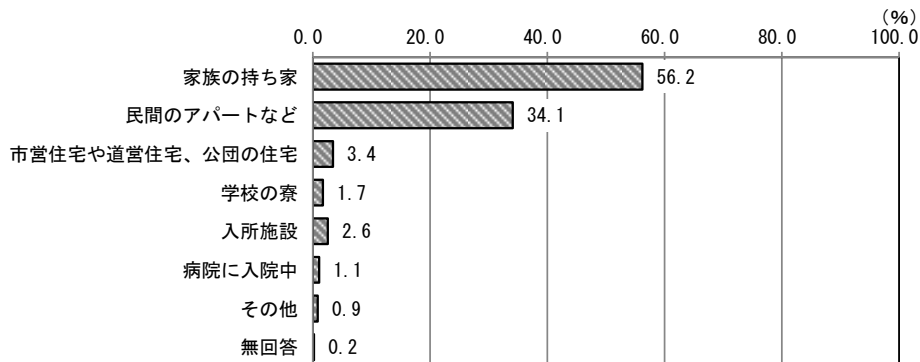


(3) 生活している場所

問3 あなたは、現在どこで生活していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

生活している場所は、「家族の持ち家」が56.2%と最も高く、次いで「民間のアパートなど」が34.1%となっている。

図表Ⅱ-2-3 生活している場所〈SA〉(N=466)

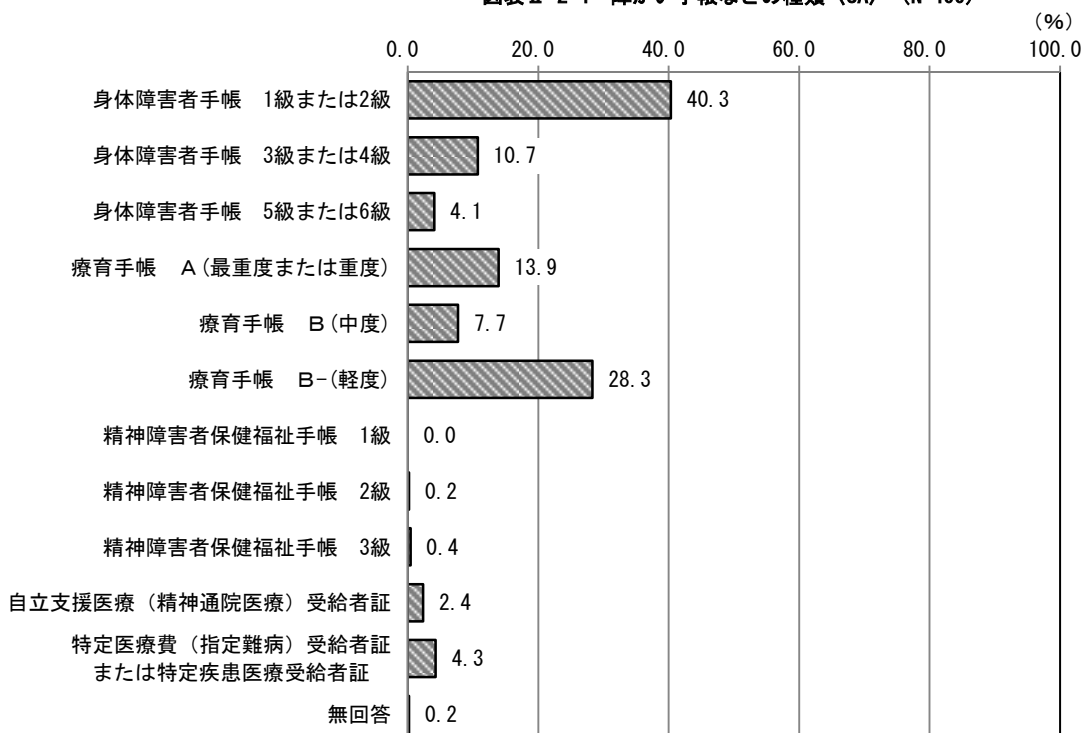


(4) 障がい手帳などの種類

問4 あなたが持っている障がい者手帳の種類はどれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

障がい者手帳などの種類は、「身体障害者手帳 1級または2級」が40.3%と最も高く、次いで「療育手帳 B- (軽度)」が28.3%となっている。

図表Ⅱ-2-4 障がい手帳などの種類〈SA〉(N=466)

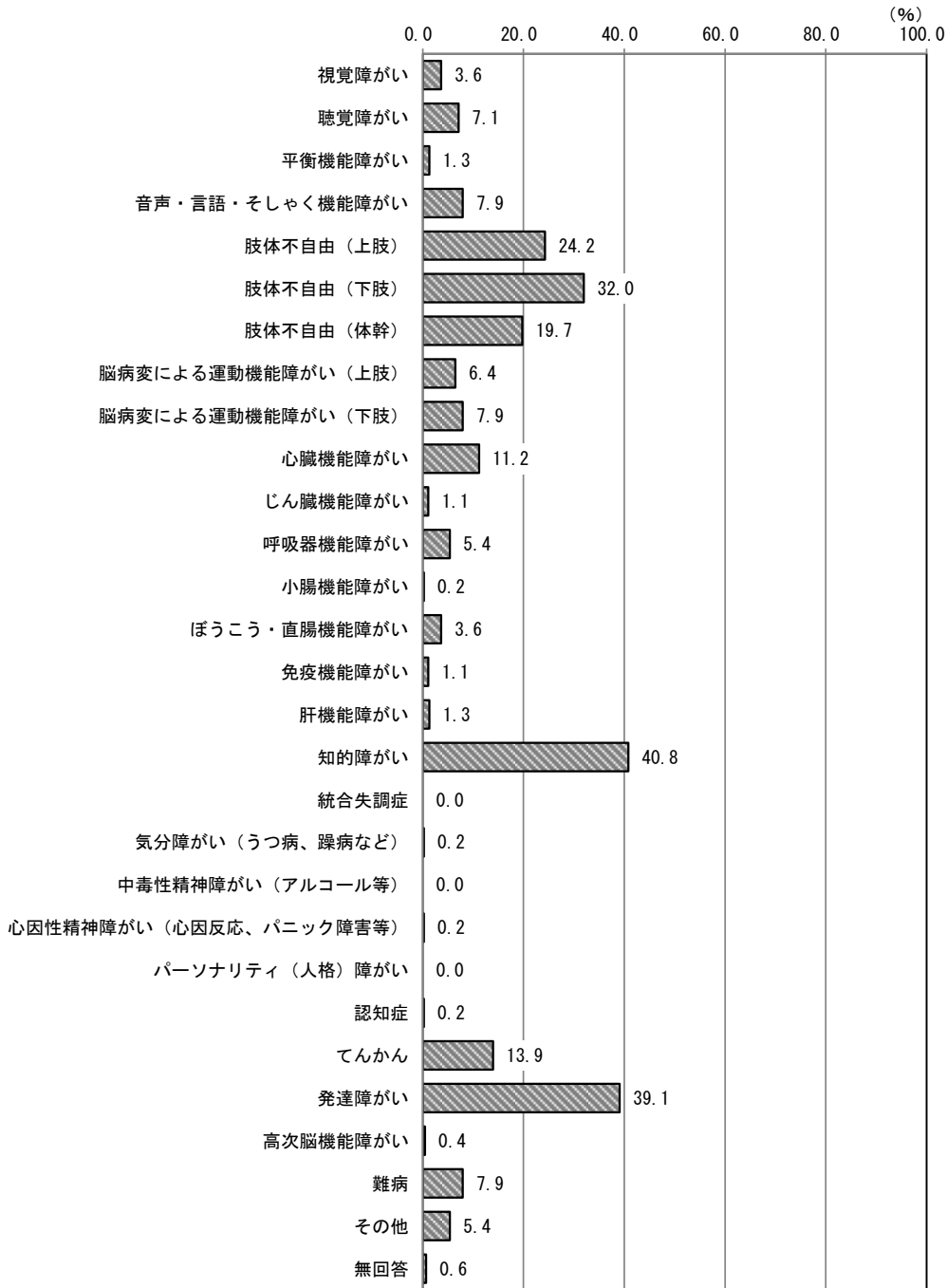


(5) 障がいや疾病の種類

問5 あなたの障がいや疾病で、あてはまるものすべてに○をつけてください。

障がいや疾病の種類は、「知的障がい」が 40.8%と最も高く、次いで「発達障がい」が 39.1%となっている。

図表Ⅱ-2-5 障がいや疾病の種類 (MA) (N=466)



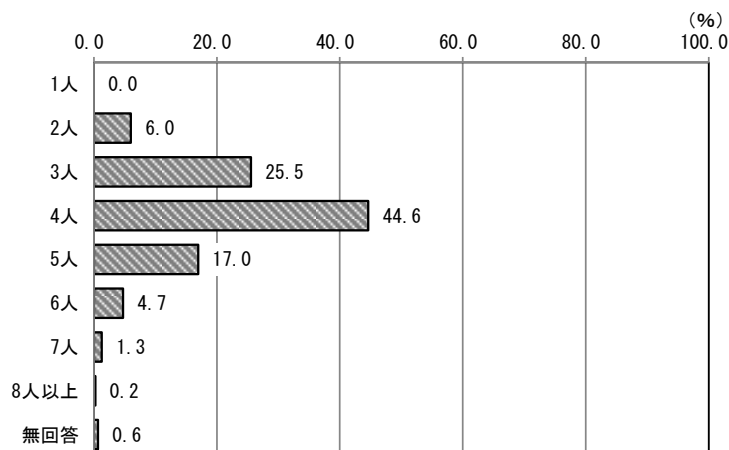
(6) 一緒に住んでいる家族の人数

問6 家族のことでおしえてください。

(1) あなたは何人家族ですか。

一緒に住んでいる家族の人数は、「4人」が44.6%と最も高く、次いで「3人」が25.5%となっている。

図表Ⅱ-2-6 一緒に住んでいる家族の人数〈SA〉(N=466)



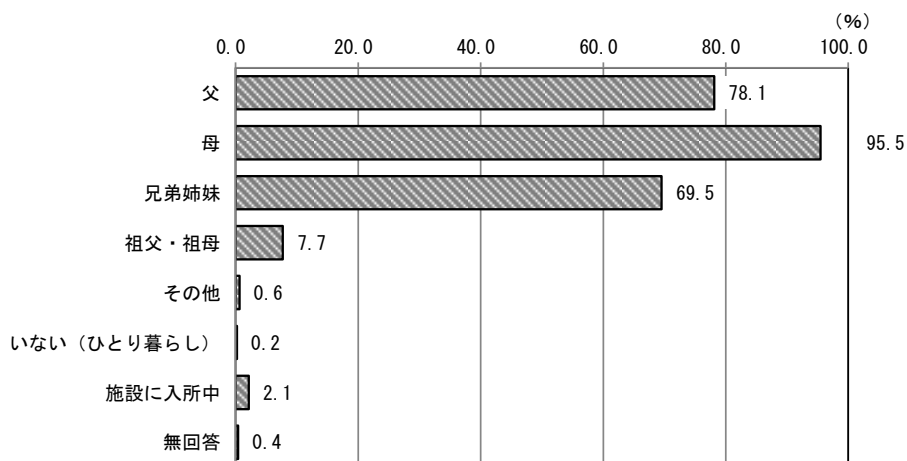
(7) 一緒に住んでいる人

問6 家族のことでおしえてください。

(2) 一緒に住んでいる人はだれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

一緒に住んでいる人は、「母」が95.5%と最も高く、次いで「父」が78.1%となっている。

図表Ⅱ-2-7 一緒に住んでいる人〈MA〉(N=466)



2 心身の状況について

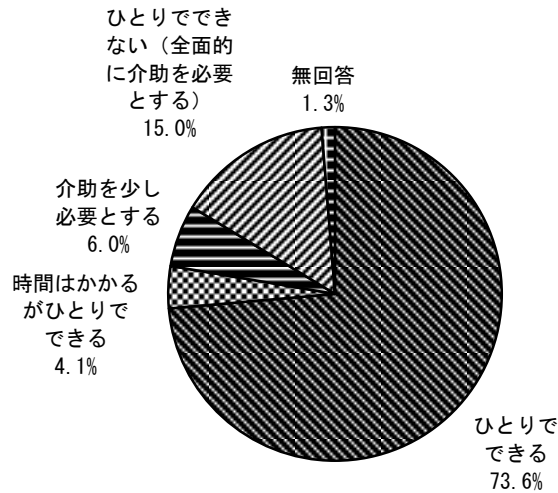
(1) 自立性

問7 あなたは、日常生活の中で、次の項目をひとりでできますか。それぞれの項目についてあてはまる番号1つに○をつけてください。

① 家の中の移動

家の中の移動は、「ひとりでできる」が73.6%と最も高く、次いで「ひとりでできない（全面的に介助を必要とする）」が15.0%となっている。

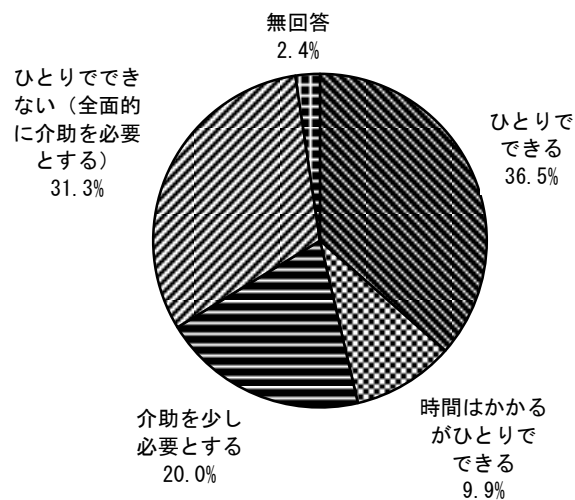
図表Ⅱ-2-8 家の中の移動〈SA〉 (N=466)



② 入浴

入浴は、「ひとりでできる」が36.5%と最も高く、次いで「ひとりでできない（全面的に介助を必要とする）」が31.3%となっている。

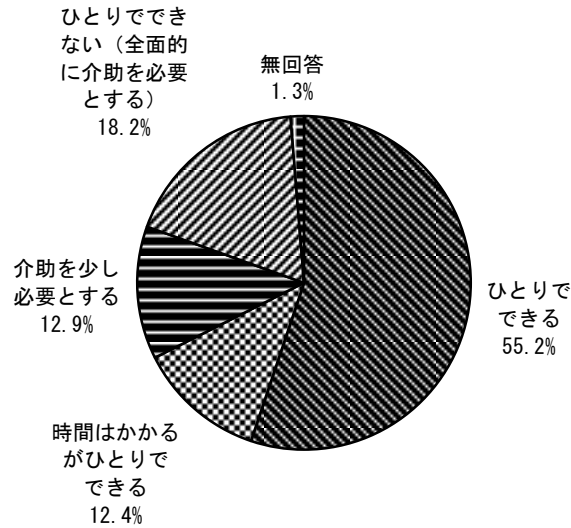
図表Ⅱ-2-9 入浴〈SA〉 (N=466)



③ 食事

食事は、「ひとりでできる」が55.2%と最も高く、次いで「ひとりでできない（全面的に介助を必要とする）」が18.2%となっている。

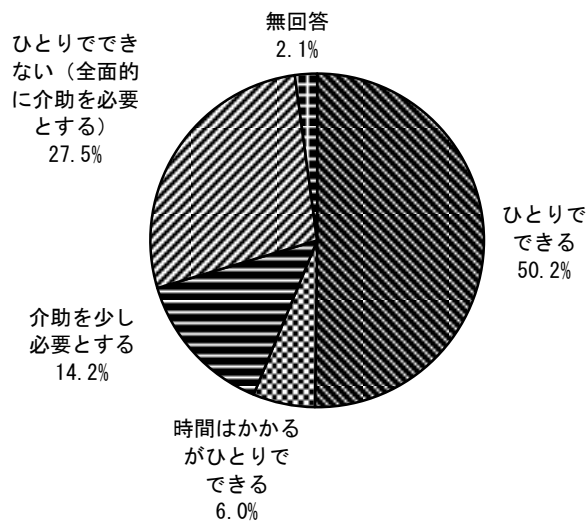
図表Ⅱ-2-10 食事〈SA〉(N=466)



④ トイレ

トイレは、「ひとりでできる」が50.2%と最も高く、次いで「ひとりでできない（全面的に介助を必要とする）」が27.5%となっている。

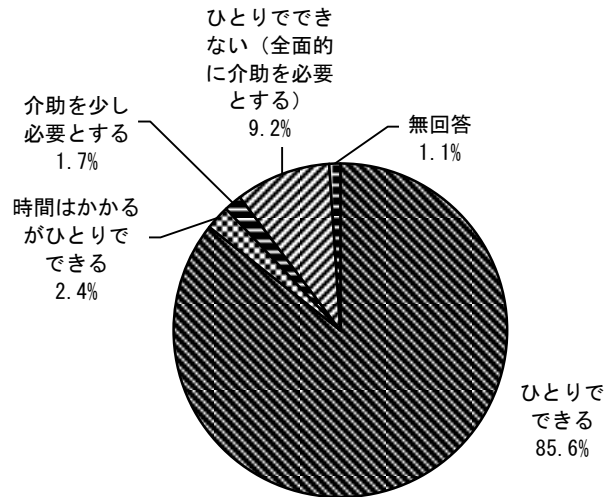
図表Ⅱ-2-11 トイレ〈SA〉(N=466)



⑤ 寝返り

寝返りは、「ひとりでできる」が85.6%と最も高く、次いで「ひとりでできない（全面的に介助を必要とする）」が9.2%となっている。

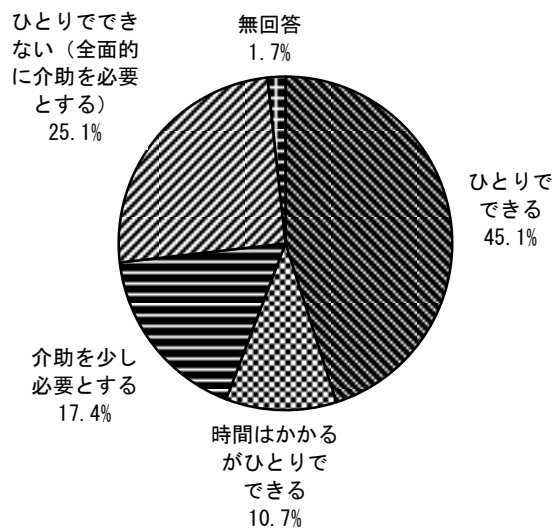
図表Ⅱ-2-12 寝返り〈SA〉(N=466)



⑥ 着替えや洗顔、歯みがきなど

着替えや洗顔、歯みがきなどは、「ひとりでできる」が45.1%と最も高く、次いで「ひとりでできない（全面的に介助を必要とする）」が25.1%となっている。

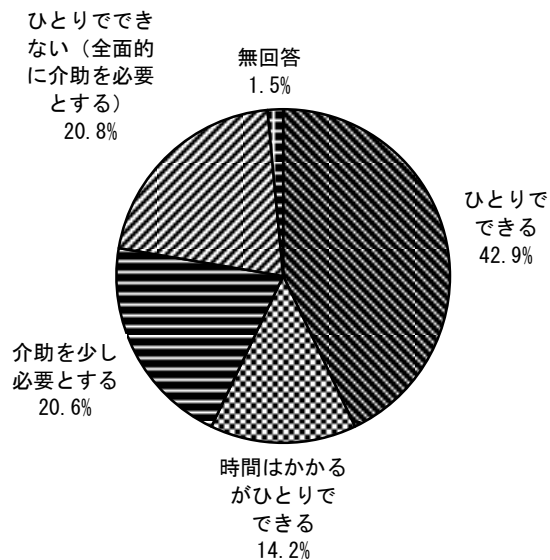
図表Ⅱ-2-13 着替えや洗顔、歯みがきなど〈SA〉(N=466)



⑦ 家族以外の人との意思の疎通

家族以外の人との意思の疎通は、「ひとりでできる」が42.9%と最も高く、次いで「ひとりでできない（全面的に介助を必要とする）」が20.8%となっている。

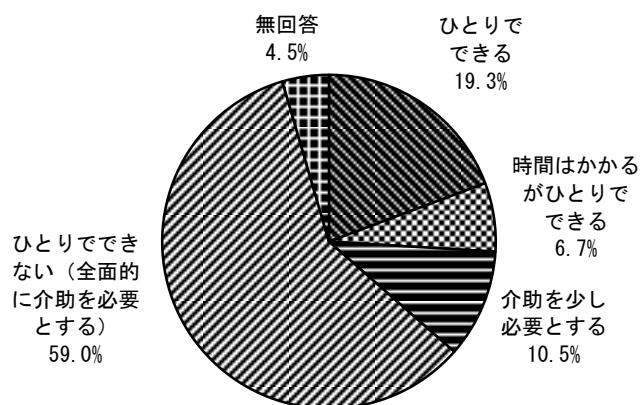
図表Ⅱ-2-14 家族以外の人との意思の疎通〈SA〉（N=466）



⑧ お金の管理

お金の管理は、「ひとりでできない（全面的に介助を必要とする）」が59.0%と最も高く、次いで「ひとりでできる」が19.9%となっている。

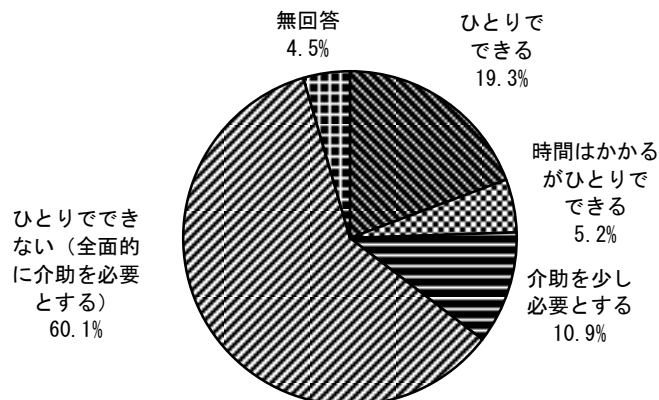
図表Ⅱ-2-15 お金の管理〈SA〉（N=466）



⑨ 薬の管理

薬の管理は、「ひとりでできない（全面的に介助を必要とする）」が60.1%と最も高く、次いで「ひとりでできる」が19.3%となっている。

図表Ⅱ-2-16 薬の管理〈SA〉（N=466）



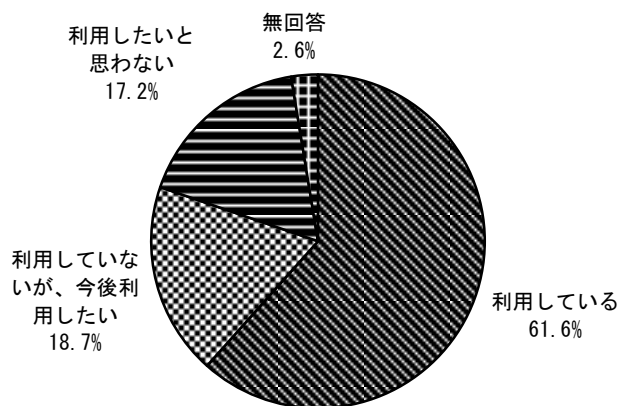
3 障がい福祉サービスについて

（1） 障がい福祉サービス（障害者総合支援法）または障がい児通所支援（児童福祉法）の利用

問8 あなたは、現在、障がい福祉サービス（障害者総合支援法）または障がい児通所支援（児童福祉法）を利用していますか。

障がい福祉サービス（障害者総合支援法）または障がい児通所支援（児童福祉法）の利用は、「利用している」が61.6%と最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」が18.7%となっている。

図表Ⅱ-2-17 障がい福祉サービス（障害者総合支援法）または障がい児通所支援（児童福祉法）の利用〈SA〉（N=466）



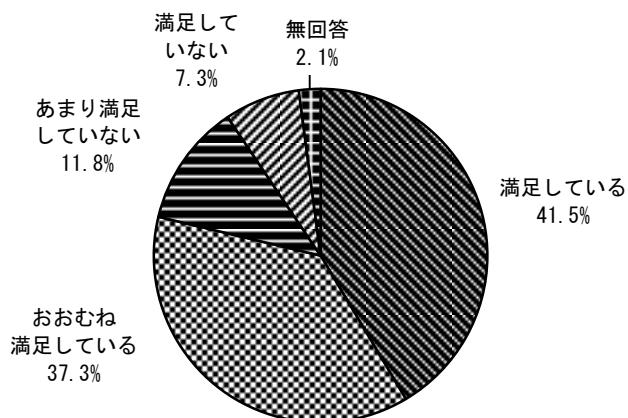
(2) 満足度

問 8-1 あなたや保護者の方は、現在受けている障がい福祉サービス（障害者総合支援法）または障がい児通所支援（児童福祉法）に満足していますか。それぞれの項目についてあてはまる番号1つに○をつけてください。

① 支給決定の内容（サービスを利用できる時間数）

支給決定の内容（サービスを利用できる時間数）は、「満足している」が41.5%と最も高く、次いで「おおむね満足している」が37.3%となっている。

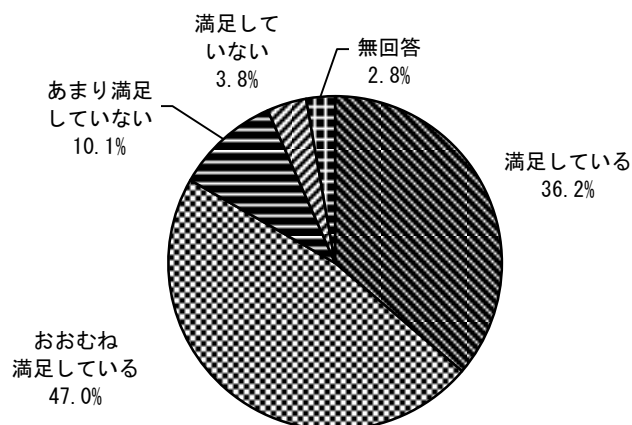
図表Ⅱ-2-18 満足度【支給決定の内容（サービスを利用できる時間数）】
〈SA〉（N=287）※非該当除く



② サービスの内容

サービスの内容は、「おおむね満足している」が47.0%と最も高く、次いで「満足している」が36.2%となっている。

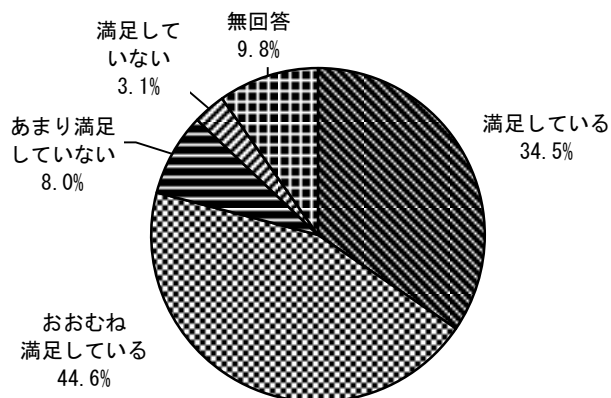
図表Ⅱ-2-19 満足度【サービスの内容】
〈SA〉（N=287）※非該当除く



③ ヘルパーの技術

ヘルパーの技術は、「おおむね満足している」が 44.6%と最も高く、次いで「満足している」が 34.5%となっている。

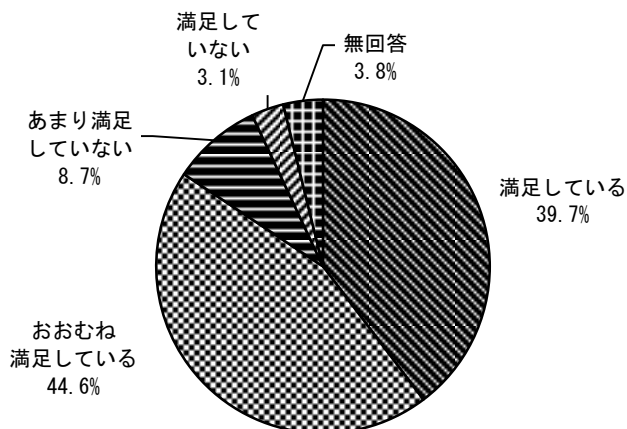
図表Ⅱ-2-20 満足度〔ヘルパーの技術〕〈SA〉
(N=287) ※非該当除く



④ 事業所の対応（わかりやすく説明してくれるか等）

事業所の対応（わかりやすく説明してくれるか等）は、「おおむね満足している」が 44.6%と最も高く、次いで「満足している」が 39.7%となっている。

図表Ⅱ-2-21 満足度〔事務所の対応（わかりやすく説明してくれるか等）〕
〈SA〉 (N=287) ※非該当除く

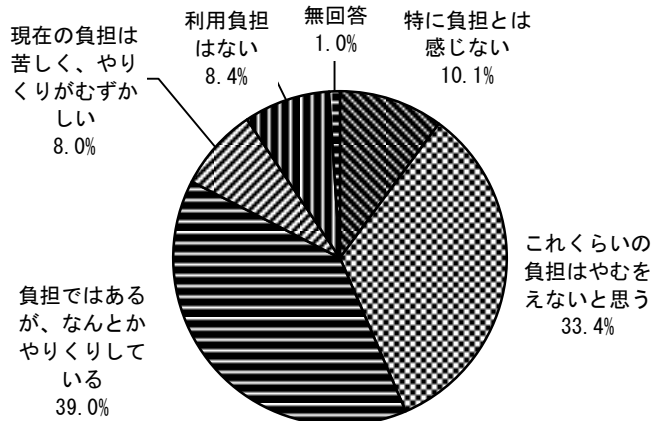


(3) 支払っている利用者負担額の負担感

問 8-2 保護者の方にお聞きします。現在支払っている利用者負担について、どう思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

支払っている利用者負担額の負担感は、「負担ではあるが、なんとかやりくりしている」が39.0%と最も高く、次いで「これくらいの負担はやむをえないと思う」が33.4%となっている

図表Ⅱ-2-22 支払っている利用者負担額の負担感
〈SA〉 (N=287) ※非該当除く

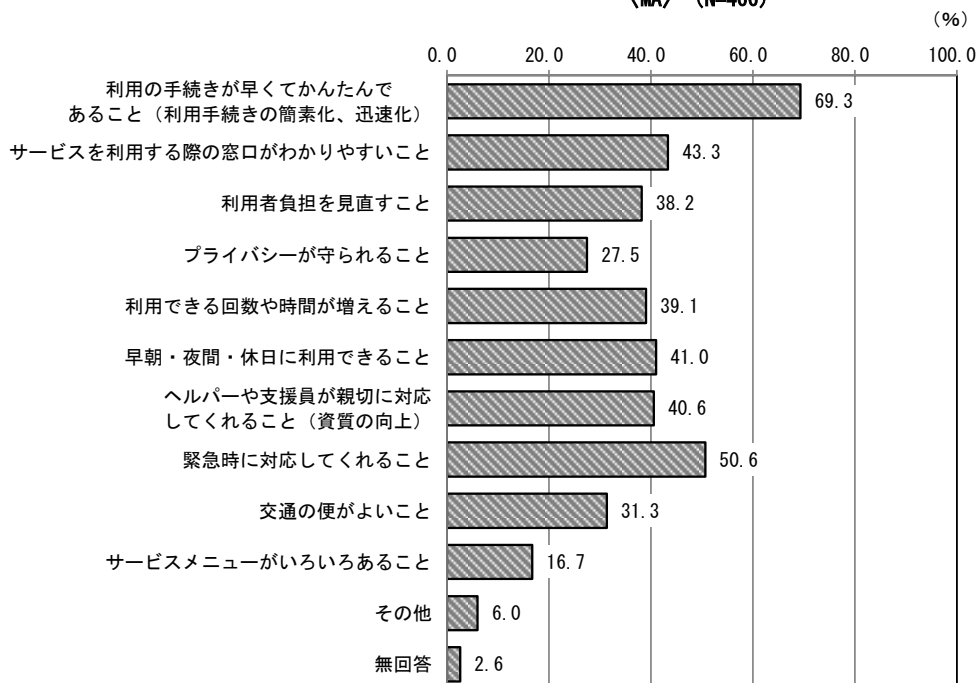


(4) 福祉サービスを利用しやすくするために必要なこと

問 9 あなたや保護者の方は、福祉サービスを利用しやすくするために、どのようなことが必要だと思えますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

福祉サービスを利用しやすくするために必要なことは、「利用の手続きが早くてかんたんであること（利用手続きの簡素化、迅速化）」が69.3%と最も高く、次いで「緊急時に対応してくれること」が50.6%となっている。

図表Ⅱ-2-23 福祉サービスを利用しやすくするために必要なこと
〈MA〉 (N=466)

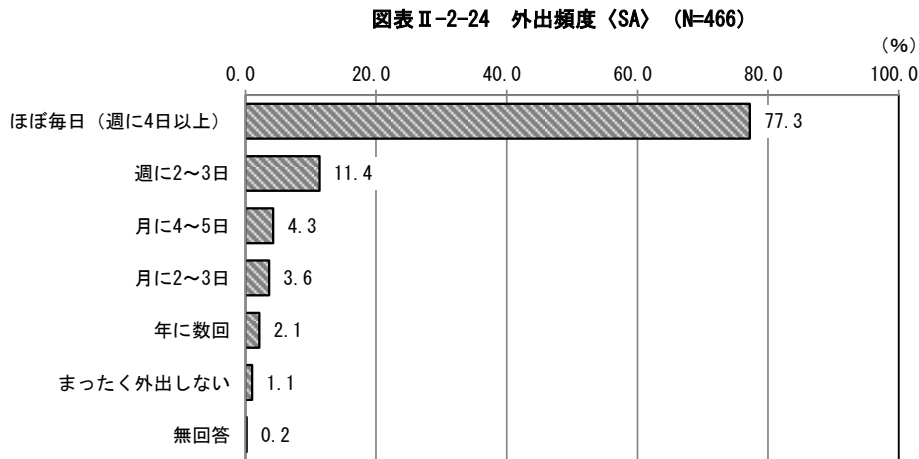


4 外出の状況

(1) 外出頻度

問 10 あなたは、普段どのくらい外出しますか。あてはまるもの1つに○をつけてください

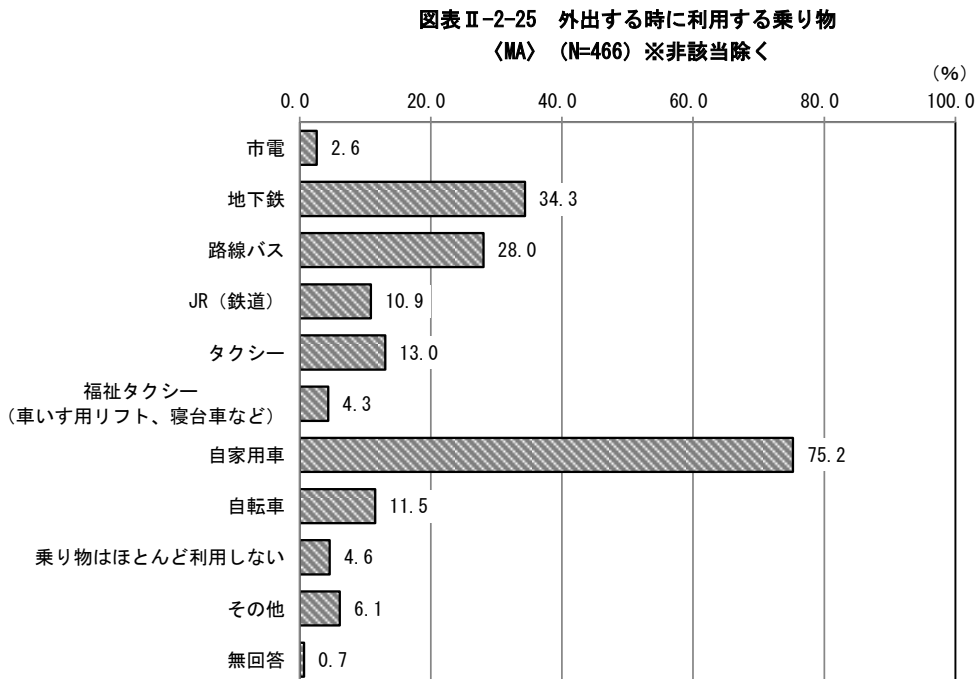
外出頻度は、「ほぼ毎日（週に4日以上）」が77.3%と最も高く、次いで「週に2～3日」が11.4%となっている。



(2) 外出する時に利用する乗り物

問 10-1 外出する時に利用する乗り物は何ですか。主なものを3つまで選んで○をつけてください。

外出する時に利用する乗り物は、「自家用車」が75.2%と最も高く、次いで「地下鉄」が34.3%となっている。

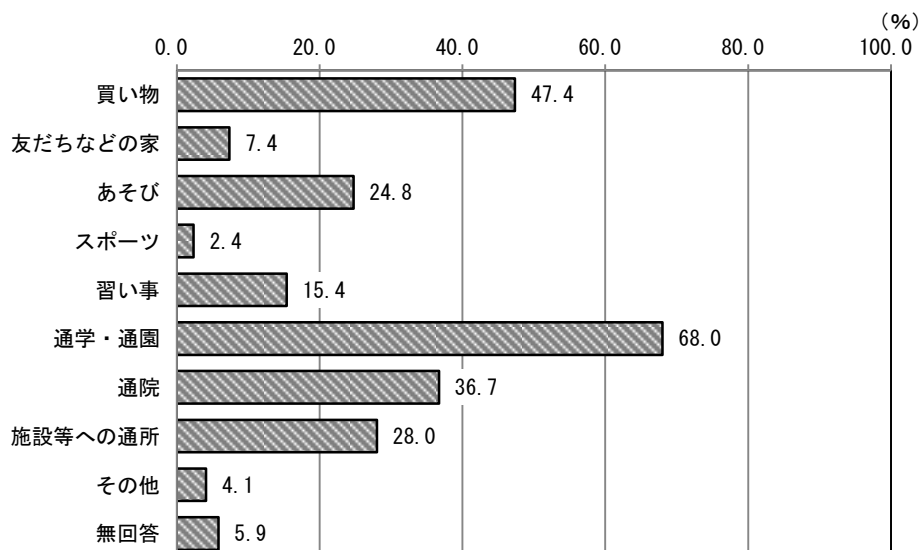


(3) 主な外出目的

問 10-2 外出の目的は何ですか。主なものを3つまで選んで○をつけてください。

主な外出目的は、「通学・通園」が68.0%と最も高く、次いで「買い物」が47.4%となっている。

図表Ⅱ-2-26 主な外出目的〈MA〉(N=460) ※非該当除く

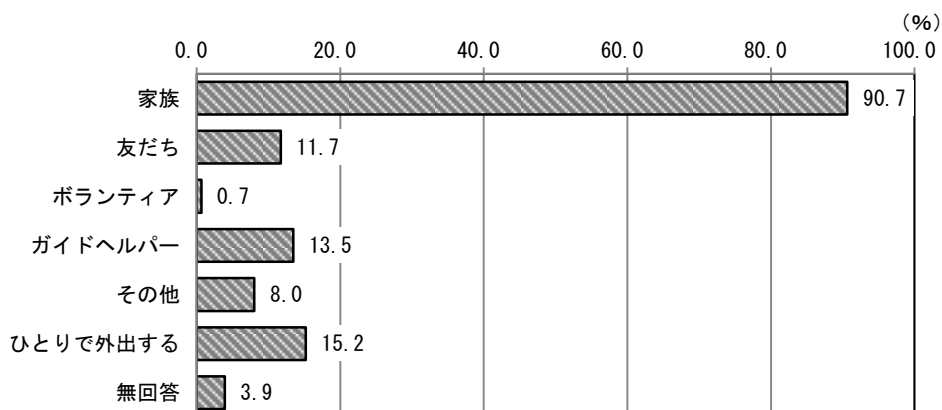


(4) 主な外出同伴者

問 10-3 だれと一緒に外出することが多いですか。主な方を2人まで選んで○をつけてください。

主な外出同伴者は、「家族」が90.7%と最も高く、次いで「ひとりで外出する」が15.2%となっている。

図表Ⅱ-2-27 主な外出同伴者〈MA〉(N=460) ※非該当除く

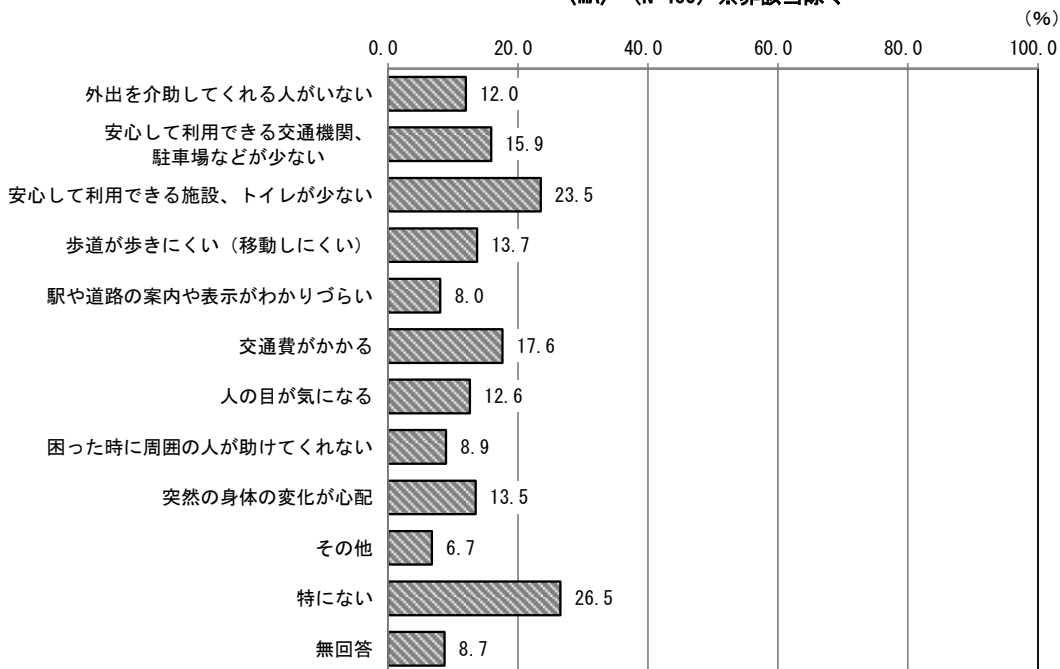


(5) 外出する際に困っていること

問 10-4 外出する際に、困っていることは何ですか。主なものを3つまで選んで○をつけてください。

外出するときに困っていることは、「特にない」が26.5%と最も高く、次いで「安心して利用できる施設、トイレが少ない」が23.5%となっている。

図表Ⅱ-2-28 外出する際に困っていること
〈MA〉 (N=460) ※非該当除く



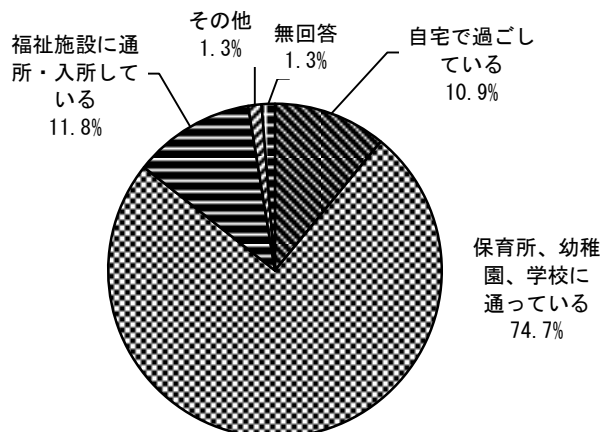
5 学校・日中の過ごし方など

(1) 平日の昼間の過ごし方

問 11 あなたは、平日の昼間を主にどこで過ごしていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

平日の昼間の過ごし方は、「保育所、幼稚園、学校に通っている」が74.7%と最も高く、次いで「副詞節に通所・入所している」が11.8%となっている。

図表Ⅱ-2-29 平日の昼間の過ごし方〈SA〉 (N=466)

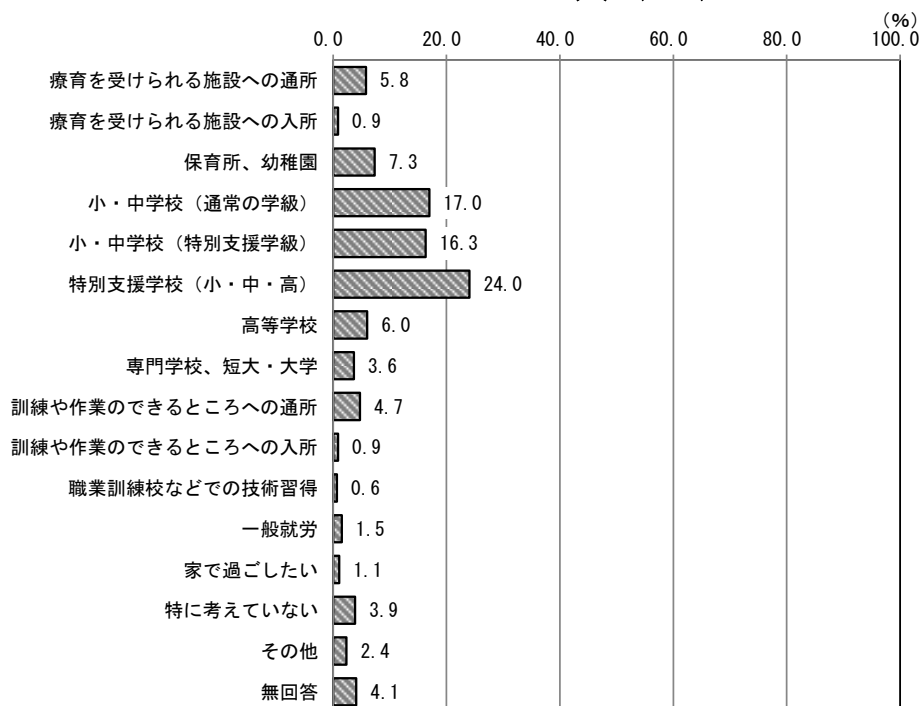


(2) 子どもの当面（直近）の進路

問 12 あなたは、当面（直近）の進路として何を希望していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

子どもの当面（直近）の進路は、「特別支援学校（小・中・高）」が24.0%と最も高く、次いで「小・中学校（通常の学級）」が17.0%となっている。

図表Ⅱ-2-30 子どもの当面（直近）の進路
〈MA〉（N=466）

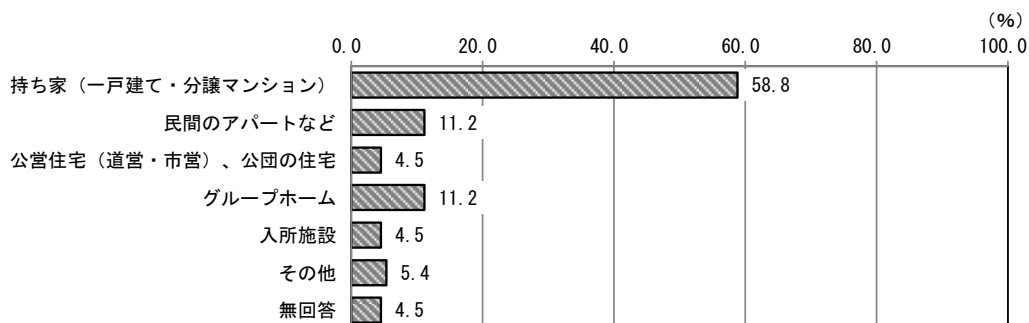


(3) 将来の生活の場所

問 13 あなたは将来、どのような場所で生活したいですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

将来の生活の場所は、「持ち家（一戸建て・分譲マンション）」が58.8%と最も高く、次いで「民間のアパートなど」「グループホーム」がそれぞれ11.2%となっている。

図表Ⅱ-2-31 将来の生活の場所〈MA〉（N=466）

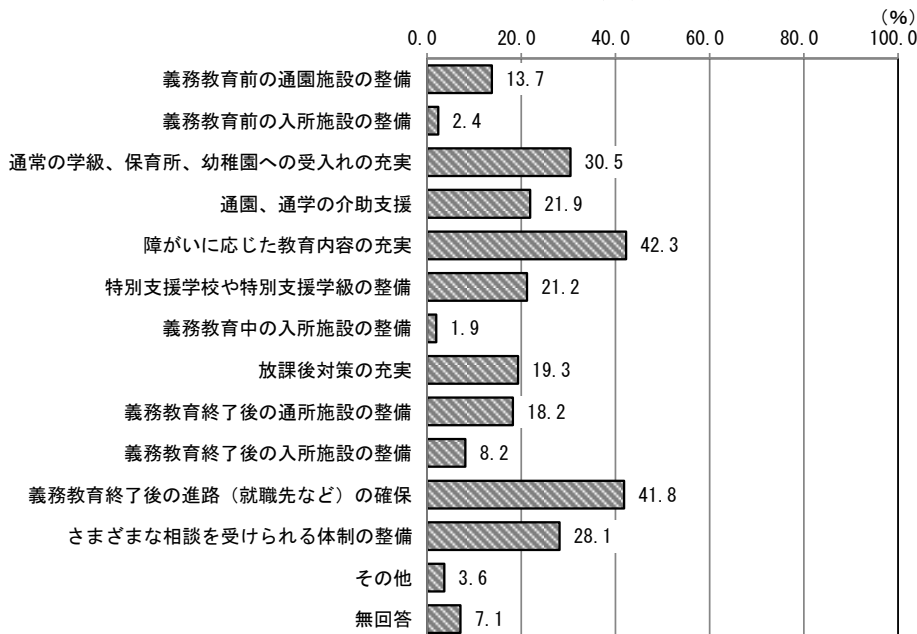


(4) 今後の教育や療育について

問 14 保護者の方にお聞きします。今後の教育や療育について、どのような点に力を入れるべきだと思いますか。あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

今後の教育や療育については、「障がいに応じた教育内容の充実」が42.3%と最も高く、次いで「義務教育終了後の通所施設の整備」が41.8%となっている。

図表Ⅱ-2-32 今後の教育や療育について
〈MA〉 (N=466)



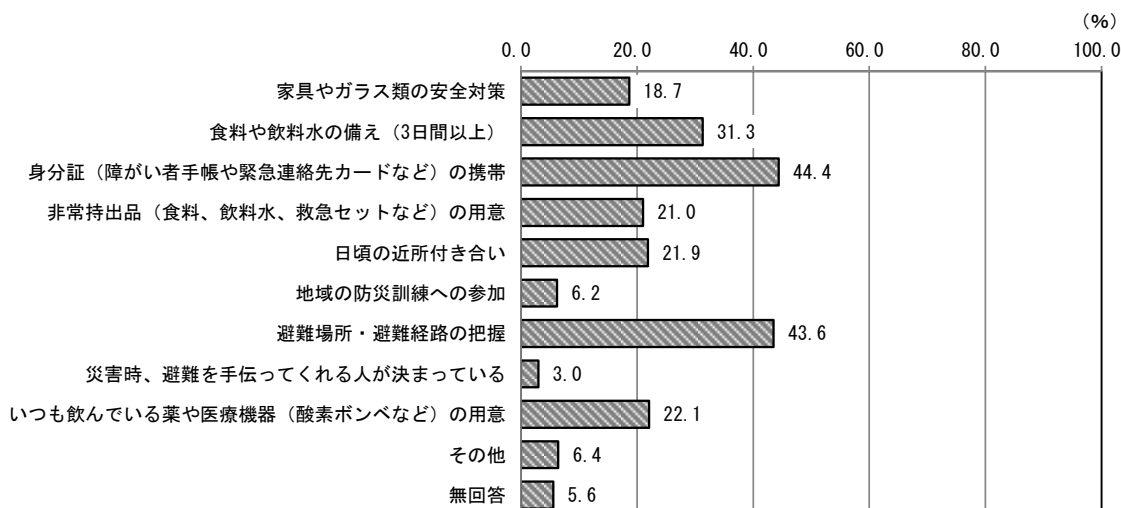
6 防災について

(1) 災害への備え

問 15 あなたや保護者の方は、地震などの災害への備えとして、普段どのようなことをしていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

災害への備えは、「身分証（障がい者手帳や緊急連絡先カードなど）の携帯」が44.4%と最も高く、次いで「避難場所・避難経路の把握」が43.6%となっている。

図表Ⅱ-2-33 災害への備え 〈MA〉 (N=466)

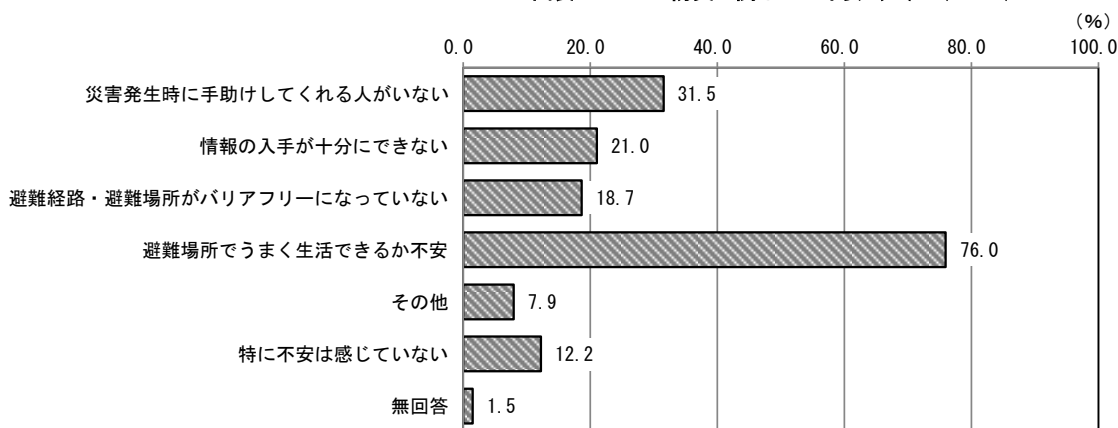


(2) 防災に関する不安

問 16 あなたや保護者の方は、防災に関して不安に感じていることはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

防災に関する不安は、「避難場所ですぐ生活できるか不安」が76.0%と最も高く、次いで「災害発生時に手助けしてくれる人がいない」が31.5%となっている。

図表Ⅱ-2-34 防災に関する不安〈MA〉(N=466)

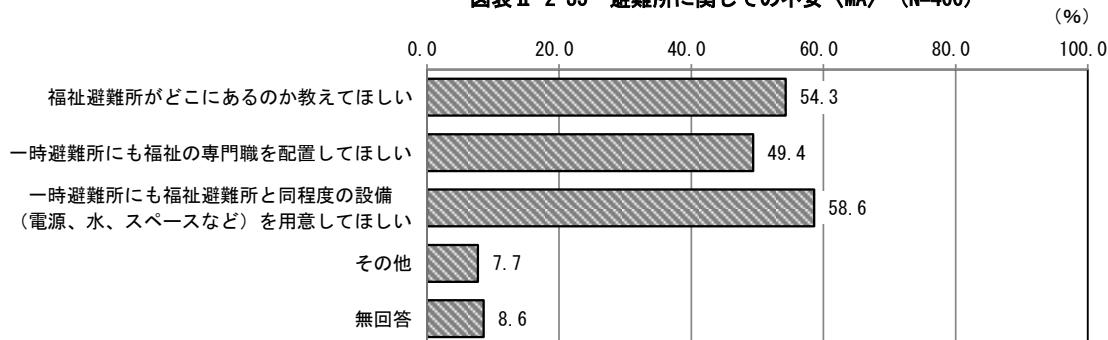


(3) 避難所に関する不安

問 17 あなたや保護者の避難所について不安を感じていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

避難所に関する不安は、「一時避難所にも福祉避難所と同程度の設備（電源、水、スペースなど）を用意してほしい」が58.6%と最も高く、次いで「福祉避難所がどこにあるのか教えてほしい」が54.3%となっている。

図表Ⅱ-2-35 避難所に関する不安〈MA〉(N=466)



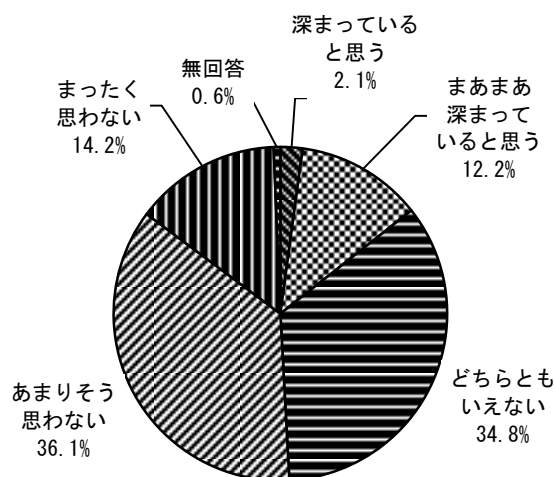
7 制度や政策等について

(1) 障がいのある人に対する市民の理解度

問 18 あなたや保護者の方は、障がいのある人に対する市民の理解が深まってきていると思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

障がいのある人に対する市民の理解度は、「あまりそう思わない」が36.1%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が34.8%となっている。

図表Ⅱ-2-36 障がいのある人に対する市民の理解度
〈SA〉 (N=466)

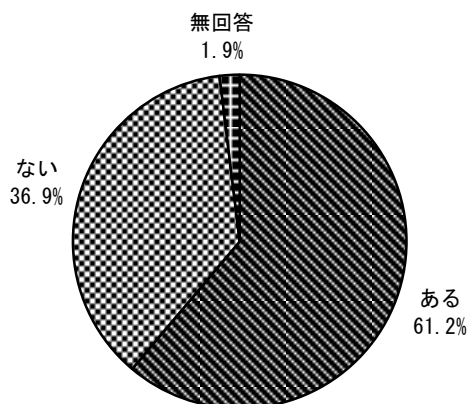


(2) 障がいがあるために受けた差別やいやな思いの有無

問 19 あなたはこれまでに、障がいがあるために差別をうけたり、いやな思いをしたことがありますか。

障がいがあるために受けた差別やいやな思いの有無は、「ある」が61.2%と高く、「ない」が36.9%となっている。

図表Ⅱ-2-37 障がいがあるために受けた差別やいやな思いの有無
〈SA〉 (N=466)

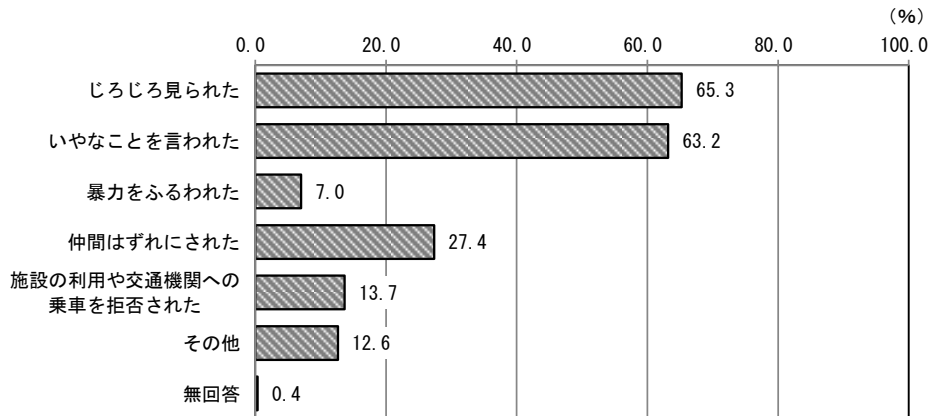


(3) 障がいがあるために受けた差別やいやな思い

問 19-1 それはどのようなことですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

障がいがあるために受けた差別やいやな思いは、「じろじろ見られた」が65.3%と最も高く、次いで「いやなことを言われた」が63.2%となっている。

図表Ⅱ-2-38 障がいがあるために受けた差別やいやな思い
〈MA〉(N=285) ※非該当除く

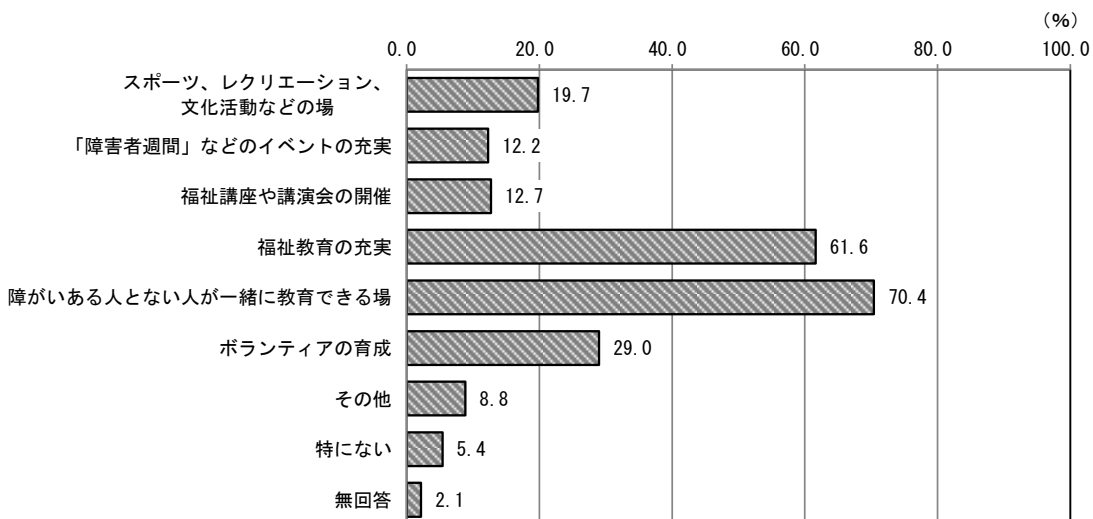


(4) 障がい者への理解が深まるために必要なこと

問 20 あなたや保護者の方は、障がいのある人への理解が深まるためには、今後どのようなことが必要だと思いますか。主なものを3つまで選んで○をつけてください。

障がい者への理解が深まるために必要なことは、「障がいある人とない人が一緒に教育できる場」が70.4%と最も高く、次いで「福祉教育の充実」が61.6%となっている。

図表Ⅱ-2-39 障がい者への理解が深まるために必要なこと
〈MA〉(N=466)

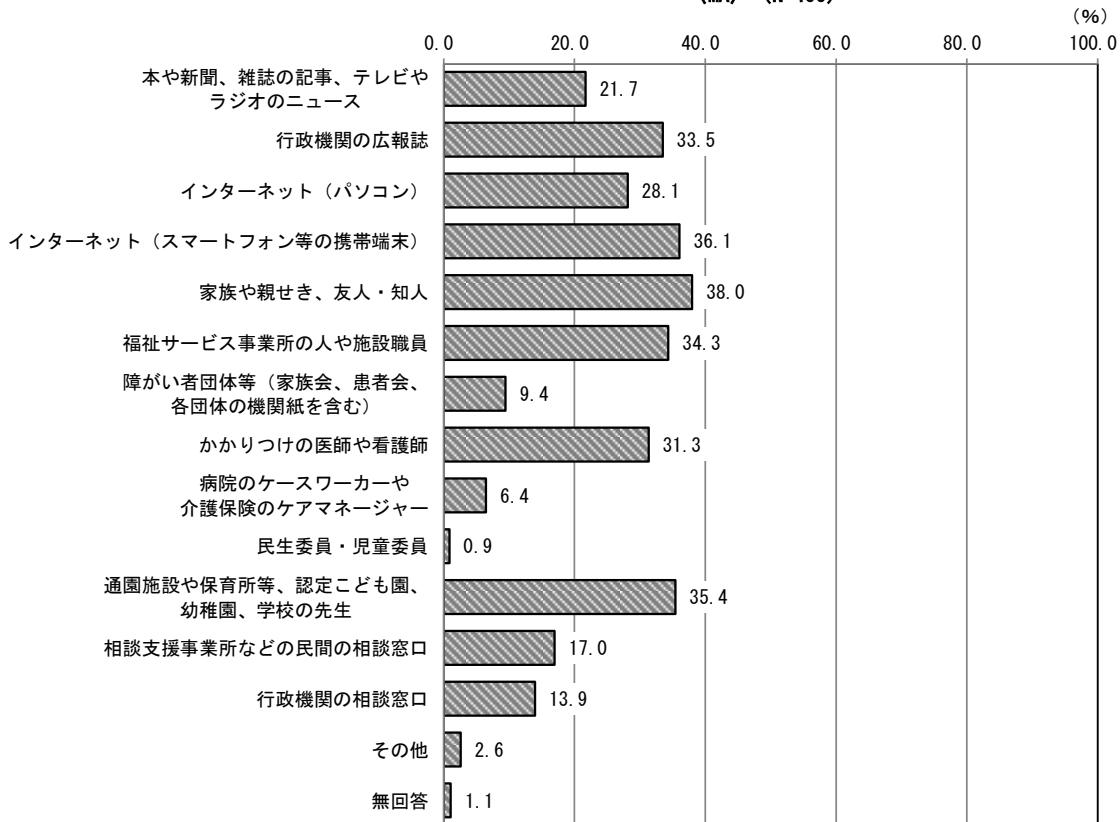


(5) 障がいまたは障がい福祉サービス情報の入手方法

問 21 あなたは、障がいまたは障がい福祉サービスの情報をどのように入手していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

障がいまたは障がい福祉サービス情報の入手方法は、「家族や親せき、友人・知人」が38.0%と最も高く、次いで「インターネット（スマートフォン等の携帯端末）」が36.1%となっている。

図表Ⅱ-2-40 障がいまたは障がい福祉サービス情報の入手方法
〈MA〉 (N=466)

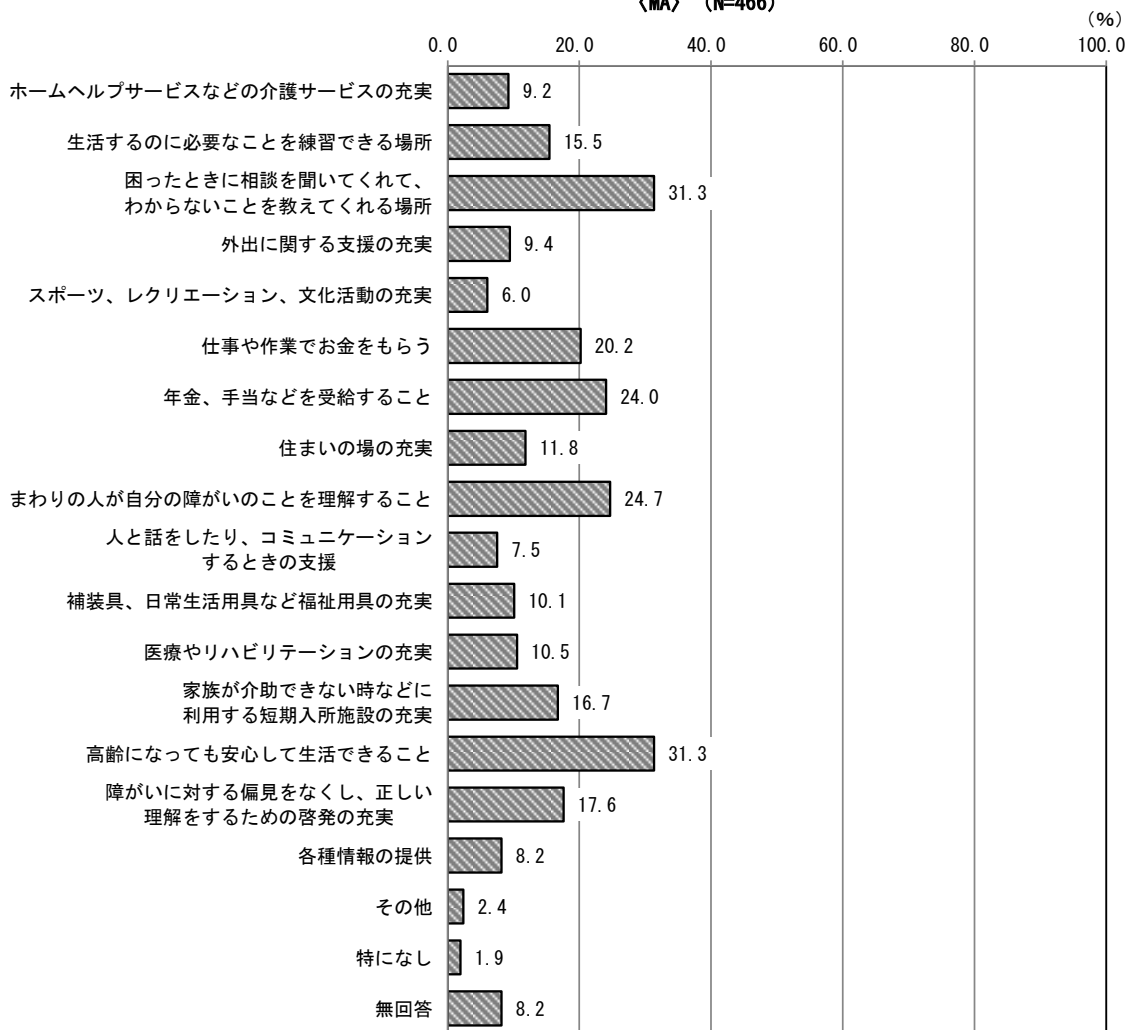


(6) 希望する生活をするためにあればよいこと

問 22 あなたが今後、希望する生活をするためには、どのようなことがあればよいと思いますか。あてはまるものを3つまでえらんで○をつけてください。

希望する生活をするためにあればよいことは、「困ったときに相談を聞いてくれて、わからないことを教えてくれる場所」「高齢になっても安心して生活できること」がともに31.3%と最も高く、次いで「まわりの人が自分の障がいのことを理解すること」が24.7%となっている。

図表Ⅱ-2-41 希望する生活をするためにあればよいこと
〈MA〉 (N=466)



Ⅱ—3 難病患者調査

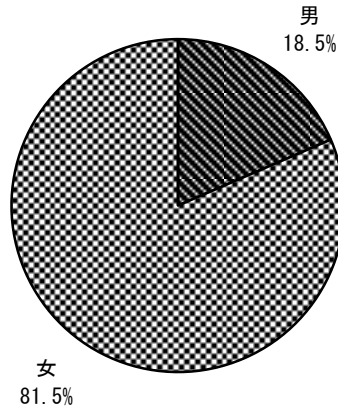
1 あなたのこと、世帯の状況について

(1) 性別

問1 あなたの性別に○をつけてください。

性別は、「女性」が81.5%、「男性」が18.5%となっている。

図表Ⅱ-3-1 性別〈SA〉(N=108)

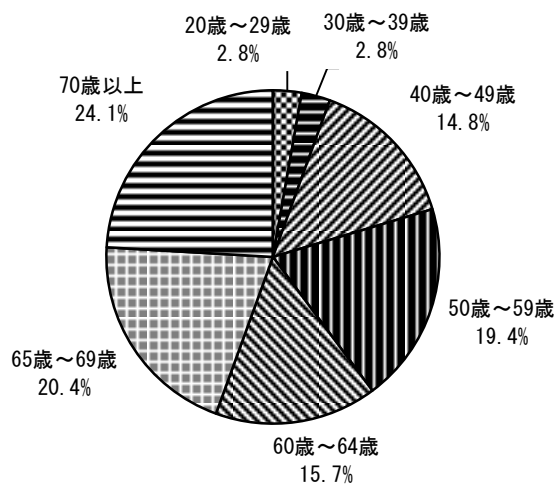


(2) 年齢

問2 あなたの年齢について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

年齢は、「70歳以上」が24.1%と最も高く、次いで「65～69歳」が20.4%となっている。

図表Ⅱ-3-2 年齢〈SA〉(N=108)

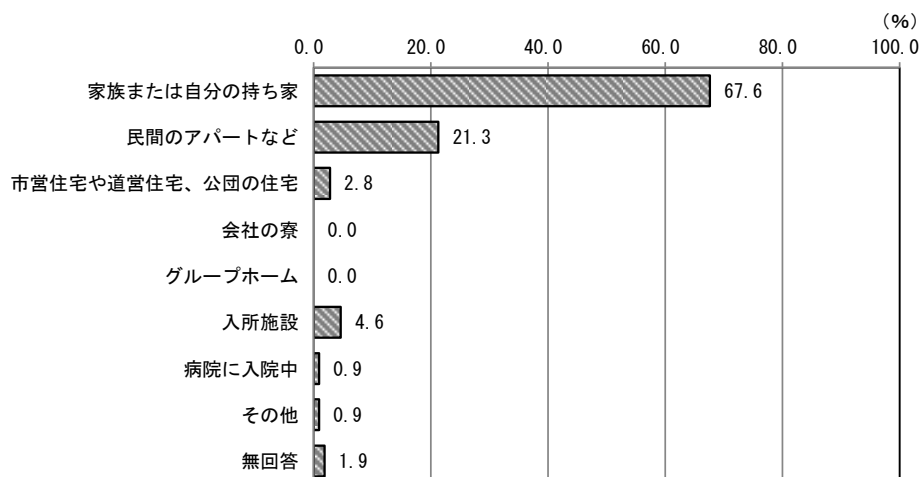


(3) 生活している場所

問3 あなたは、現在どこで生活していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

生活している場所は、「家族または自分の持ち家」が67.6%と最も高く、次いで「民間のアパートなど」が21.3%となっている。

図表Ⅱ-3-3 生活している場所〈SA〉(N=108)

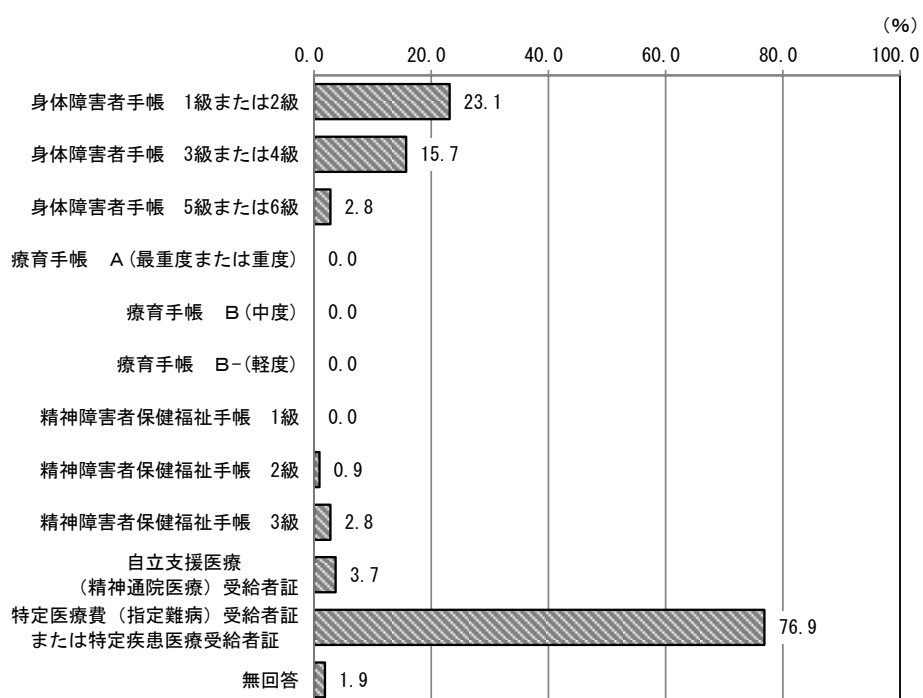


(4) 障がい手帳などの種類

問4 あなたが持っている障がい者手帳などの種類はどれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

障がい者手帳などの種類は、「特定医療費（指定難病）受給者証または特定疾患医療受給者証」が76.9%と最も高く、次いで「身体障がい者手帳 1級または2級」が23.1%となっている。

図表Ⅱ-3-4 障がい手帳などの種類〈SA〉(N=108)

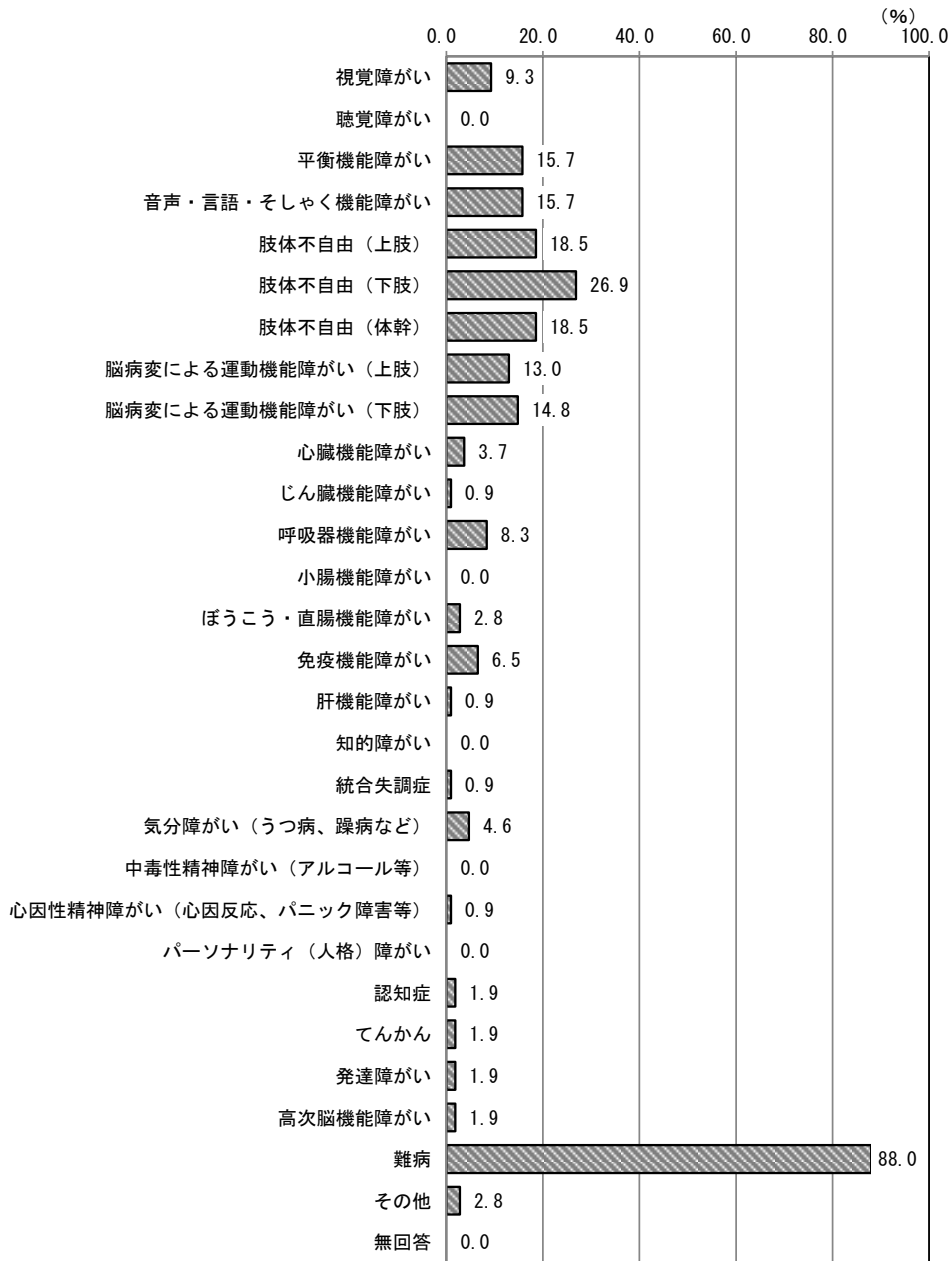


(5) 障がいや疾病の種類

問5 あなたの障がいや疾病で、あてはまるものすべてに○をつけてください。

障がいや疾病の種類は、「難病」が88.0%と最も高く、次いで「肢体不自由（下肢）」が26.9%となっている。

図表Ⅱ-3-5 障がいや疾病の種類（MA）（N=108）



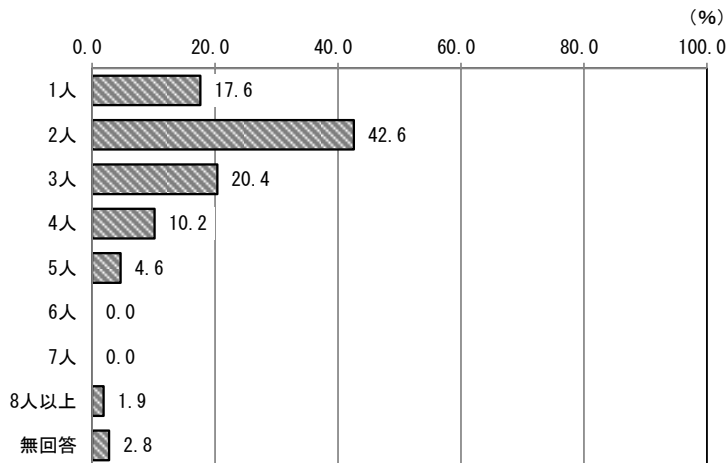
(6) 一緒に住んでいる家族の人数

問6 家族のとおについておしえてください。

(1) あなたは何人家族ですか。

一緒に住んでいる家族の人数は、「2人」が42.6%と最も高く、次いで「3人」が20.4%となっている。

図表II-3-6 一緒に住んでいる家族の人数<SA> (N=108)



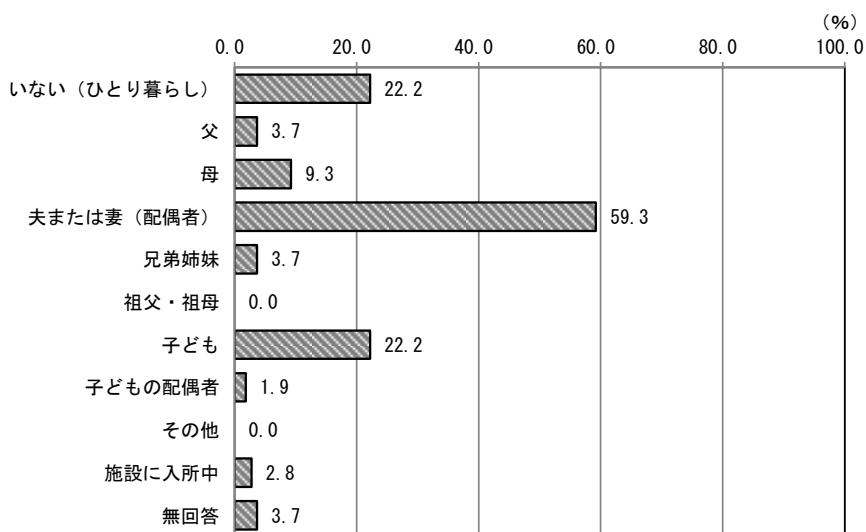
(7) 一緒に住んでいる人

問6 家族のとおについておしえてください。

(2) 一緒に住んでいる人はだれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

一緒に住んでいる人は、「夫または妻(配偶者)」が59.3%と最も高く、次いで「いない」「子ども」がともに22.2%となっている。

図表II-3-7 一緒に住んでいる人<MA> (N=108)



2 心身の状況について

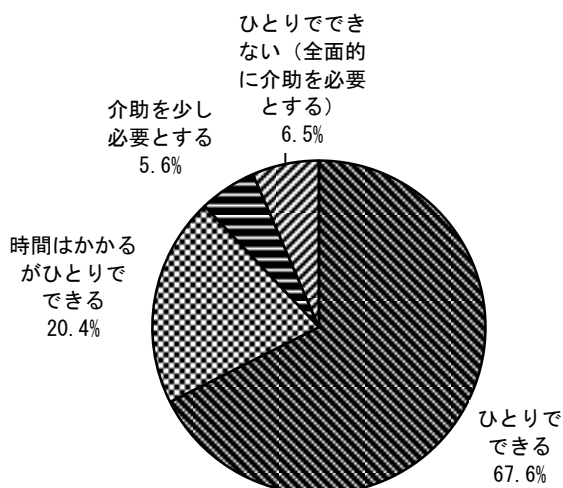
(1) 自立性

問7 あなたは、日常生活の中で、次の項目をひとりでできますか。それぞれの項目についてあてはまる番号1つに○をつけてください。

① 家の中の移動

家の中の移動は、「ひとりでできる」が67.6%と最も高く、次いで「時間はかかるがひとりでできる」が20.4%となっている。

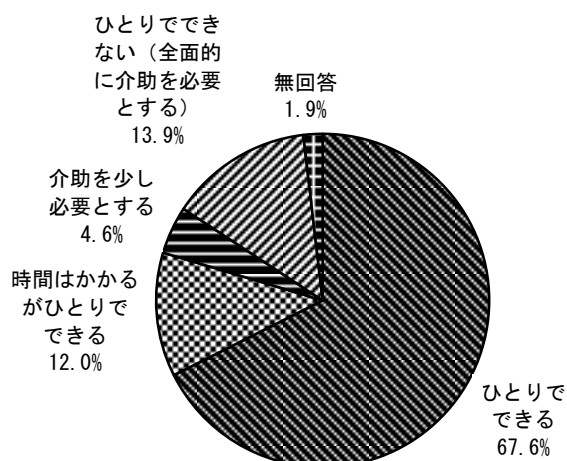
図表Ⅱ-3-8 家の中の移動〈SA〉 (N=108)



② 入浴

入浴は、「ひとりでできる」が67.6%と最も高く、次いで「ひとりでできない(全面的に介助を必要とする)」が13.9%となっている。

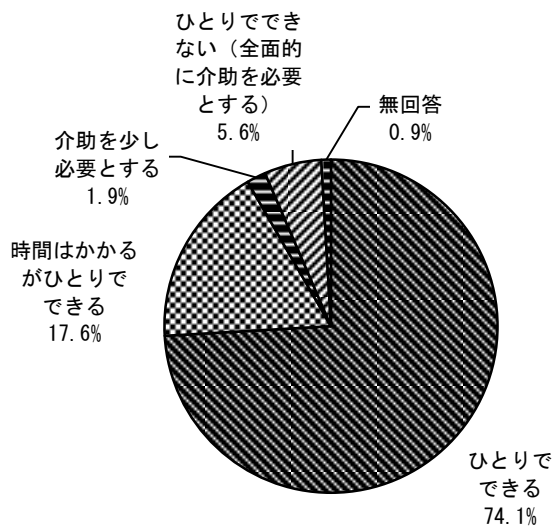
図表Ⅱ-3-9 入浴〈SA〉 (N=108)



③ 食事

食事は、「ひとりでできる」が 74.1%と最も高く、次いで「時間はかかるがひとりでできる」が 17.6%となっている。

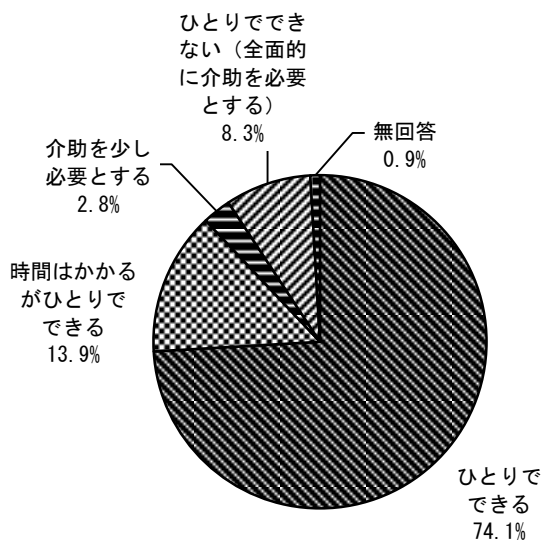
図表Ⅱ-3-10 食事〈SA〉 (N=108)



④ トイレ

トイレは、「ひとりでできる」が 74.1%と最も高く、次いで「時間はかかるがひとりでできる」が 13.9%となっている。

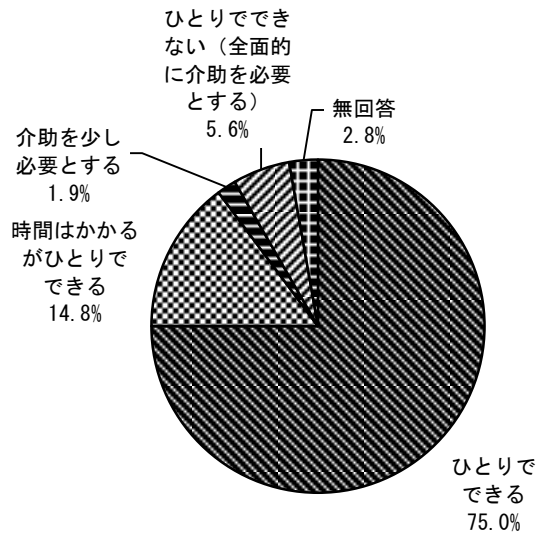
図表Ⅱ-3-11 トイレ〈SA〉 (N=108)



⑤ 寝返り

寝返りは、「ひとりでできる」が75.0%と最も高く、次いで「時間はかかるがひとりでできる」が14.8%となっている。

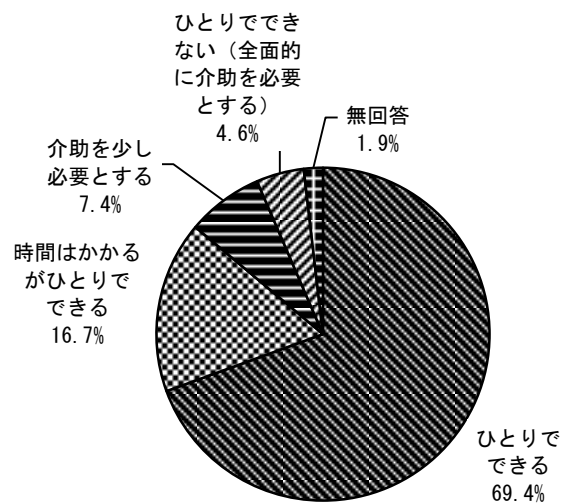
図表Ⅱ-3-12 寝返り〈SA〉(N=108)



⑥ 着替えや洗顔、歯みがきなど

着替えや洗顔、歯みがきなどは、「ひとりでできる」が69.4%と最も高く、次いで「時間はかかるがひとりでできる」が16.7%となっている。

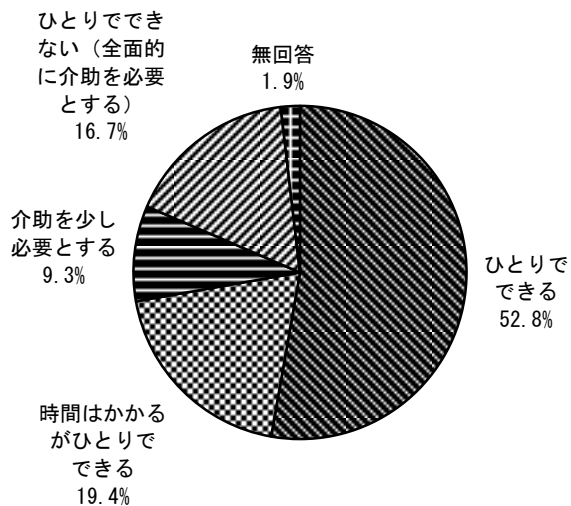
図表Ⅱ-3-13 着替えや洗顔、歯みがきなど〈SA〉(N=108)



⑦ 家事（調理・掃除・洗濯等）

家事（調理・掃除・洗濯等）は、「ひとりでできる」が52.8%と最も高く、次いで「時間はかかるがひとりでできる」が19.4%となっている。

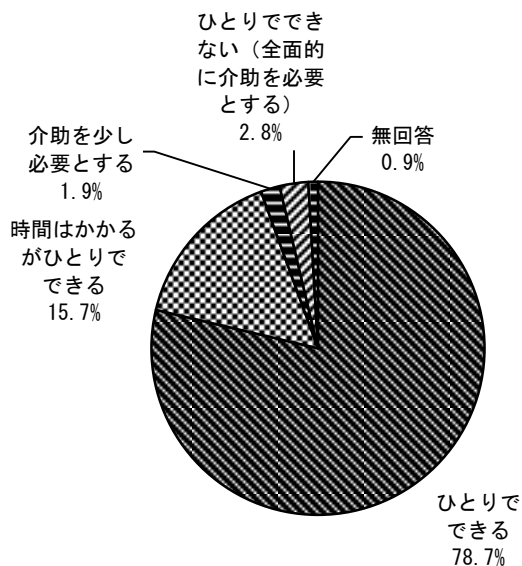
図表Ⅱ-3-14 家事（調理・掃除・洗濯等）〈SA〉（N=108）



⑧ 家族以外の人との意思の疎通

家族以外の人との意思の疎通は、「ひとりでできる」が78.7%と最も高く、次いで「時間はかかるがひとりでできる」が15.7%となっている。

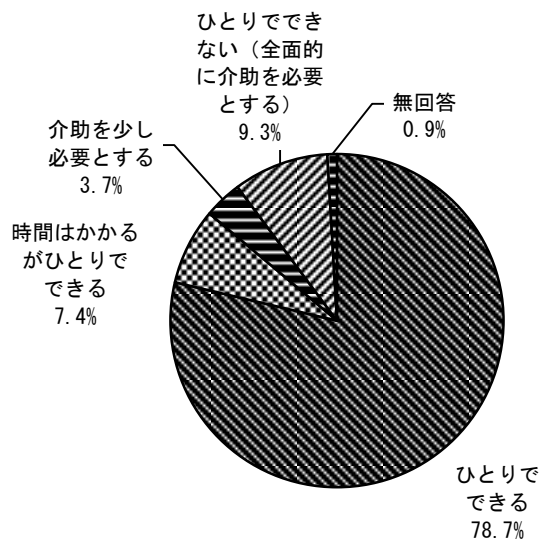
図表Ⅱ-3-15 家族以外の人との意思の疎通〈SA〉（N=108）



⑨ お金の管理

お金の管理は、「ひとりでできる」が78.7%と最も高く、次いで「ひとりでできない（全面的に介助を必要とする）」が9.3%となっている。

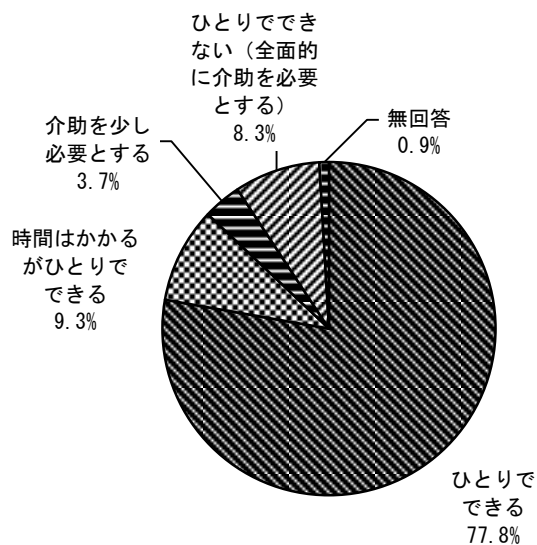
図表Ⅱ-3-16 お金の管理〈SA〉(N=108)



⑩ 薬の管理

薬の管理は、「ひとりでできる」が77.8%と最も高く、次いで「時間がかかるがひとりでできる」が9.3%となっている。

図表Ⅱ-3-17 薬の管理〈SA〉(N=108)



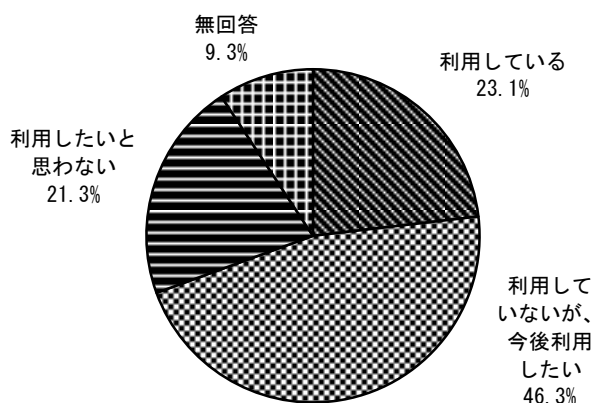
3 障がい福祉サービスについて

(1) 障がい福祉サービス（障害者総合支援法）の利用

問 8 あなたは、現在、障がい福祉サービス（障害者総合支援法）を利用していますか。

障がい福祉サービス（障害者総合支援法）の利用は、「利用していないが、今後利用したい」が46.3%と最も高く、次いで「利用している」が23.1%となっている。

図表Ⅱ-3-18 障がい福祉サービス（障害者総合支援法）の利用
〈SA〉（N=108）



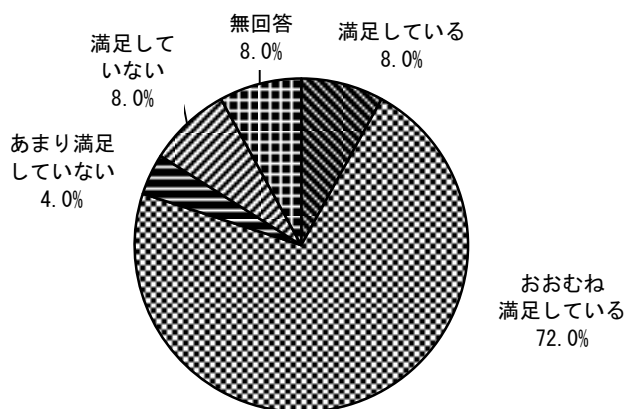
(2) 満足度

問 8-1 あなたは、現在受けている障がい福祉サービス（障害者総合支援法）に満足していますか。それぞれの項目についてあてはまる番号1つに○をつけてください。

① 支給決定の内容（サービスを利用できる時間数）

支給決定の内容（サービスを利用できる時間数）は、「おおむね満足している」が72.0%と最も高く、次いで「満足している」「満足していない」がいずれも8.0%となっている。

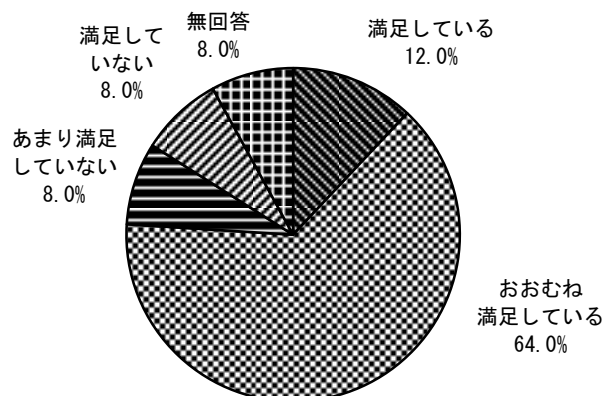
図表Ⅱ-3-19 支給決定の内容（サービスを利用できる時間数）
〈SA〉（N=25）



② サービスの内容

サービスの内容は、「おおむね満足している」が 64.0%と最も高く、次いで「満足している」が 12.0%となっている。

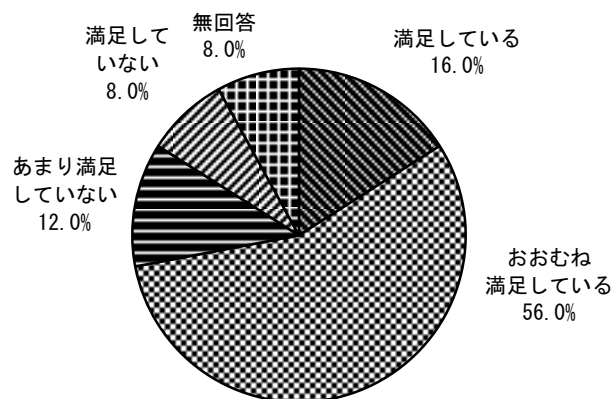
図表Ⅱ-3-20 サービスの内容〈SA〉(N=25)



③ ヘルパーの技術

ヘルパーの技術は、「おおむね満足している」が 56.0%と最も高く、次いで「満足している」が 16.0%となっている。

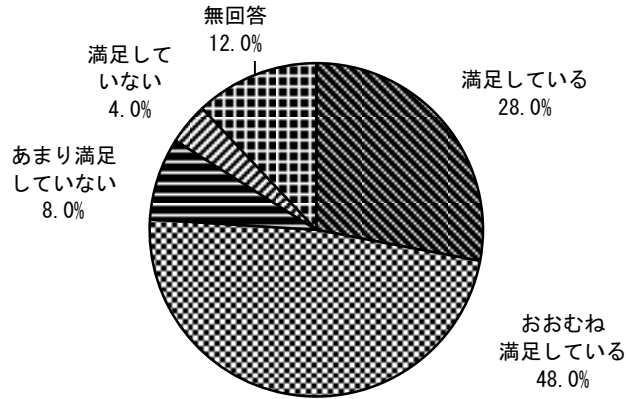
図表Ⅱ-3-21 ヘルパーの技術〈SA〉(N=25)



④ 事業所の対応（わかりやすく説明してくれるか等）

事業所の対応（わかりやすく説明してくれるか等）は、「おおむね満足している」が 48.0%と最も高く、次いで「満足している」が 28.0%となっている。

図表Ⅱ-3-22 事業所の対応（わかりやすく説明してくれるか等）
〈SA〉（N=25）

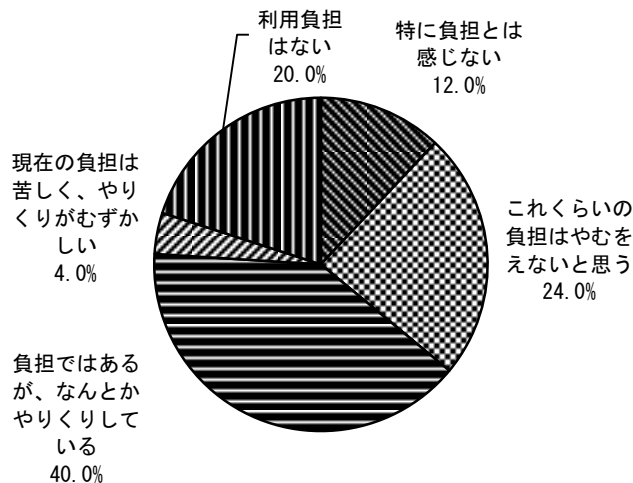


(2) 支払っている利用者負担額の負担感

問 8-2 現在支払っている利用者負担について、どう思いますか。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

支払っている利用者負担額の負担感は、「負担ではあるが、なんとかやりくりしている」が 40.0%と最も高く、次いで「これくらいの負担はやむをえないと思う」が 24.0%となっている

図表Ⅱ-3-23 支払っている利用者負担額の負担感
〈SA〉（N=25）

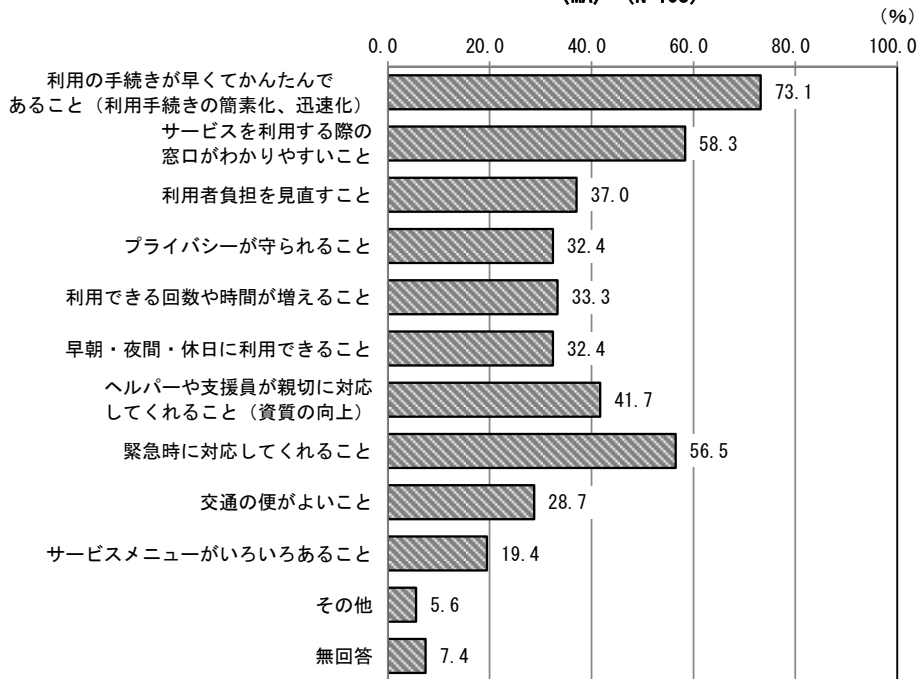


(3) 福祉サービスを利用しやすくするために必要なこと

問9 あなたは、障がい福祉サービスを利用しやすくするために、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

福祉サービスを利用しやすくするために必要なことは、「利用の手続きが早くてかんたんであること（利用手続きの簡素化、迅速化）」が73.1%と最も高く、次いで「サービスを利用する際の窓口がわかりやすいこと」が58.3%となっている。

図表Ⅱ-3-24 福祉サービスを利用しやすくするために必要なこと
〈MA〉 (N=108)



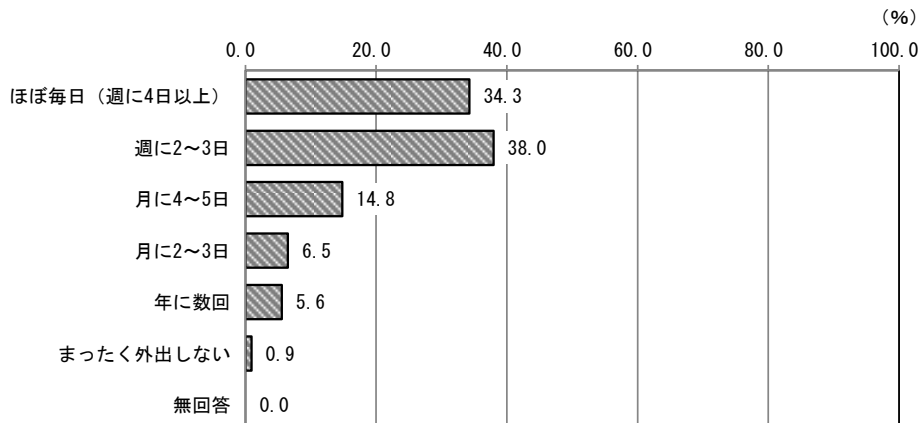
4 外出の状況

(1) 外出頻度

問10 あなたは、普段どのくらい外出しますか。あてはまるもの1つに○をつけてください

外出頻度は、「週に2～3日」が38.0%と最も高く、次いで「ほぼ毎日（週に4日以上）」が34.3%となっている。

図表Ⅱ-3-25 外出頻度〈SA〉 (N=108)

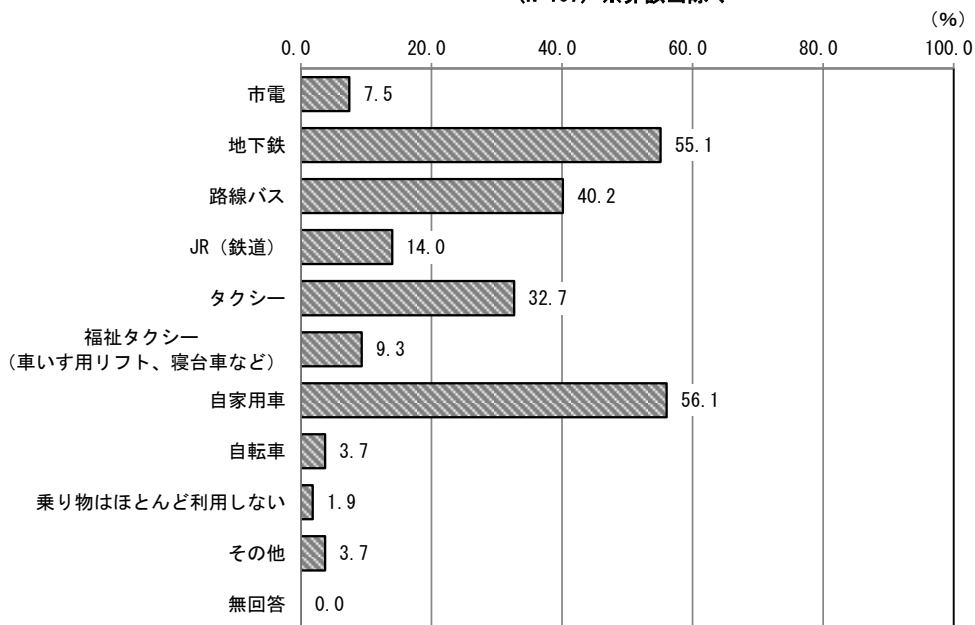


(2) 外出する時に利用する乗り物

問 10-1 外出する時に利用する乗り物は何ですか。主なものを3つまで選んで○をつけてください。

外出する時に利用する乗り物は、「自家用車」が 56.1%と最も高く、次いで「地下鉄」が 55.1%となっている。

図表Ⅱ-3-26 外出する時に利用する乗り物〈MA〉
(N=107) ※非該当除く

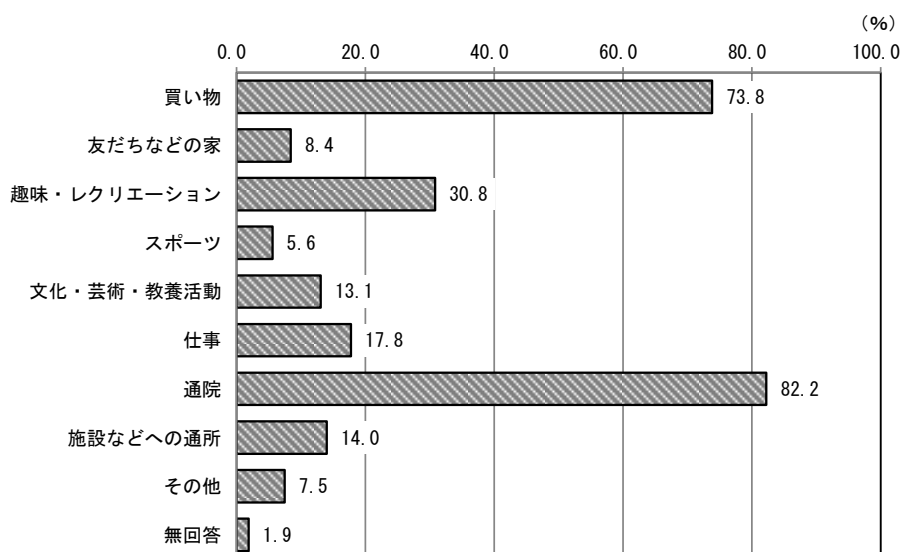


(3) 主な外出目的

問 10-2 外出の目的は何ですか。主なものを3つまで選んで○をつけてください。

主な外出の目的は、「通院」が 82.2%と最も高く、次いで「買い物」が 73.8%となっている。

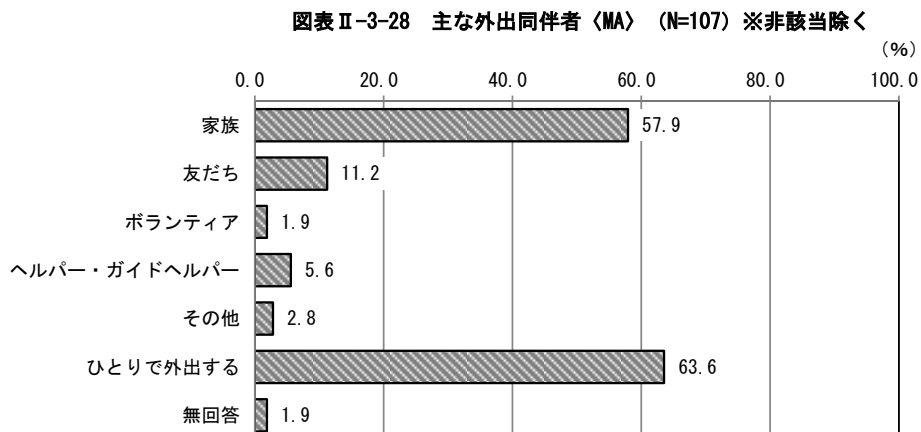
図表Ⅱ-3-27 主な外出目的〈MA〉 (N=107) ※非該当除く



(4) 主な外出同伴者

問 10-3 だれと一緒に外出することが多いですか。主な方を2人まで選んで○をつけてください。

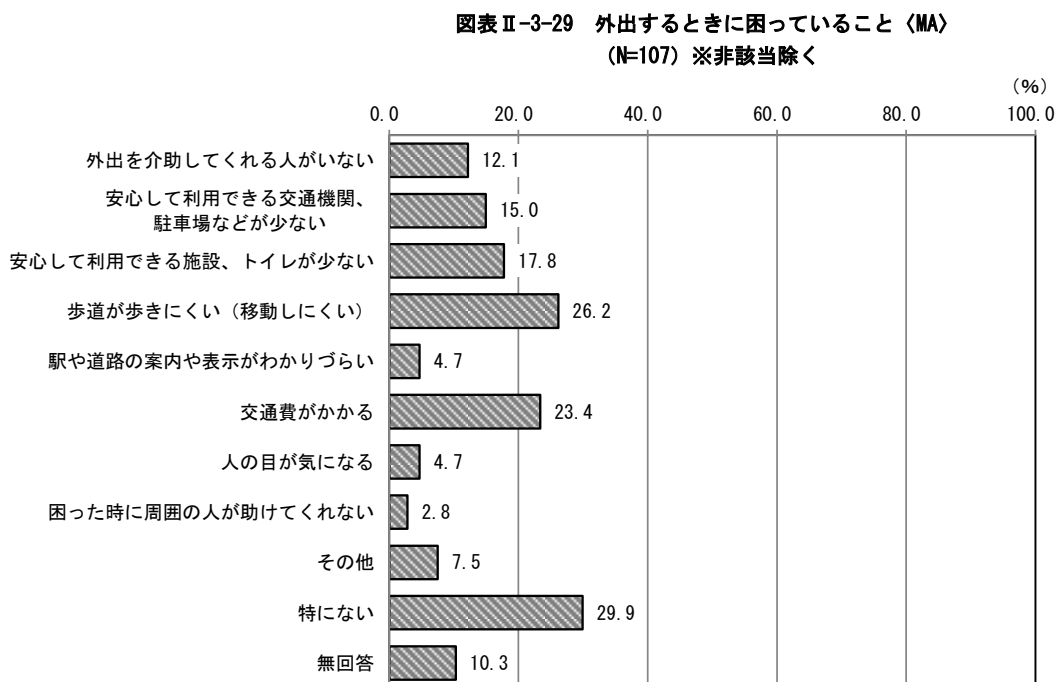
主な外出同伴者は、「ひとりで外出する」が 63.6%と最も高く、次いで「家族」が 57.9%となっている。



(5) 外出するときに困っていること

問 10-4 外出するときに困っていることは何ですか。主なものを3つまで選んで○をつけてください。

外出するときに困っていることは、「特にない」が 29.9%と最も高く、次いで「歩道が歩きにくい(移動しにくい)」が 26.2%となっている。

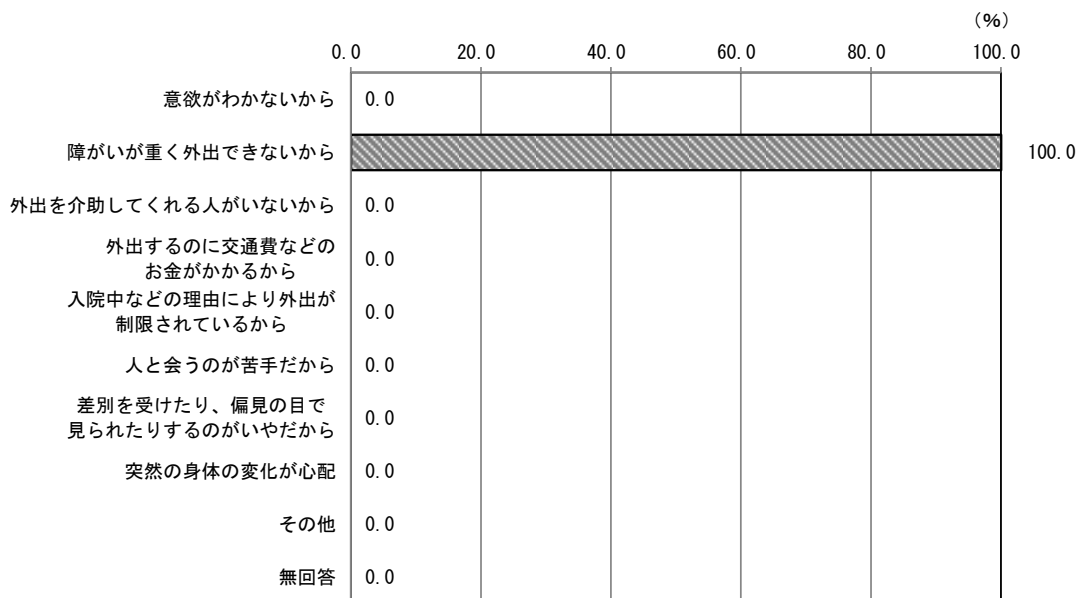


(6) 外出しない理由

問 10-5 まったく外出しない理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

外出しない理由は、「障がいが高く外出できないから」が 100.0%となっている。

図表Ⅱ-3-30 外出しない理由〈MA〉(N=1) ※非該当除く



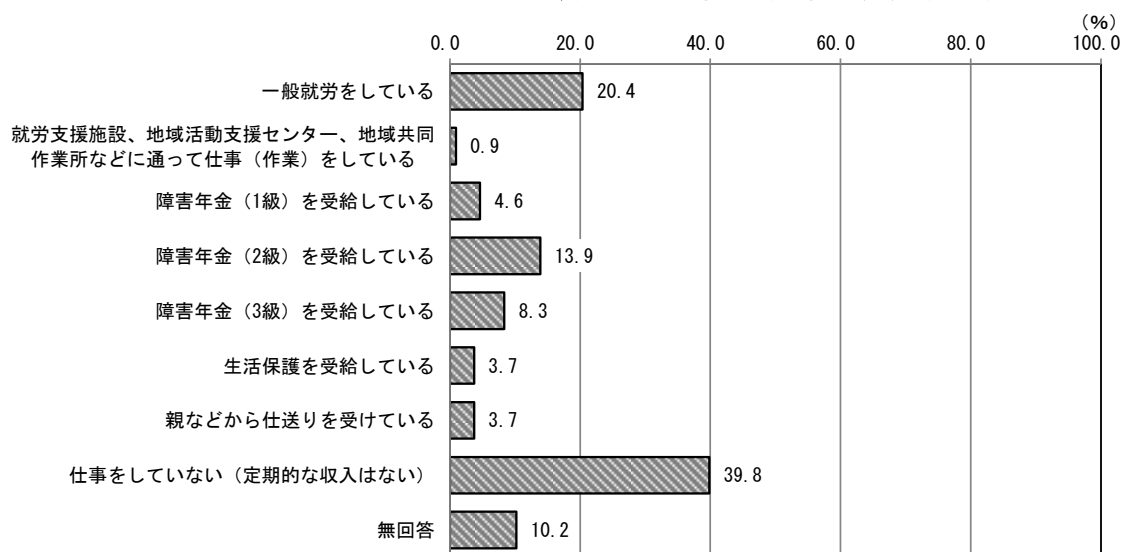
5 仕事など

(1) 仕事や作業の有無

問 11 あなたは現在、どのように収入を得ていますか (複数回答可)。

仕事や作業の有無は、「仕事をしていない」が 39.8%と最も高く、次いで「一般就労している」が 20.4%となっている。

図表Ⅱ-3-31 仕事や作業の有無〈MA〉(N=108)

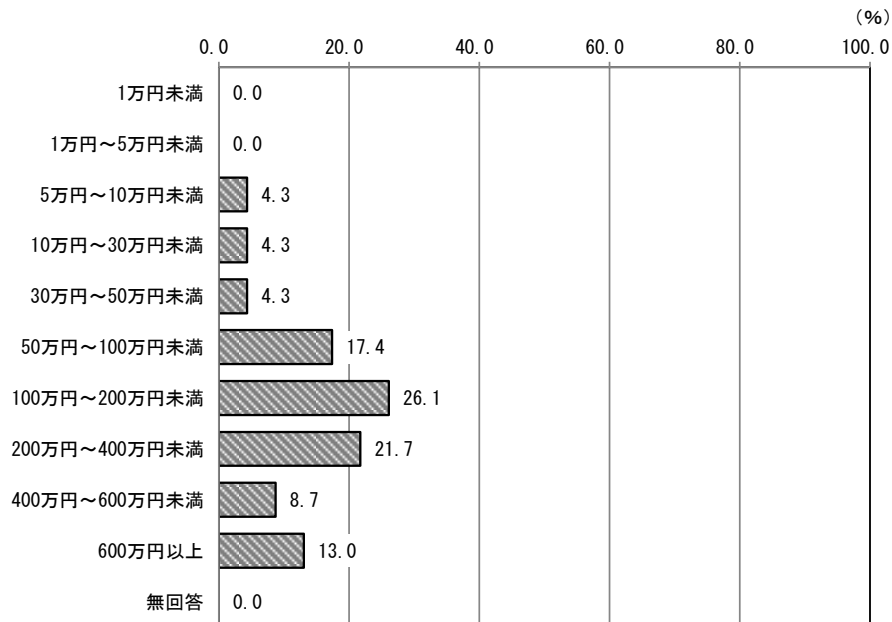


(2) 仕事や作業の年収

(1) あなたの仕事（作業）の年収はどれくらいですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

仕事や作業の年収は、「100万円～200万円未満」が26.1%と最も高く、次いで「200万円～400万円未満」が21.7%となっている。

図表Ⅱ-3-32 仕事や作業の年収〈SA〉（N=23）※非該当除く

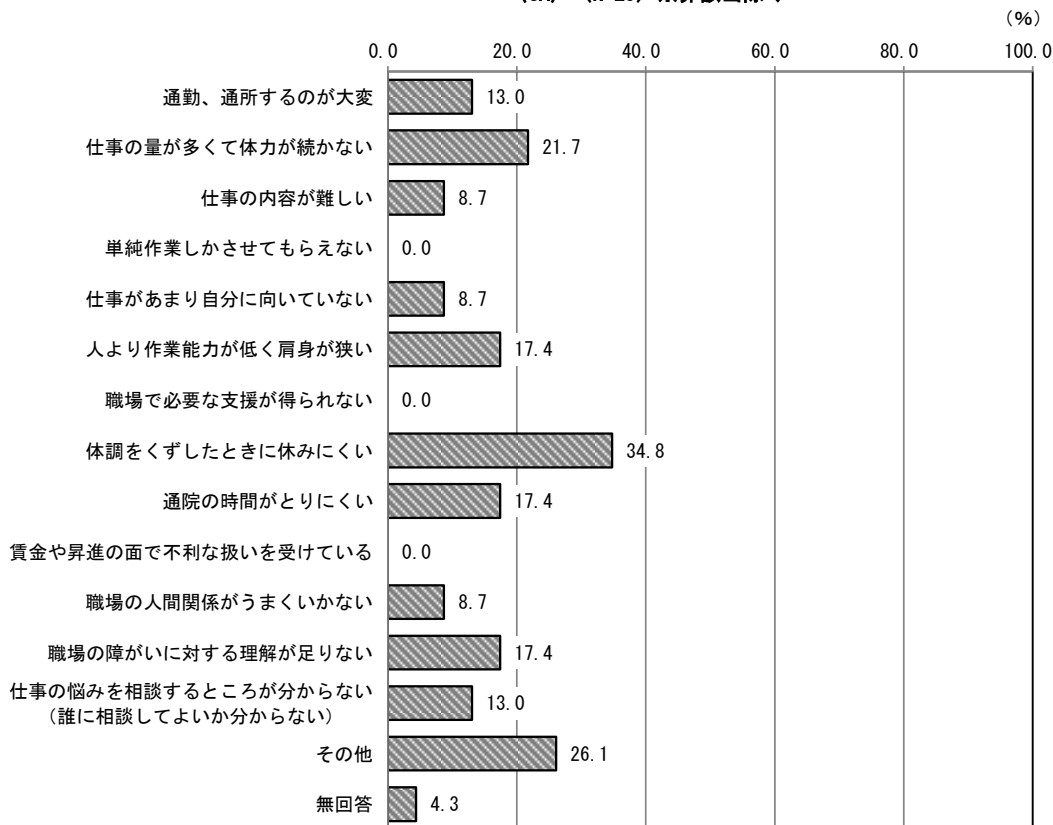


(3) 現在の仕事（作業）を続けていくうえで困っていること

(2) あなたが現在の仕事（作業）を続けていくうえで、困っていることはありますか。主なものを3つまで選んで○をつけてください。

現在の仕事（作業）を続けていくうえで困っていることは、「体調をくずしたときに休みにくい」が34.8%と最も高く、次いで「その他」が26.1%、「仕事の量が多くて体力が続かない」が21.7%となっている。

図表Ⅱ-3-33 現在の仕事（作業）を続けていくうえで困っていること
 〈SA〉 (N=23) ※非該当除く

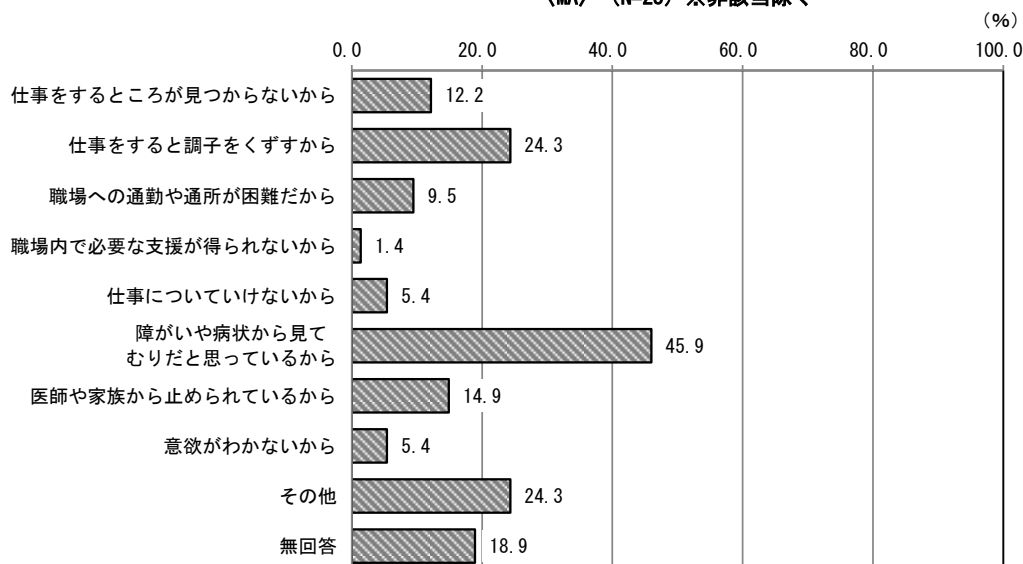


(4) 仕事をしていない理由

問 12 あなたが仕事をしていない理由について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

仕事をしていない理由は、「障がいや病状から見てむりだと思っているから」が45.9%と最も高く、次いで「仕事をすると調子をくずすから」が24.3%となっている。

図表Ⅱ-3-34 仕事をしていない理由
〈MA〉 (N=23) ※非該当除く

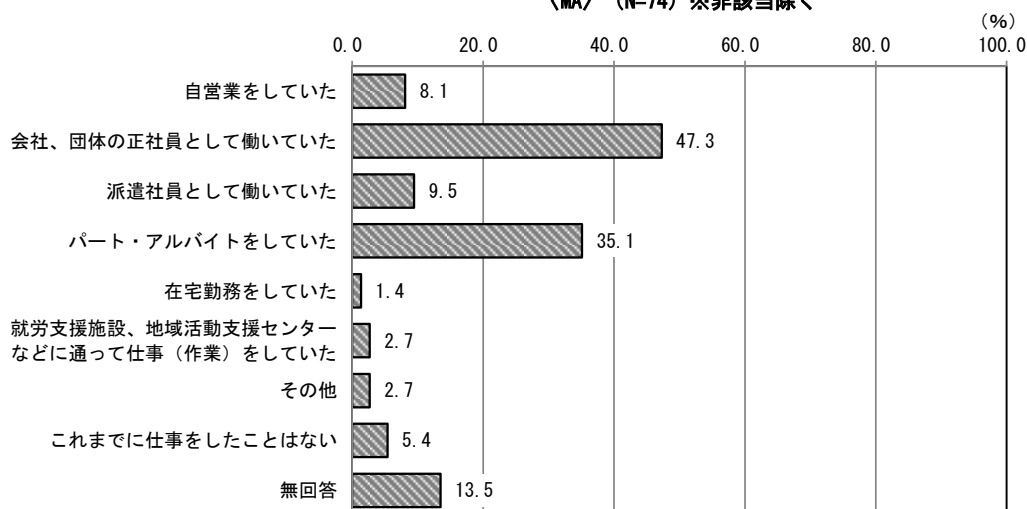


(5) これまで体験した就労形態

問 13 あなたはこれまでに、仕事をすることがあります。仕事をすることがある場合、どのような形でしたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

これまで体験した就労形態は、「会社、団体の正社員として働いていた」が47.3%と最も高く、次いで「パート・アルバイトをしていた」が35.1%となっている。

図表Ⅱ-3-35 これまで体験した就労形態
〈MA〉 (N=74) ※非該当除く

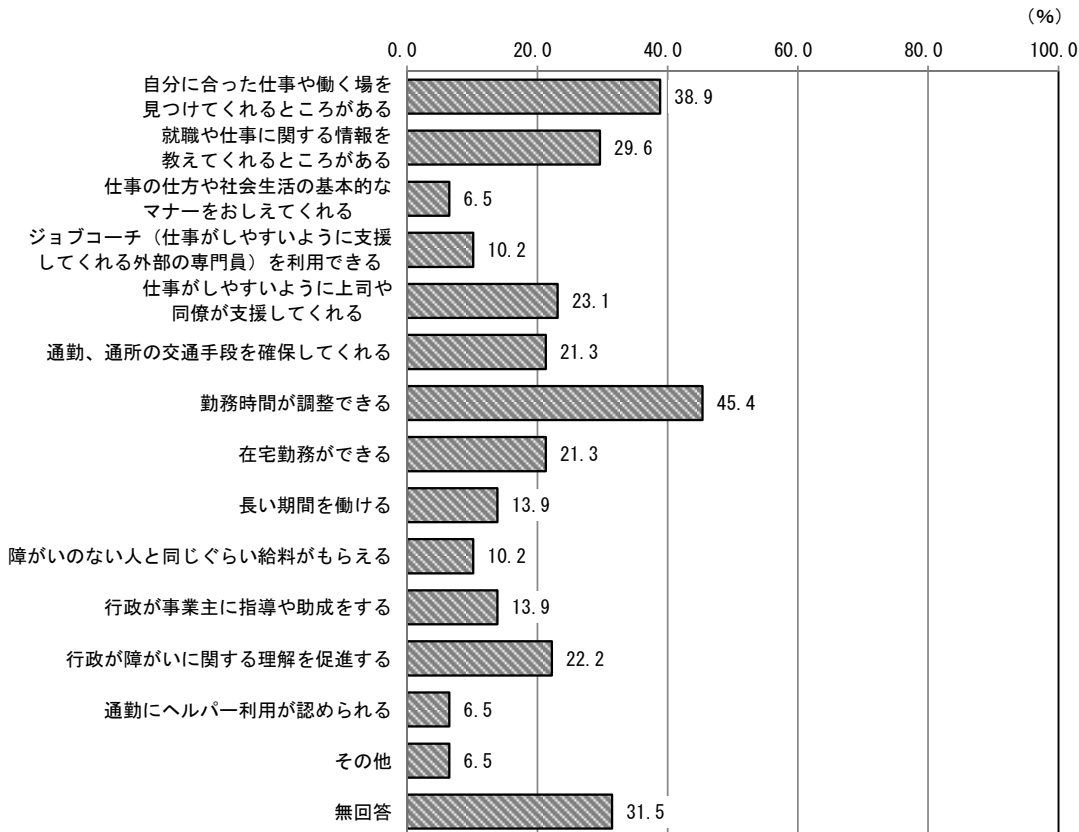


(6) 仕事を続ける（あるいは仕事を始める）上で必要なこと

問 14 あなたが仕事を続ける（あるいは仕事を始める）上で必要なことは何だと思えますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

仕事を続ける（あるいは仕事を始める）上で必要なことは、「勤務時間が調整できる」が45.4%と最も高く、次いで「自分に合った仕事や働く場を見つけてくれるところがある」が38.9%となっている。

図表Ⅱ-3-36 仕事を続ける（あるいは仕事を始める）上で必要なこと〈MA〉（N=108）



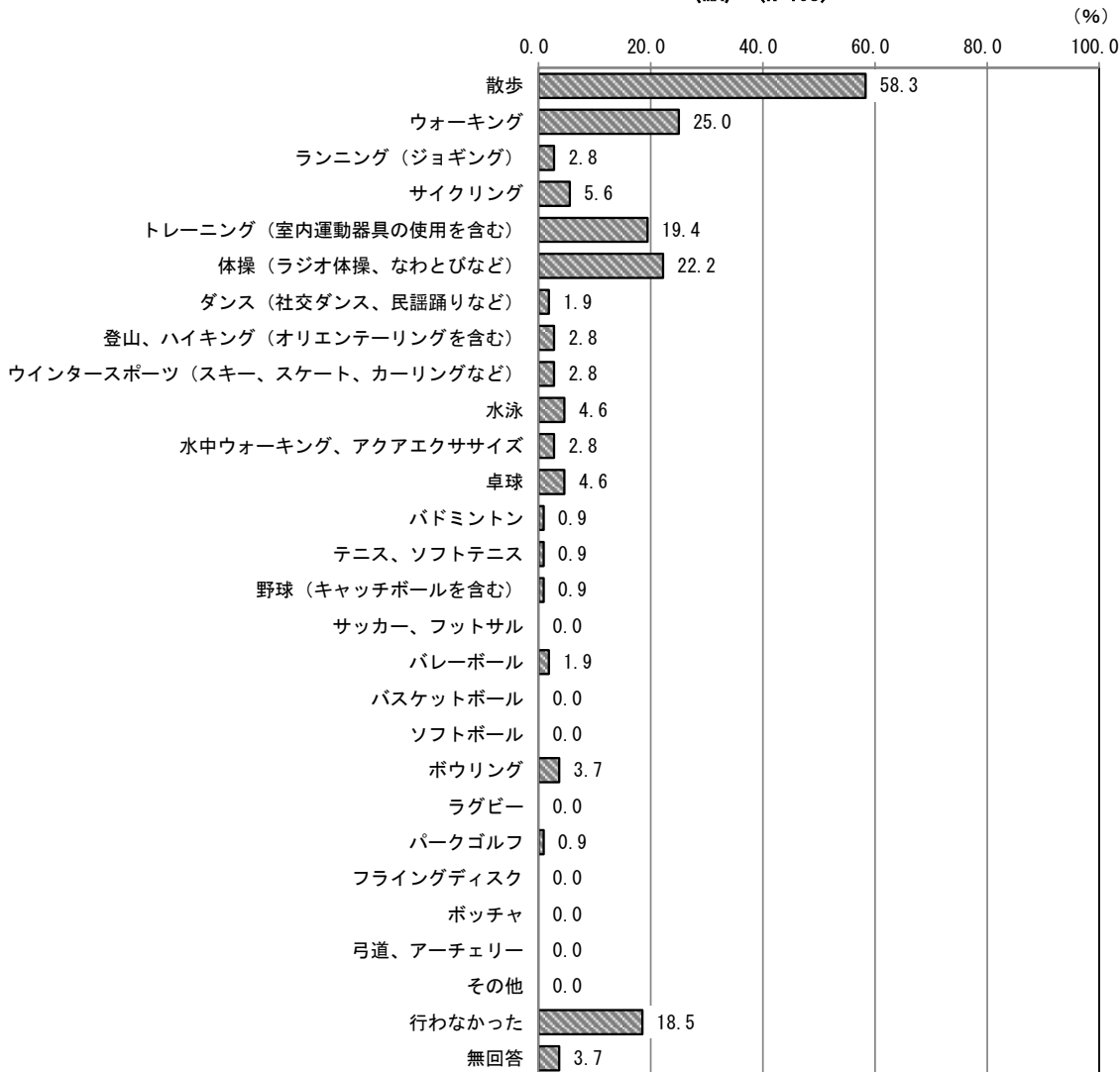
6 運動（スポーツ）について

(1) 過去1年間にやったことがある運動（スポーツ）

問 15 あなたは、過去1年間に、やったことがある運動（スポーツ）はどれですかあてはまるものすべてに○をつけてください。

過去1年間にやったことがある運動（スポーツ）は、「散歩」が58.3%と最も高く、次いで「ウォーキング」が25.0%となっている。

図表Ⅱ-3-37 過去1年間にやったことがある運動（スポーツ）
〈MA〉（N=108）

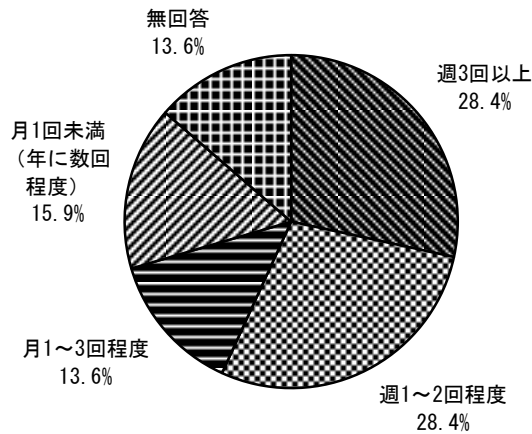


(2) 運動（スポーツ）の頻度

問 16 あなたは、過去1年間に、どれくらいの運動（スポーツ）をしましたか。

運動（スポーツ）の頻度は、「週3回以上」「週1～2回程度」がともに28.4%と最も高く、次いで「月に1回未満（年に数回）」が15.9%となっている。

図表Ⅱ-3-38 運動（スポーツ）の頻度〈SA〉
(N=88) ※非該当除く

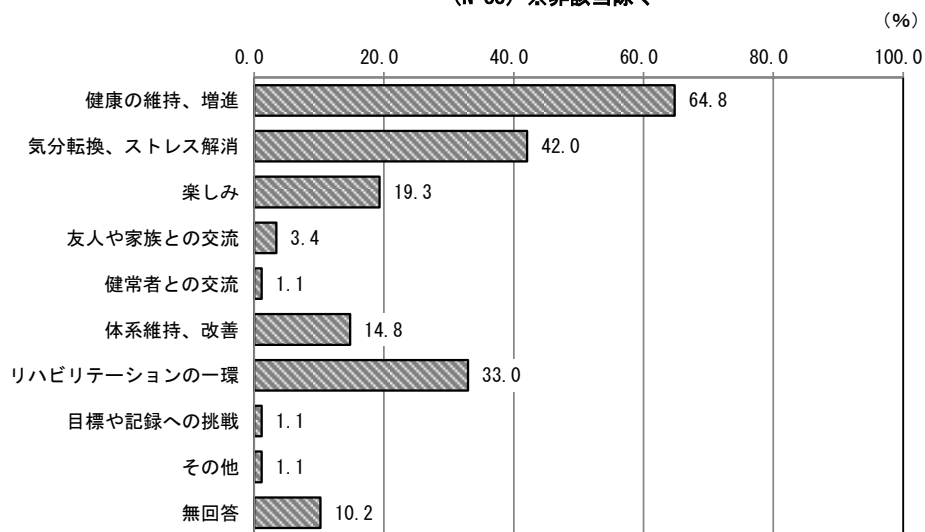


(3) 運動（スポーツ）を行う目的

問 17 あなたの運動（スポーツ）を行う目的はなんですか。あてはまるもの3つまでに○をつけてください。

運動（スポーツ）を行う目的は、「健康の維持、増進」が64.8%と最も高く、次いで「気分転換、ストレス解消」が42.0%となっている。

図表Ⅱ-3-39 運動（スポーツ）を行う目的〈MA〉
(N=88) ※非該当除く



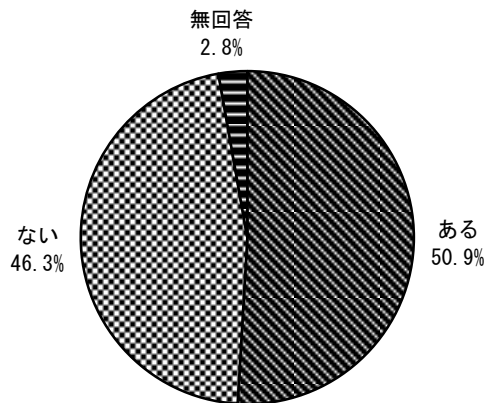
7 生活の場所について

(1) 民間のアパート、公営住宅などで生活した経験

問 18 これまでに「民間のアパート」や「公営住宅（道営・市営）」、公団の住宅で生活したことがありますか。

民間のアパート、公営住宅などで生活した経験は、「ある」が 50.9%、「ない」が 46.3%となっている。

図表Ⅱ-3-40 民間のアパート、公営住宅などで生活した経験
〈SA〉 (N=108)

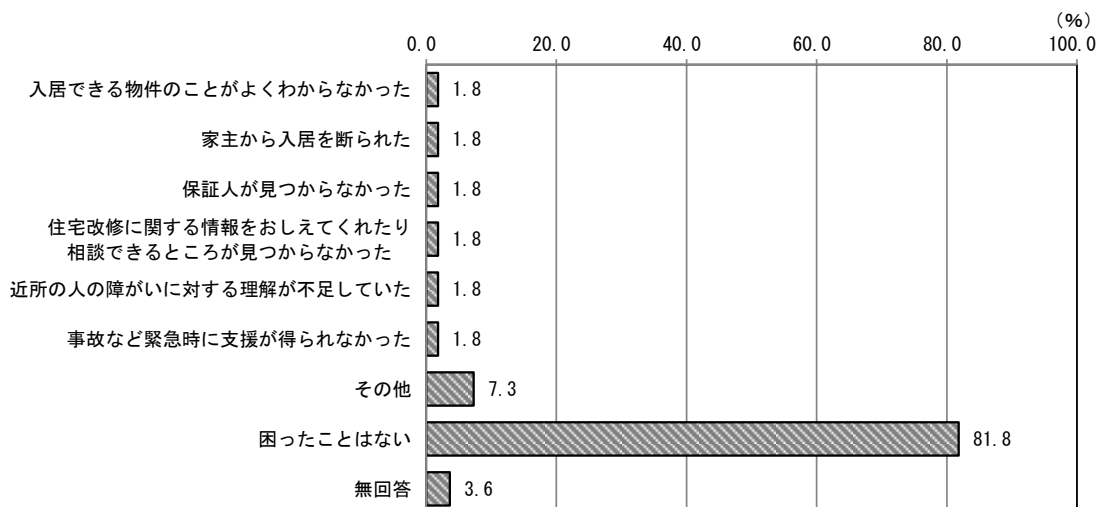


(2) 民間のアパート、公営住宅などの入居時、入居後に困ったこと

問 18-1 入居するまでに、または入居後に困ったことはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

民間のアパート、公営住宅などの入居時、入居後に困ったことは、「困ったことはない」が 81.8%と最も高く、次いで「その他」が 7.3%となっている。

図表Ⅱ-3-41 民間のアパート、公営住宅などの入居時、
入居後に困ったこと〈MA〉 (N=55) ※非該当除く

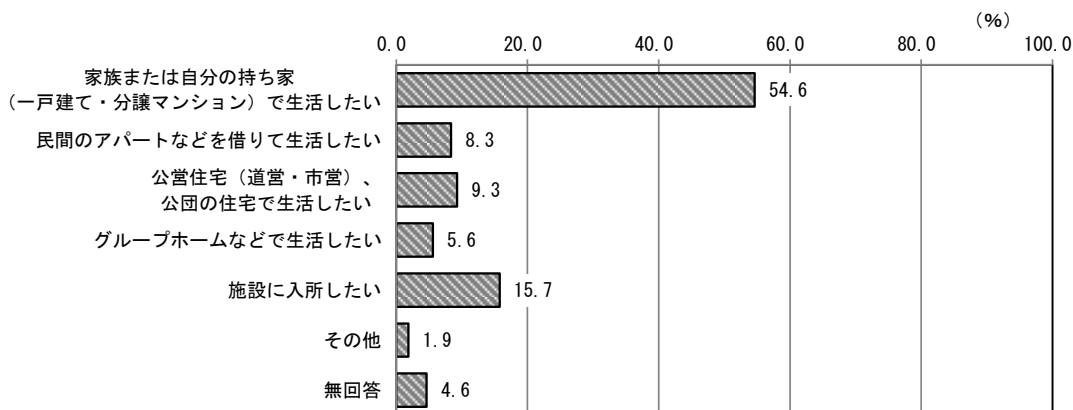


(3) 生活したい場所

問 18-2 あなたは今後、どのような場所で生活したいですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

生活したい場所は、「家族または自分の持ち家(一戸建て・分譲マンション)で生活したい」が54.6%と最も高く、次いで「施設に入所したい」が15.7%となっている。

図表 II-3-42 生活したい場所〈SA〉 (N=108)



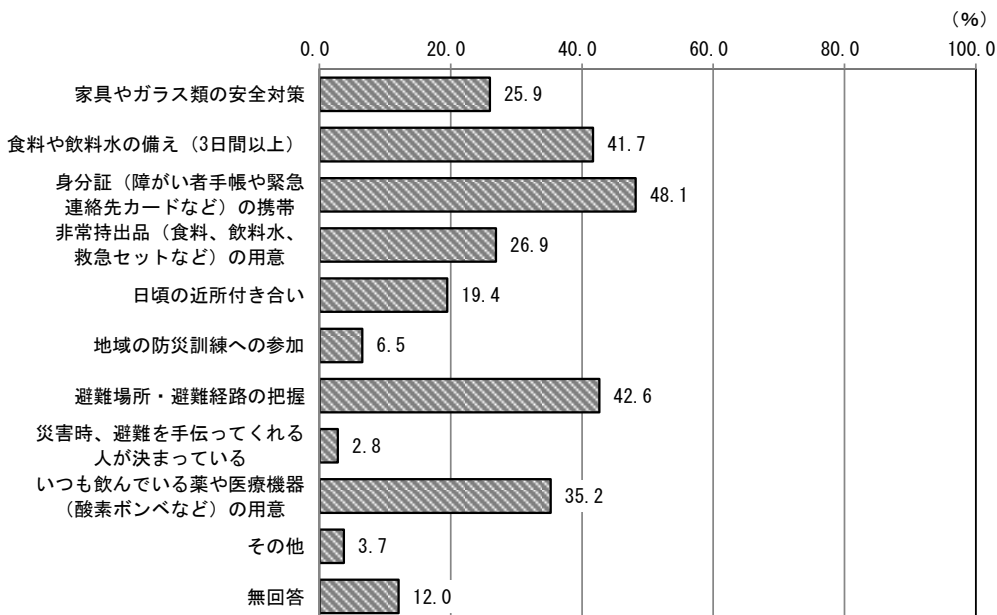
8 防災について

(1) 災害への備え

問 19 あなたは、地震などの災害への備えとして、普段どのようなことをしていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

災害への備えは、「身分証(障がい者手帳や緊急連絡先カードなど)の携帯」が48.1%と最も高く、次いで「避難場所・避難経路の把握」が42.6%となっている。

図表 II-3-43 防災への備え〈MA〉 (N=108)

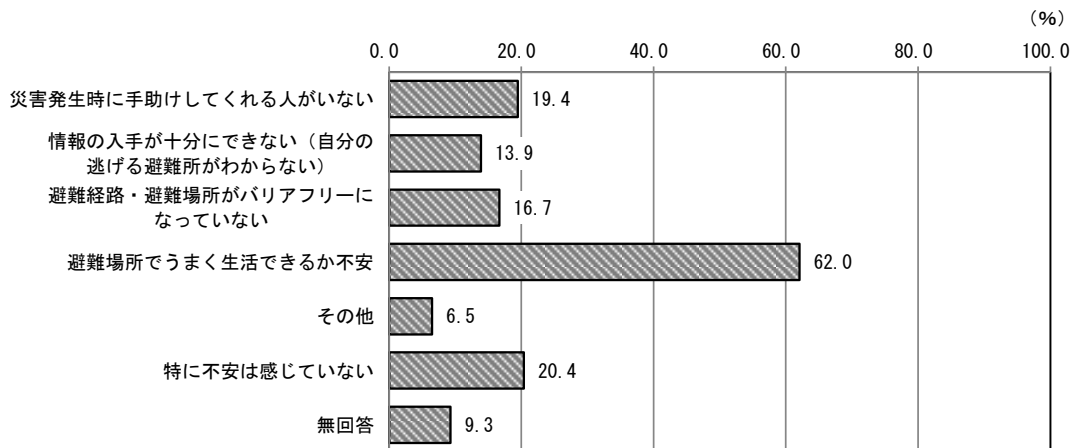


(2) 防災に関する不安

問 20 あなたは、防災に関して不安に感じていることはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

防災に関する不安は、「避難場所でうまく生活できるか不安」が62.0%と最も高く、次いで「特に不安は感じていない」が20.4%となっている。

図表Ⅱ-3-44 防災に関する不安〈MA〉(N=108)

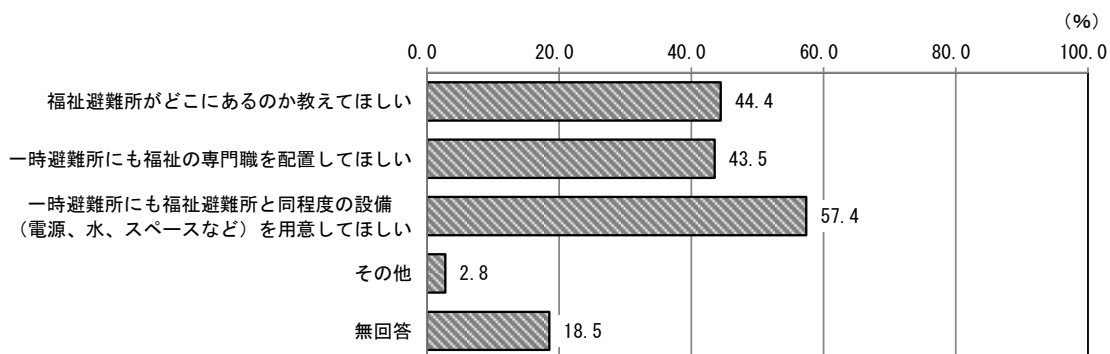


(3) 避難場所に関する不安

問 21 避難所についてお聞きします。あてはまるものすべてに○をつけてください。

避難所に関する不安は、「一時避難所にも福祉避難所と同程度の設備(電源、水、スペースなど)を用意してほしい」が57.4%と最も高く、次いで「福祉避難所がどこにあるのか教えてほしい」が44.4%となっている。

図表Ⅱ-3-45 避難所に関する不安〈MA〉(N=108)



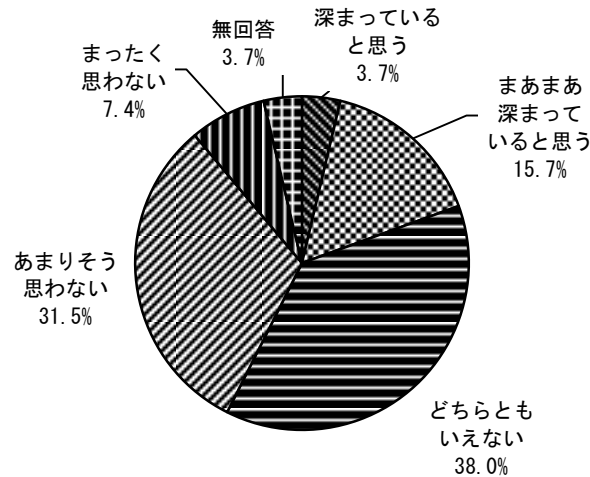
9 制度や政策等について

(1) 障がいのある人に対する市民の理解度

問 22 あなたは、障がいのある人に対する市民の理解が深まってきていると思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

障がいのある人に対する市民の理解度は、「どちらともいえない」が38.0%と最も高く、次いで「あまりそう思わない」が31.5%となっている。

図表Ⅱ-3-46 障がいのある人に対する市民の理解度
〈SA〉 (N=108)

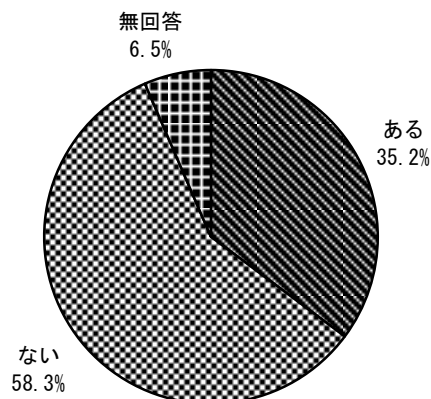


(2) 障がいがあるために受けた差別やいやな思いの有無

問 23 あなたはこれまでに、障がいがあるために差別をうけたり、いやな思いをしたことがありますか。

障がいがあるために受けた差別やいやな思いの有無は、「ない」が58.3%と高く、「ある」が35.2%となっている。

図表Ⅱ-3-47 障がいがあるために受けた差別やいやな思いの有無
〈SA〉 (N=108)

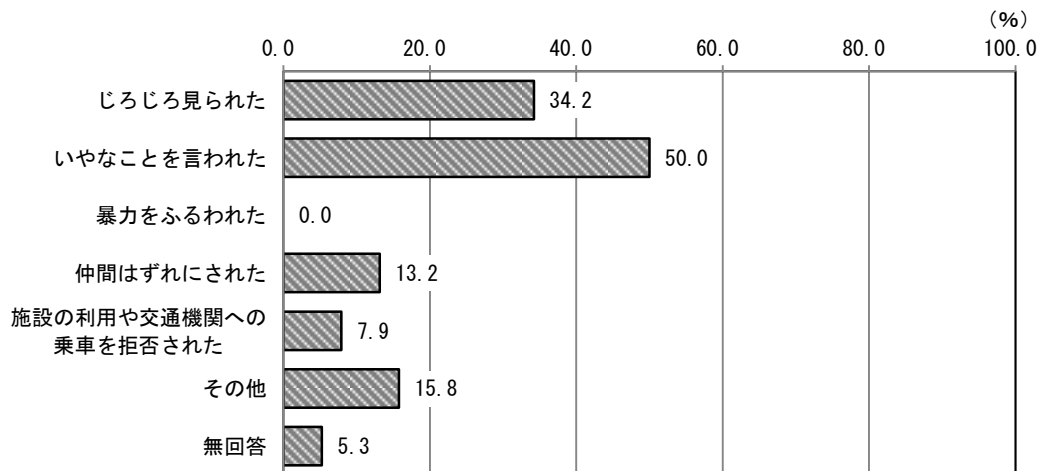


(3) 障がいがあるために受けた差別やいやな思い

問 23-1 それはどのようなことですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

障がいがあるために受けた差別やいやな思いは、「いやなことを言われた」が 50.0%と最も高く、次いで「じろじろ見られた」が 34.2%となっている。

図表Ⅱ-3-48 障がいがあるために受けた差別やいやな思い
〈MA〉 (N=38) ※非該当除く

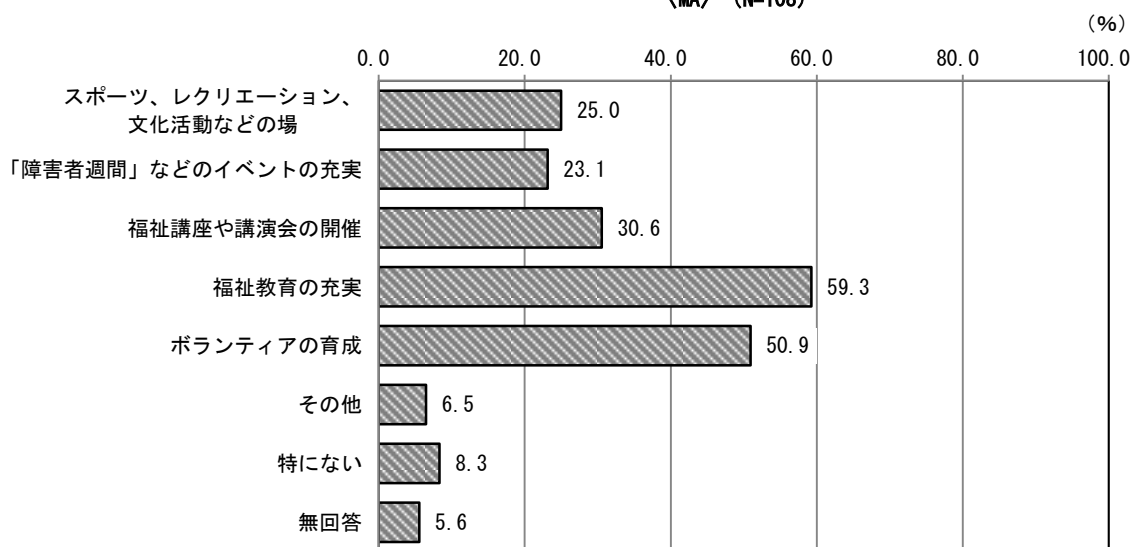


(4) 障がい者への理解が深まるために必要なこと

問 24 あなたは、障がいのある人への理解が深まるためには、今後どのようなことが必要だと思いますか。主なものを3つまで選んで○をつけてください。

障がい者への理解が深まるために必要なことは、「福祉教育の充実」が 59.3%と最も高く、次いで「ボランティアの育成」が 50.9%となっている。

図表Ⅱ-3-49 障がい者への理解が深まるために必要なこと
〈MA〉 (N=108)

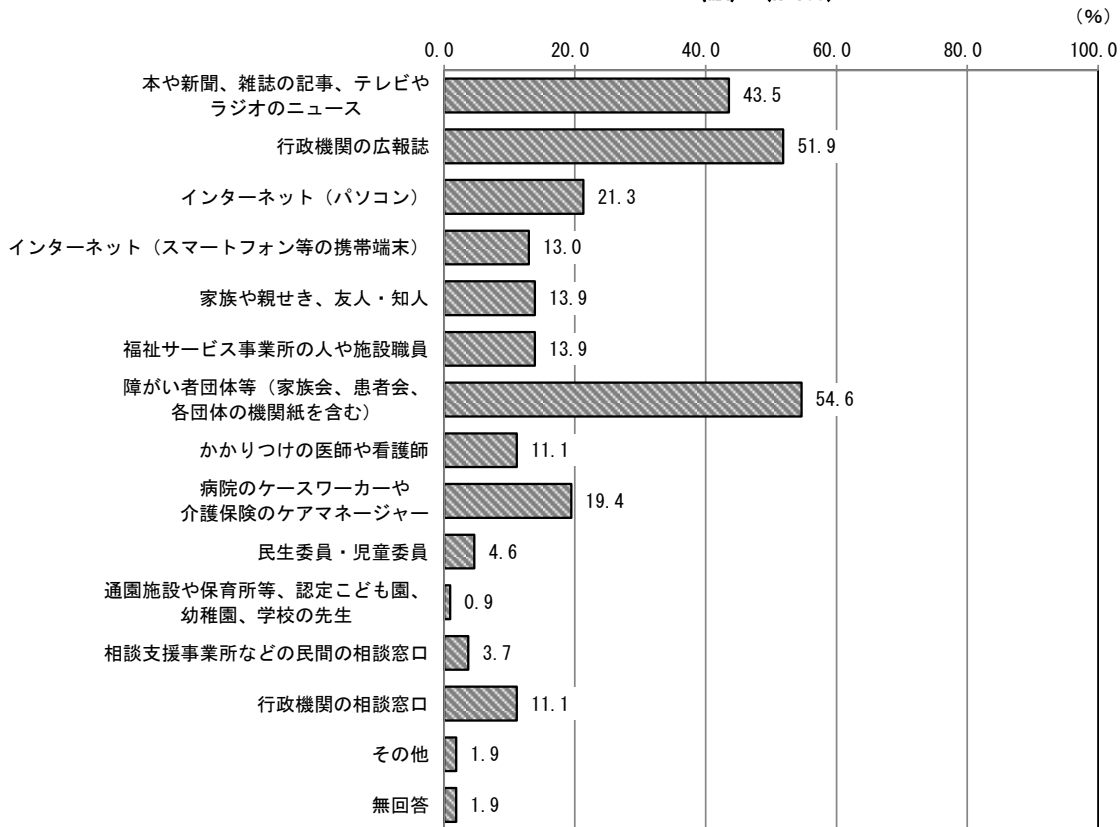


(5) 障がいまたは障がい福祉サービス情報の入手方法

問 25 あなたは、障がいまたは障がい福祉サービスの情報をどのように入手していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

障がいまたは障がい福祉サービス情報の入手方法は、「障がい者団体等（家族会、患者会、各団体の機関紙を含む）」が 54.6%と最も高く、次いで「行政機関の広報誌」が 51.9%となっている。

図表Ⅱ-3-50 障がいまたは障がい福祉サービス情報の入手方法
〈MA〉 (N=108)

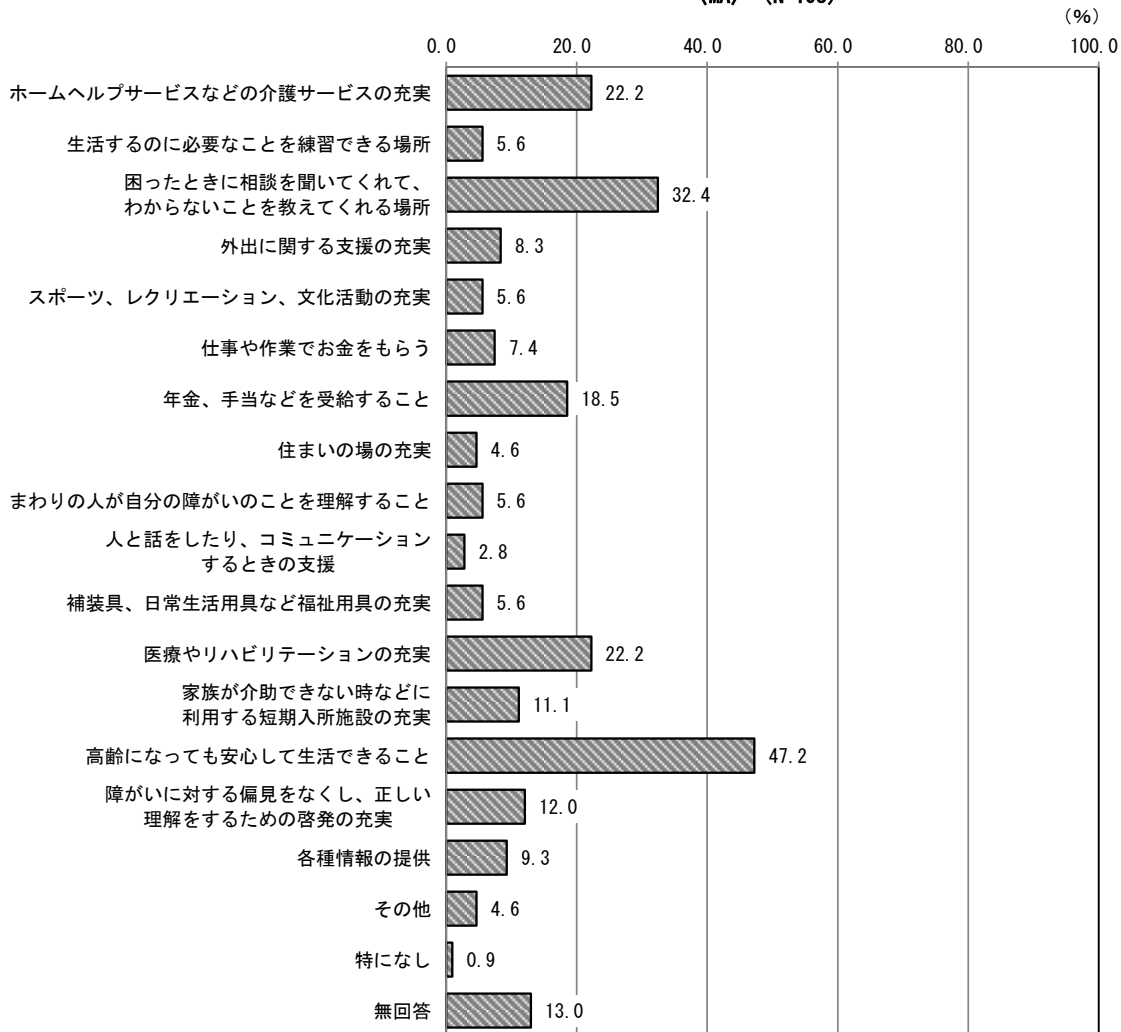


(6) 希望する生活をするためにあればよいこと

問 26 あなたが今後、希望する生活をするためには、どのようなことがあればよいと思いますか。あてはまるものを3つまでえらんで○をつけてください。

希望する生活をするためにあればよいことは、「高齢になっても安心して生活できること」が47.2%と最も高く、次いで「困ったときに相談を聞いてくれて、わからないことを教えてくれる場所」が32.4%となっている。

図表Ⅱ-3-51 希望する生活をするためにあればよいこと
〈MA〉 (N=108)



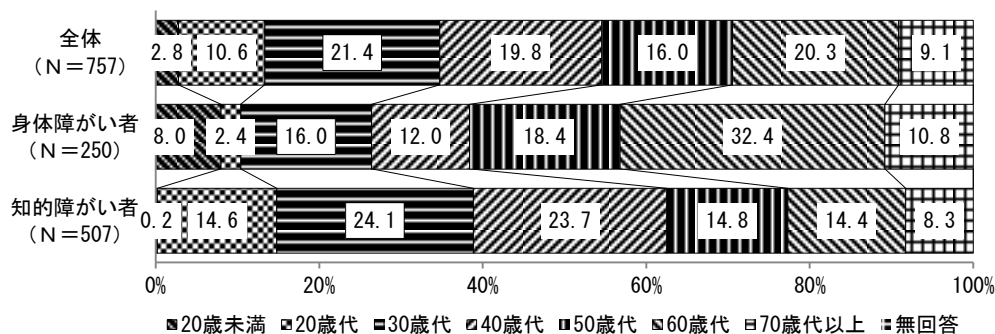
Ⅱ—4 施設入所者調査（身体障がい者・知的障がい者）

1 年齢

A 平成 28 年 11 月 1 日現在の満年齢を記入してください。

年齢は、全体では「30 歳代」が 21.4%と最も高くなっている。障がい別にみると、「身体障がい者」では「60 歳代」が 32.4%、「知的障がい者」では「30 歳代」が 24.1%となっている。

図表Ⅱ-4-1 年齢〈SA〉

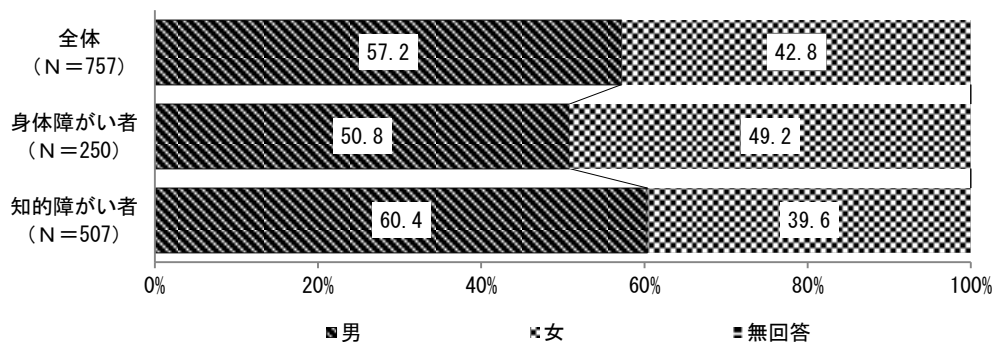


2 性別

B 性別を次の区分により記入してください。

性別は、年齢は、全体では「男」が 57.2%と高くなっている。障がい別にみると、いずれの障がいにおいても「男性」の割合が高く、「身体障がい者」では 50.8%、「知的障がい者」では 60.4%となっている。

図表Ⅱ-4-2 性別〈SA〉

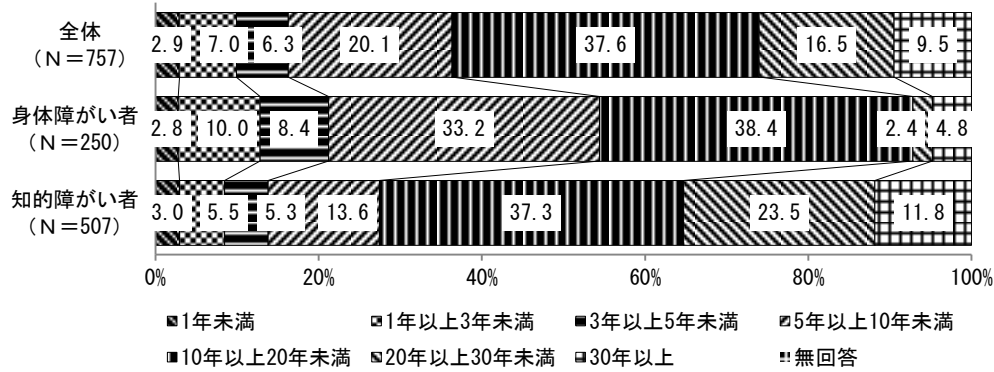


3 入所期間

C 入所期間を次の区分により記入してください。

入所期間は、全体では「10年以上20年未満」が37.6%と最も高くなっている。障がい別にみると、いずれの障がいにおいても「10年以上20年未満」の割合が最も高く、「身体障がい者」では38.4%、「知的障がい者」では37.3%となっている。

図表Ⅱ-4-3 入所期間〈SA〉

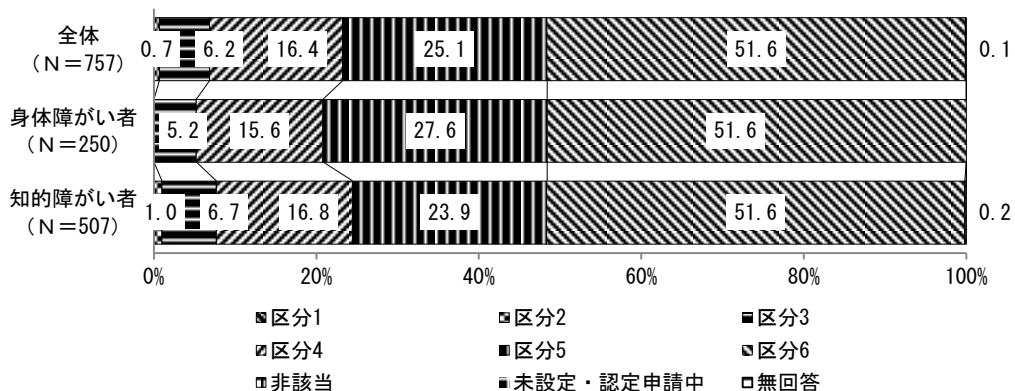


4 障害者総合支援法による障害程度区分について

F 障害者総合支援法による障害程度区分の認定状況を記入してください。

障害者総合支援法による障害程度区分は、全体では「区分6」が51.6%と最も高くなっている。障がい別にみると、いずれの障がいにおいても「区分6」の割合が最も高く、「身体障がい者」「知的障がい者」とともに51.6%となっている。

図表Ⅱ-4-4 障害者総合支援法による障害程度区分〈SA〉



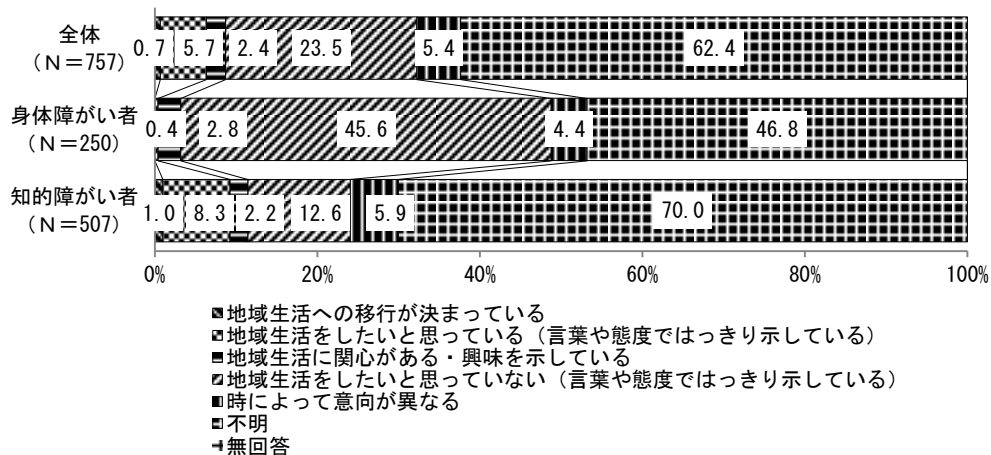
5 地域生活への移行について

(1) 本人の意向

G 地域生活への移行について次の区分により記入してください。

地域生活への移行（本人の意向）は、全体では「不明」が62.4%と最も高くなっている。障がい別にみると、「身体障がい者」では「地域生活をしたいと思っていない（言葉や態度ではっきり示している）」が45.6%、「知的障がい者」では「不明」が70.0%となっている。

図表Ⅱ-4-5 地域生活への移行（本人の意向）〈SA〉

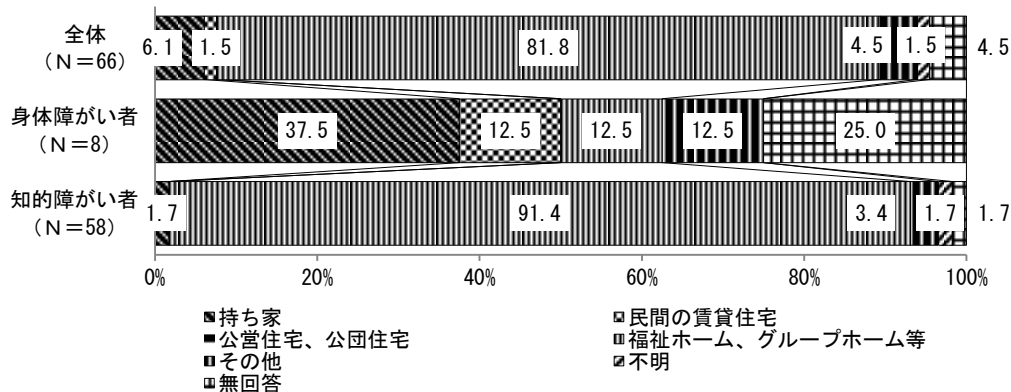


(2) 希望する居住形態

H 希望する居住形態について次の区分により記入してください。

希望する居住形態は、「福祉ホーム、グループホーム等」が81.8%と最も高くなっている。障がい別にみると、「身体障がい者」では「持ち家」が37.5%、「知的障がい者」では「福祉ホーム、グループホーム等」が91.4%となっている。

図表Ⅱ-4-6 希望する居住形態〈SA〉※非該当除く

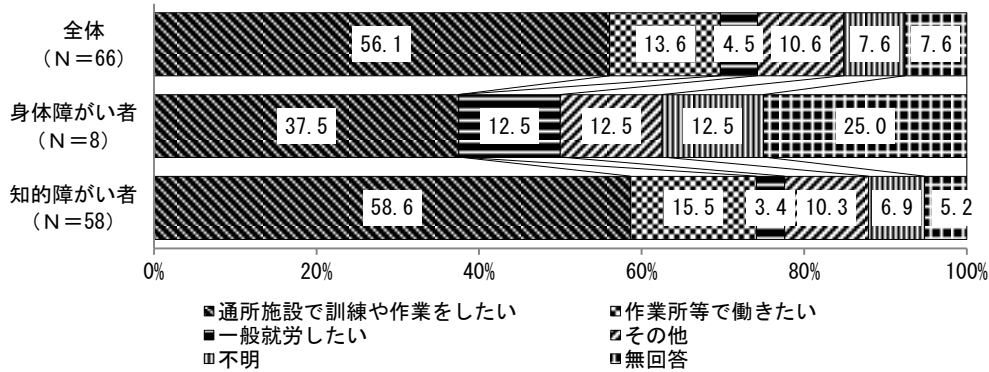


(3) 希望する日中活動

I 希望する日中活動について次の区分により記入してください。

希望する日中活動は、全体では「通所施設で訓練や作業をしたい」が56.1%と最も高くなっている。障がい別にみると、いずれの障がいにおいても「通所施設で訓練や作業をしたい」の割合が最も高く、「身体障がい者」では37.5%、「知的障がい者」では58.6%となっている。

図表Ⅱ-4-7 希望する日中活動〈SA〉※非該当除く



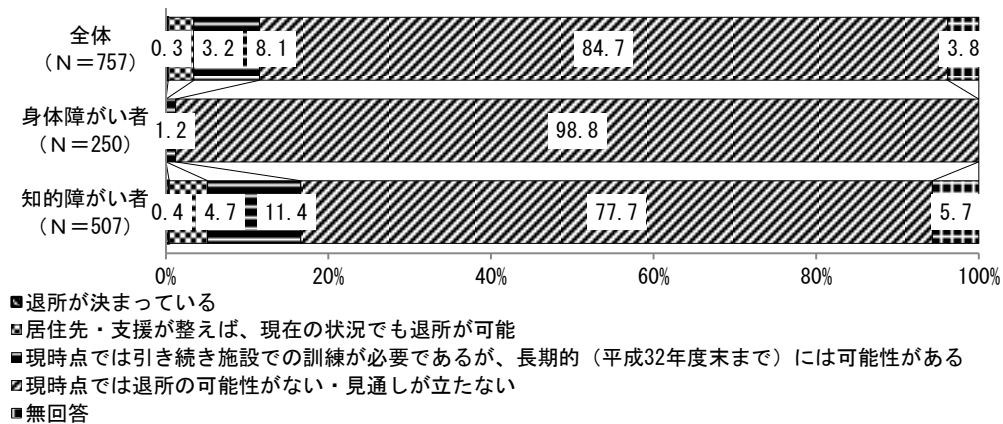
6 退所の可能性について

(1) 退所の可能性

J 退所の可能性について次の区分により記入してください。

退所の可能性は、全体では「現時点では退所の可能性がない・見通しが立たない」が84.7%と最も高くなっている。障がい別にみると、いずれの障がいにおいても「現時点では退所の可能性がない・見通しが立たない」の割合が最も高く、「身体障がい者」では98.8%、「知的障がい者」では77.7%となっている。

図表Ⅱ-4-8 退所の可能性〈SA〉



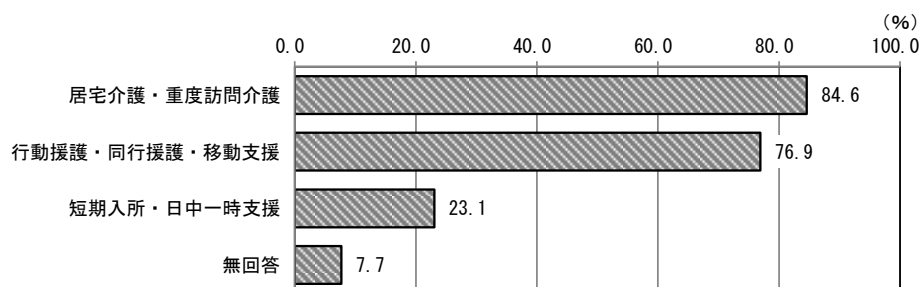
(2) 退所後に必要な訪問系サービス

K 退所後に必要と思われる訪問系サービスについて次の区分により記入してください。

※「身体障がい者」に対象となる回答者が存在しないため、「知的障がい者」のグラフを掲載する。

退所後に必要となる訪問系サービスは、「居宅介護・重度訪問介護」が84.6%と最も高く、次いで「行動援護・同行援護・移動支援」が76.9%となっている。

図表Ⅱ-4-9 退所後に必要な訪問系サービス (MA)
(N=26) ※非該当除く



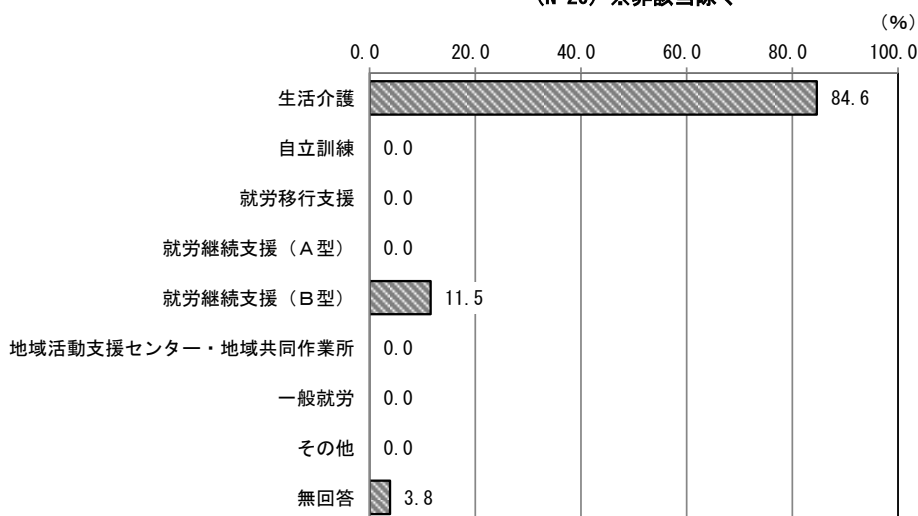
(3) 退所後にふさわしい日中活動

L 退所後にふさわしいと思われる日中活動について次の区分により記入してください。

※「身体障がい者」に対象となる回答者が存在しないため、「知的障がい者」のグラフを掲載する。

退所後にふさわしい日中活動は、「生活介護」が84.6%と最も高く、次いで「就労継続支援 (B型)」が11.5%となっている。

図表Ⅱ-4-10 退所後にふさわしい日中活動 (SA)
(N=26) ※非該当除く

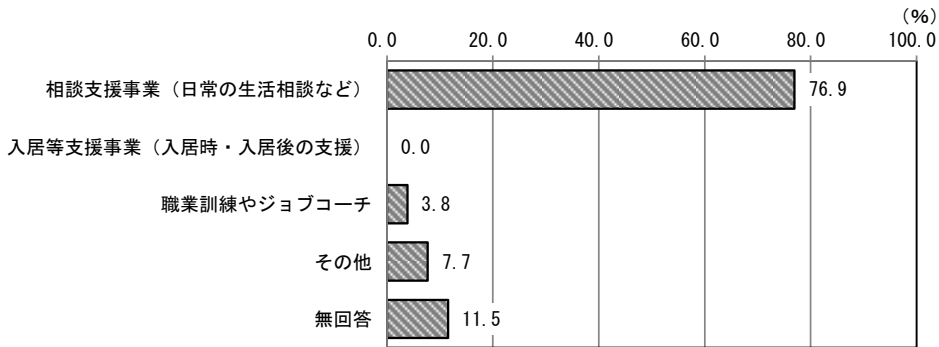


(4) 退所後に必要なその他サービス

M 退所後に必要となるその他のサービスについて次の区分により記入してください。(複数回答可)

※「身体障がい者」に対象となる回答者が存在しないため、「知的障がい者」のグラフを掲載する。
退所後に必要となるその他のサービスは、「相談支援事業(日常の生活相談など)」が76.9%と最も高く、「その他」が7.7%となっている。

図表Ⅱ-4-11 退所後に必要なその他サービス〈SA〉
(N=26) ※非該当除く

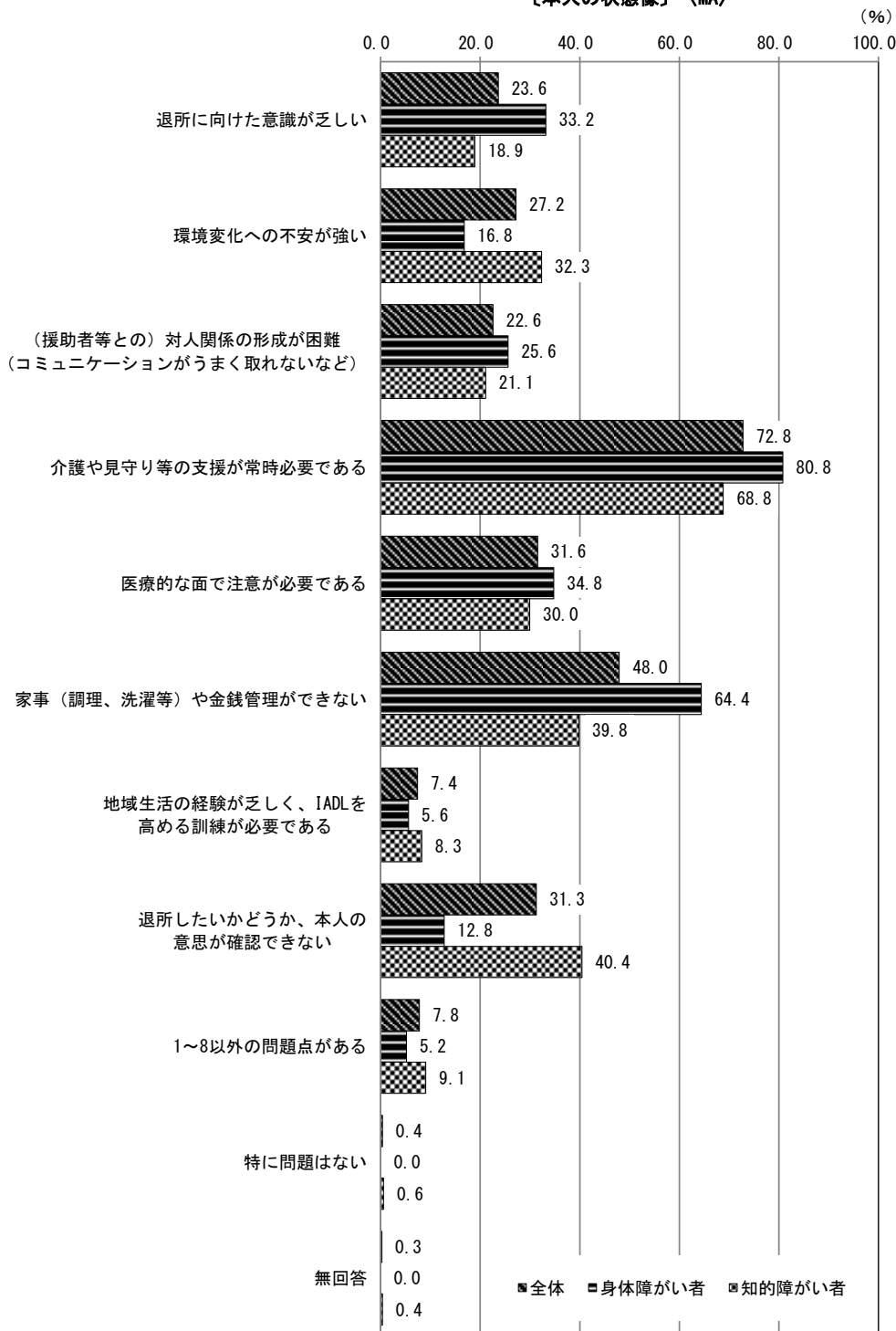


(5) 退所に向けての問題点（不安な点）〔本人の状態像〕

N 退所に向けての問題点（不安な点）について次の区分により記入してください。（複数回答可）

退所に向けての問題点（不安な点）〔本人の状態像〕は、全体では「介護や見守り等の支援が常時必要である」が72.8%と最も高くなっている。障がい別にみると、いずれの障がいにおいても「介護や見守り等の支援が常時必要である」の割合が最も高く、「身体障がい者」が80.8%、「知的障がい者」が68.8%となっている。

図表Ⅱ-4-12 退所に向けての問題点（不安な点）
〔本人の状態像〕〈MA〉

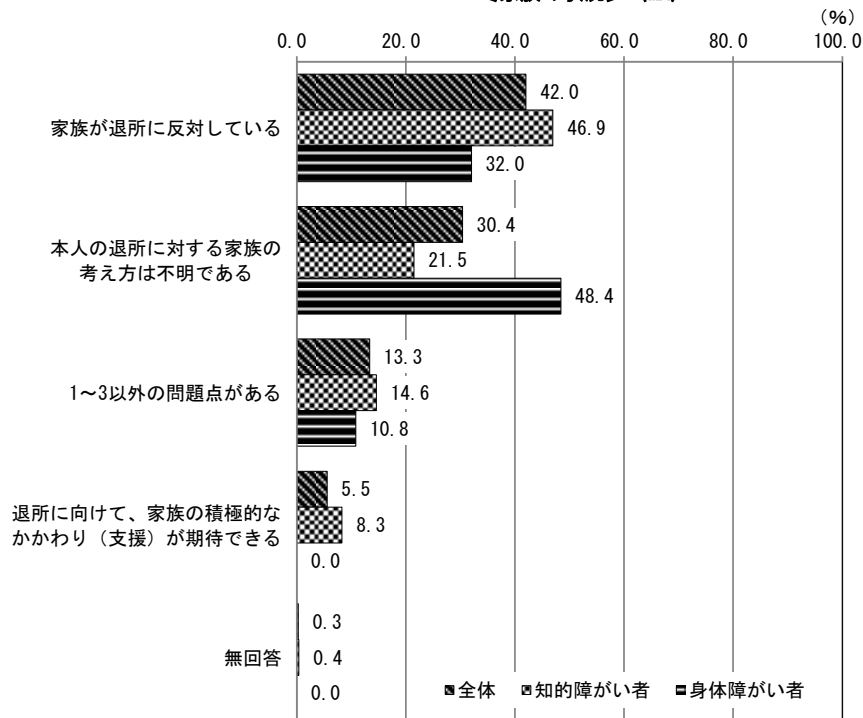


(6) 退所に向けての問題点（不安な点）〔家族の状況〕

N 退所に向けての問題点（不安な点）について次の区分により記入してください。（複数回答可）

退所に向けての問題点（不安な点）〔家族の状況〕は、全体では「家族が退所に反対している」が48.4%と最も高くなっている。障がい別にみると、「身体障がい者」では「家族が退所に反対している」が46.9%、「知的障がい者」では「本人の退所に対する家族の考え方は不明である」が48.4%となっている。

図表Ⅱ-4-13 退所に向けての問題点（不安な点）
〔家族の状況〕〈MA〉

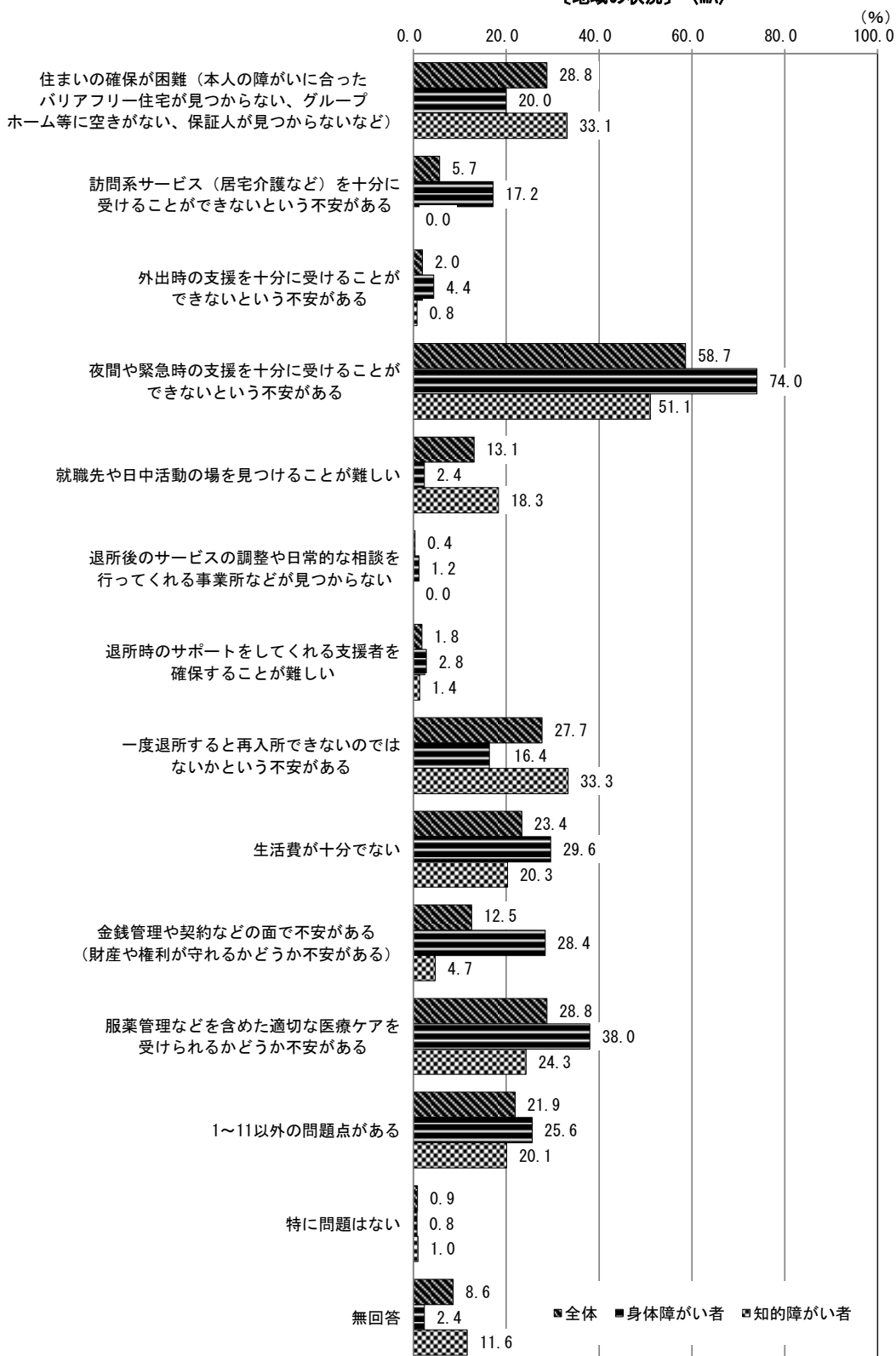


(7) 退所に向けての問題点（不安な点）〔地域の状況〕

N 退所に向けての問題点（不安な点）について次の区分により記入してください。（複数回答可）

退所に向けての問題点（不安な点）〔地域の状況〕は、全体では「夜間や緊急時の支援を十分に受けることができないという不安がある」が 58.7%と最も高くなっている。障がい別にみると、いずれの障がいにおいても「夜間や緊急時の支援を十分に受けることができないという不安がある」の割合が最も高く、「身体障がい者」が 74.0%、「知的障がい者」が 51.1%となっている。

図表Ⅱ-4-14 退所に向けての問題点（不安な点）
〔地域の状況〕〈MA〉



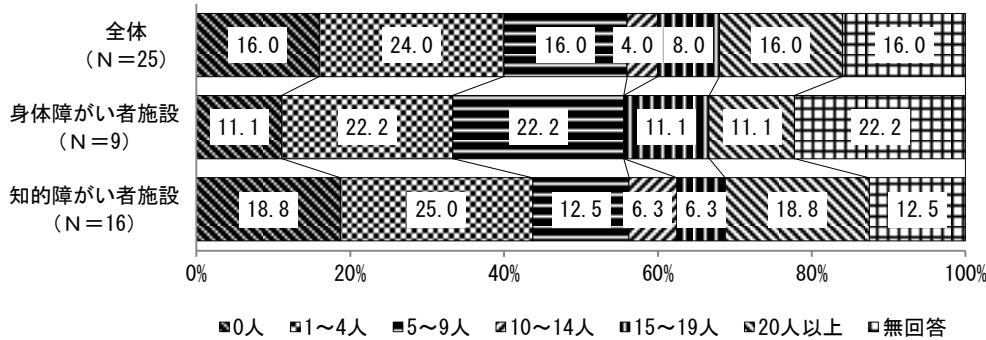
7 施設の実施など

(1) 市外入居者数

○ 市外からの入所者（援護の実施期間が札幌市以外の人）のうち、退所後も札幌市で生活することを希望している人は何人いますか。（市外からの入所者数と併せてお答えください。）

札幌市外からの入所者数は、全体では「1～4人」が24.0%と最も高くなっている。障がい別にみると、「身体障がい者」では「1～4人」「4～9人」がともに22.2%、「知的障がい者」では「1～4人」が25.0%となっている。

図表Ⅱ-4-15 市外入所者数〈SA〉

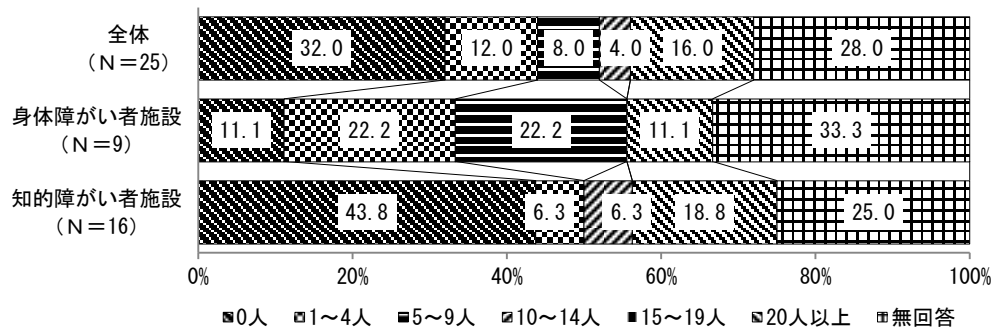


(2) 退所後も札幌市での生活を希望している人の数

○ 市外からの入所者（援護の実施期間が札幌市以外の人）のうち、退所後も札幌市で生活することを希望している人は何人いますか。（市外からの入所者数と併せてお答えください。）

退所後も札幌市での生活を希望している人の数は、全体では「0人」が32.0%と最も高くなっている。障がい別にみると、「身体障がい者」では「1～4人」「5～9人」がそれぞれ22.2%、「知的障がい者」では「0人」が43.8%となっている。

図表Ⅱ-4-16 退所後も札幌市での生活を希望している人の数〈SA〉

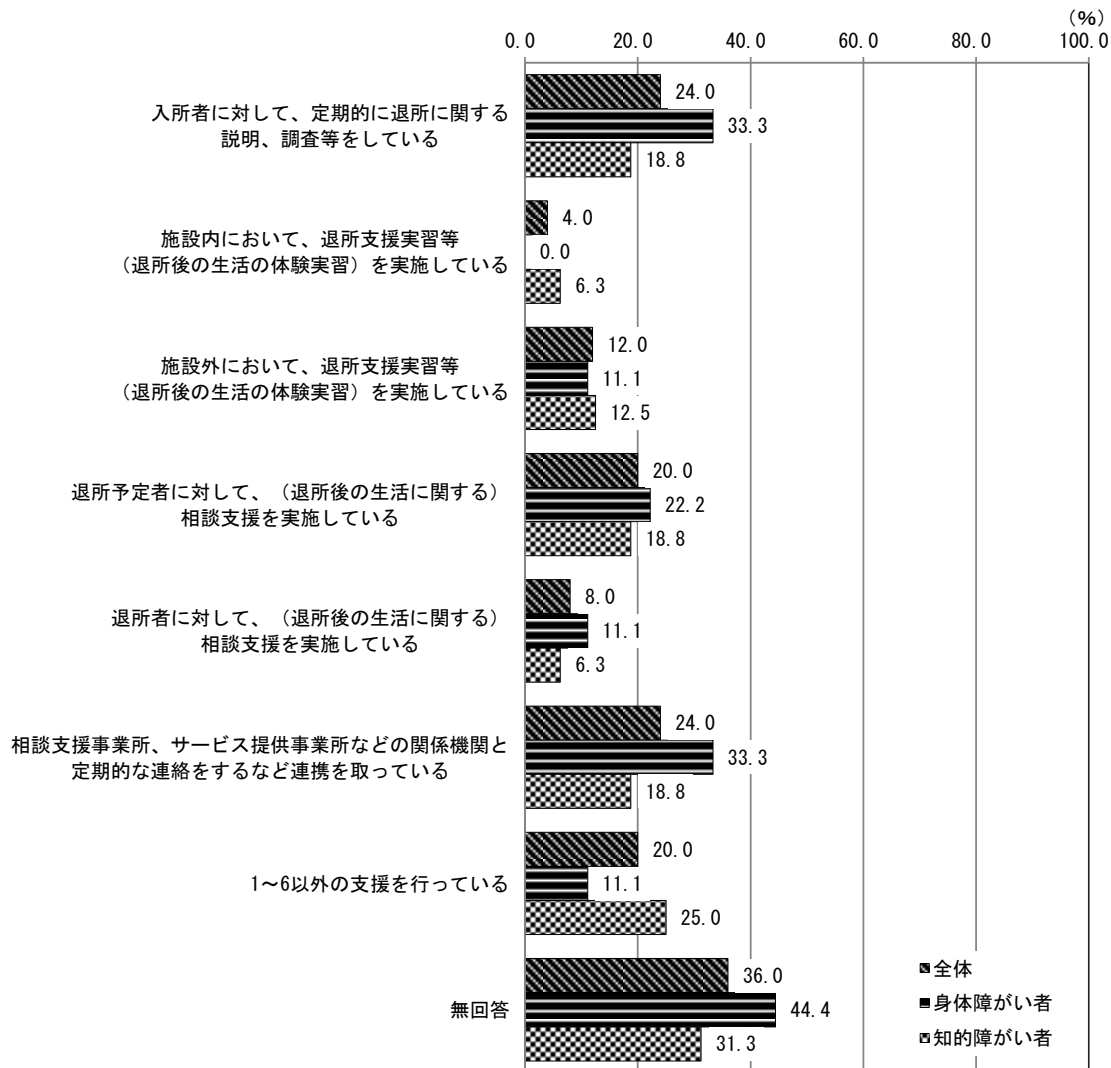


(3) 退所に向けての支援

P 入所者の支援に向けて行っている支援について次の区分で記入してください。(複数回答可)

退所に向けての支援は、全体では「入所者に対して、定期的に退所に関する説明、調査等をしている」「相談支援事業所、サービス提供事業所などの関係機関と定期的な連絡をするなど連携を取っている」がそれぞれ24.0%と最も高くなっている。障がい別では、「退所予定者に対して（退所後の生活に関する）相談支援を実施している」が22.2%となっている。

図表Ⅱ-4-17 退所に向けての支援〈SA〉

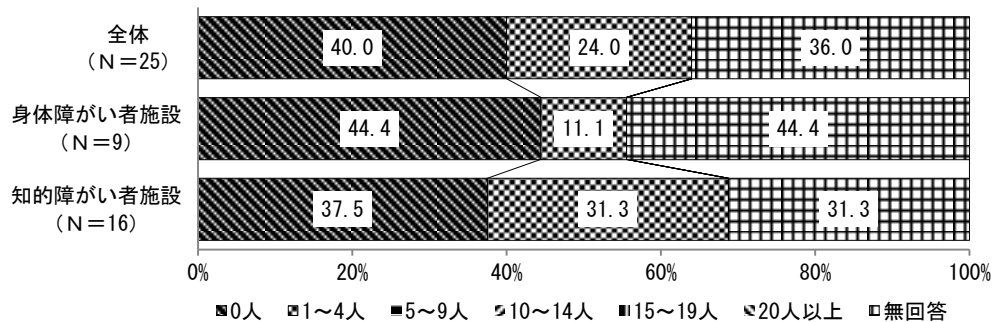


(4) 退所目標数

Q 今後、毎年1年間の退所者の目標数を記入してください。

退所目標数は、全体では「0人」が40.0%と最も高くなっている。いずれの障がいにおいても「0人」の割合が最も高く、「身体障がい者」では44.4%、「知的障がい者」では37.5%となっている。

図表Ⅱ-4-18 退所目標数〈SA〉

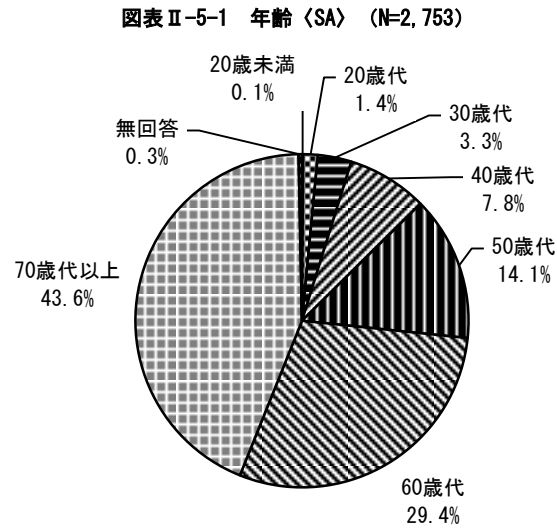


Ⅱ—5 精神科病院入院患者調査

1 年齢

A 平成 28 年 11 月 1 日現在の満年齢を記入してください。

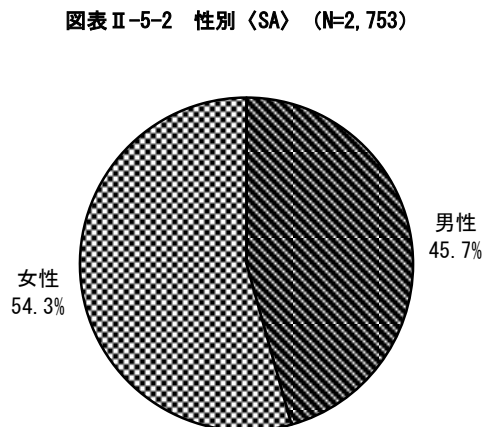
年齢は、「70 歳代以上」が 43.6%と最も高く、次いで「60 歳代」が 29.4%となっている。



2 性別

B 性別を次の区分により記入してください。

性別は、「女性」が 54.3%と高く、「男性」が 45.7%となっている。

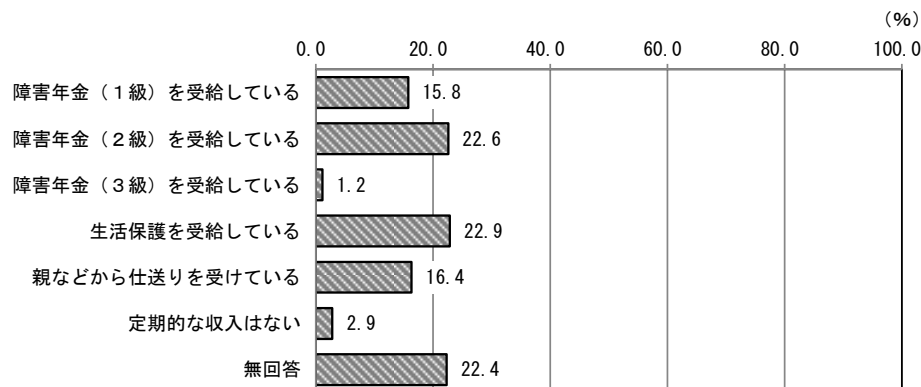


3 収入

C 主な収入の種類について次の区分により記入してください。(複数回答可)

収入は、「生活保護を受給している」が22.9%と最も高く、次いで「障害年金（2級）を受給している」が22.6%となっている。

図表Ⅱ-5-3 収入〈MA〉(N=2,753)

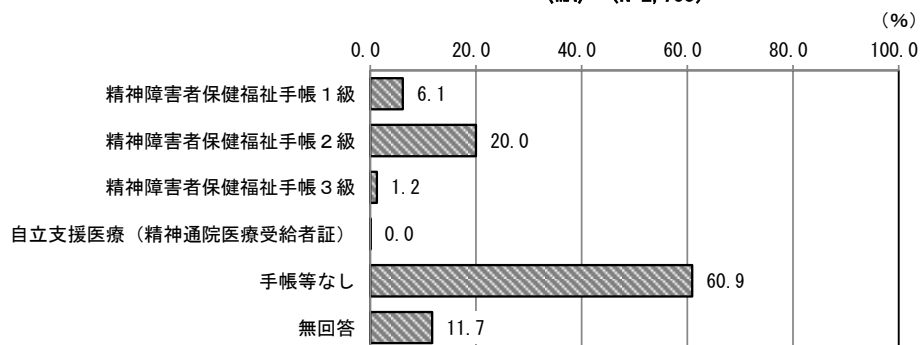


4 精神障害者福祉手帳等区分

D あなたが持っている障がい者手帳などの種類はどれですか。次の区分により記入してください。(複数回答可)

精神障害者福祉手帳等区分は、「手帳等なし」が60.9%と最も高く、次いで「精神障害者保健福祉手帳2級」が20.0%となっている。

図表Ⅱ-5-4 精神障害者福祉手帳等区分
〈MA〉(N=2,753)

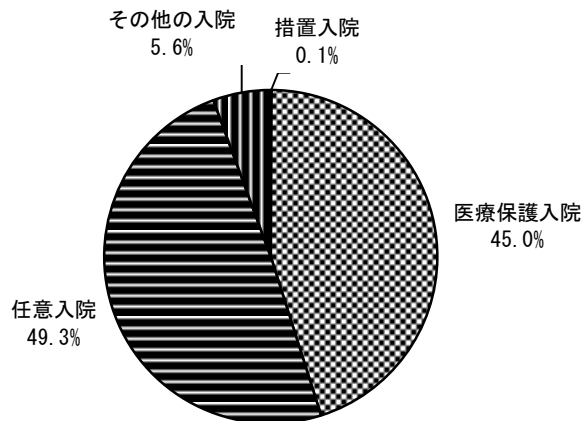


5 入院形態

E 入院形態を次の区分より記入してください。

入院形態は、「任意入院」が49.3%と最も高く、次いで「医療保護入院」が45.0%となっている。

図表Ⅱ-5-5 入院形態〈SA〉(N=2,753)

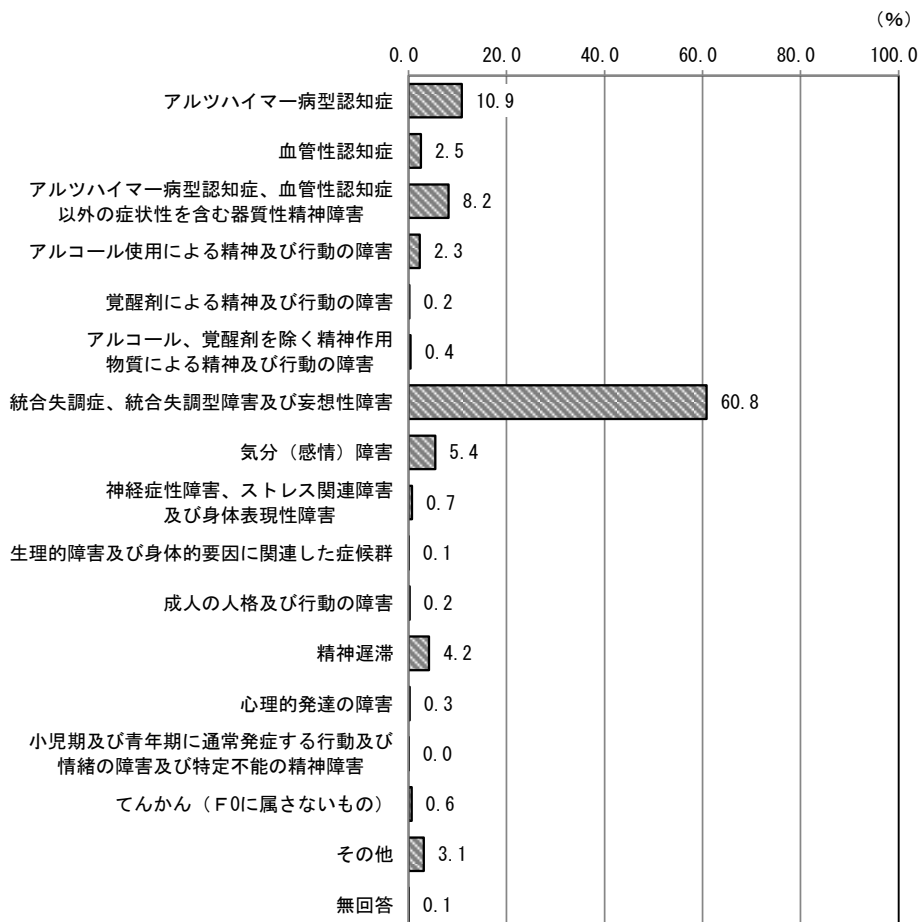


6 疾患名

F 疾患名を次の区分により記入してください（厚生労働省調査と同じ区分です）。

疾患名は、「統合失調症、統合失調型障害及び妄想性障害」が60.8%と最も高く、次いで「アルツハイマー病型認知症」が10.9%となっている。

図表Ⅱ-5-6 疾患名〈SA〉(N=2,753)

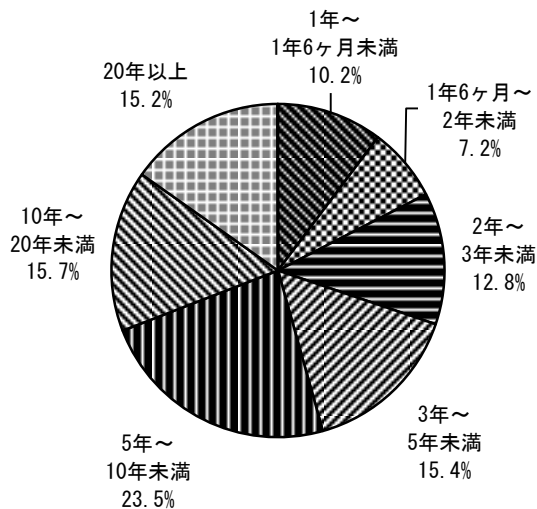


7 在院期間

G 在院期間を次の区分により記入してください。

在院期間は、「5年～10年未満」が23.5%と最も高く、次いで「10～20年未満」が15.7%となっている。

図表Ⅱ-5-7 在院期間〈SA〉(N=2,753)

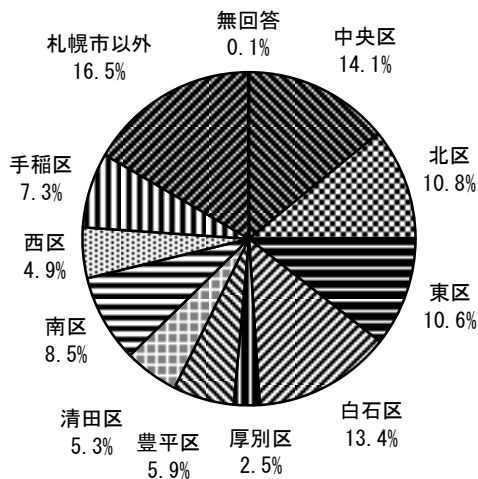


8 入院時の住所

H 入院時の住所（区）を記入してください。

入院時の住所は、「札幌市以外」が16.5%と最も高く、次いで「中央区」が14.1%となっている。

図表Ⅱ-5-8 入院時の住所〈SA〉(N=2,753)



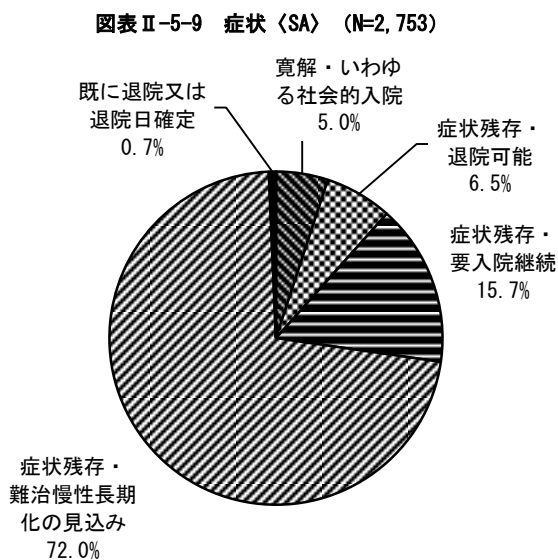
9 症状

I 症状を次の区分で記入してください。

以降、次のように略語を用いる。

- ・「症状は寛解（院内寛解）しているが、家族の受入困難や生活の場の確保が困難などの要因により入院継続」は「寛解・いわゆる社会的入院」
- ・「症状残存だが改善傾向にあり支援により退院可能」は「症状残存・退院可能」
- ・「症状残存で増悪、動揺又は経過不確定で退院に向けて要入院継続」は「症状残存・要入院継続」
- ・「症状残存で難治又は慢性長期化の見込み」は「症状残存・難治慢性長期化の見込み」
- ・「調査日には既に退院又は調査日には退院日確定」は「既に退院又は退院日確定」

症状は、「症状残存・難治慢性長期化の見込み」が72.0%と最も高く、次いで「症状残存・要入院継続」が15.7%となっている。



10 退院に向けての要件について

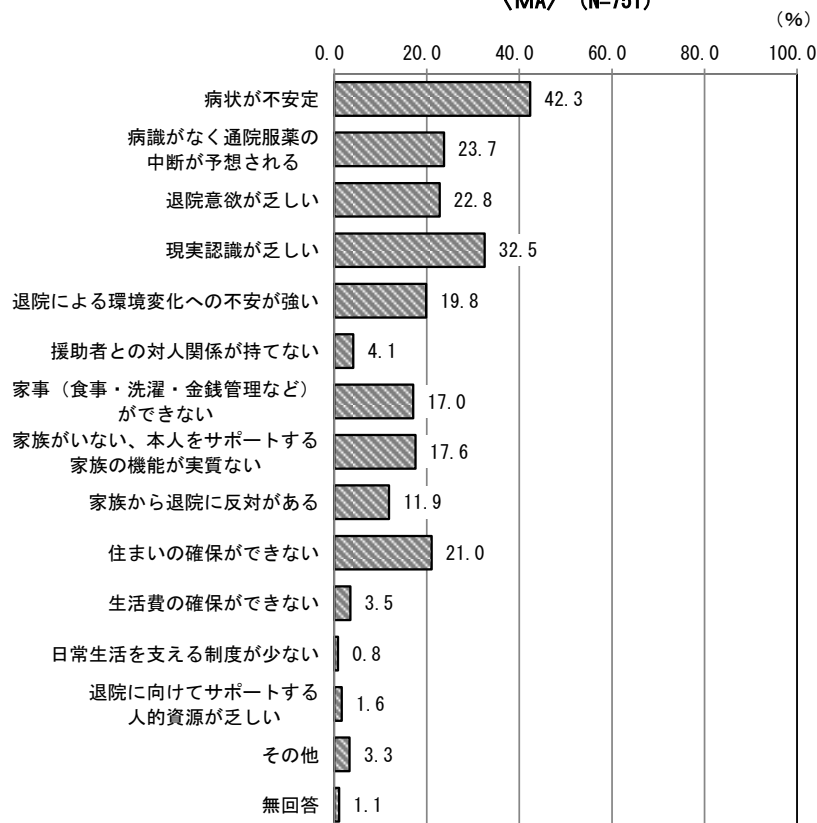
(1) 退院ができない要因

＜＜I の回答が1～3の方について記入してください。＞＞

J 退院に向けての課題となっている要因を記入してください（複数回答可）。

症状が「寛解・いわゆる社会的入院」「症状残存・退院可能」「症状残存・要入院継続」の人の退院が出来ない要因は「症状が不安定」が42.3%と最も高く、次いで「現実認識が乏しい」が32.5%となっている。

図表Ⅱ-5-10 退院ができない要因
〈MA〉 (N=751)



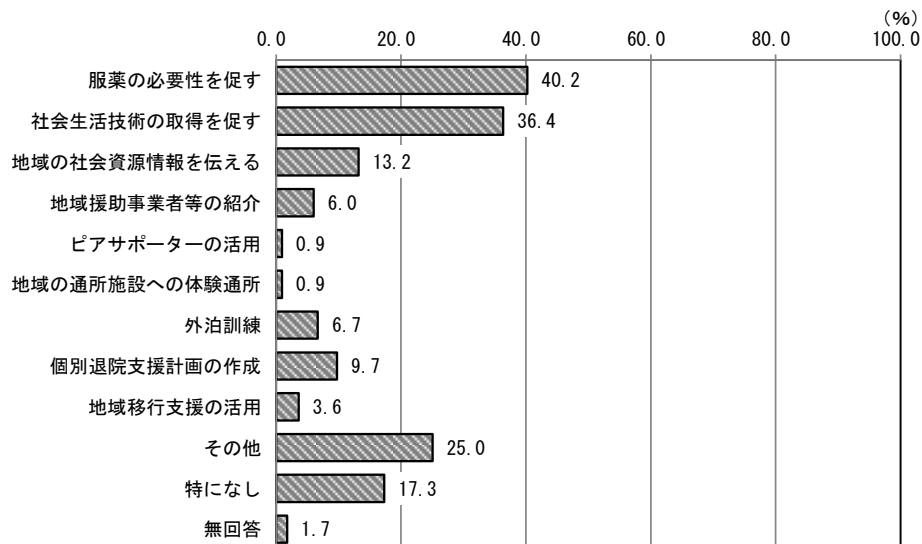
(2) 退院に向けての支援プログラム

<< I の回答が 1～3 の方について記入してください。 >>

K 病院内にて行っている支援プログラムについて記入してください（複数回答可）。

症状が「寛解・いわゆる社会的入院」「症状残存・退院可能」「症状残存・要入院継続」の人の退院に向けての支援プログラムは、「服薬の必要性を促す」が 40.2%と最も高く、次いで「社会生活技術の取得を促す」が 36.4%となっている。

図表 II-5-11 退院に向けての支援プログラム
(MA) (N=751)



1.1 退院に向けての必要資源について

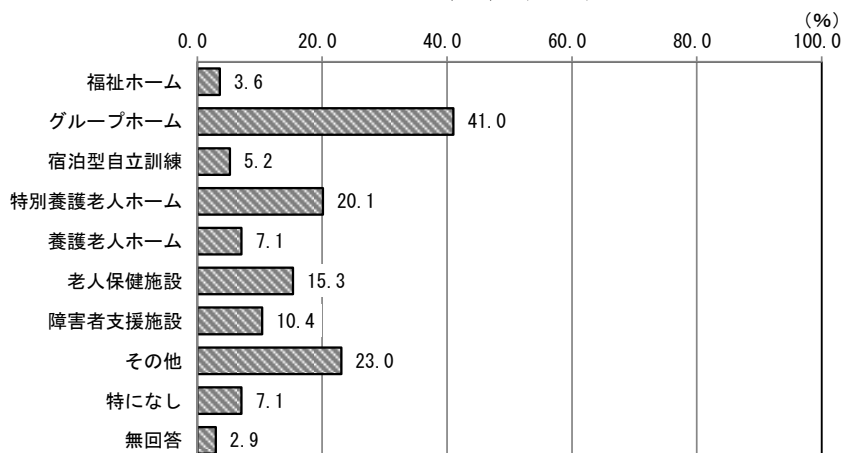
(1) 住まい

<< I の回答が 1～3 の方について記入してください。 >>

L 退院に向けて必要な資源を次の区分により記入してください（複数回答可）。

症状が「寛解・いわゆる社会的入院」「症状残存・退院可能」「症状残存・要入院継続」の人の退院に向けての必要資源〔住まい〕は「グループホーム」が 41.0%と最も高く、次いで「その他」が 23.0%となっている。

図表 II-5-12 退院に向けての必要資源〔住まい〕
(MA) (N=751)



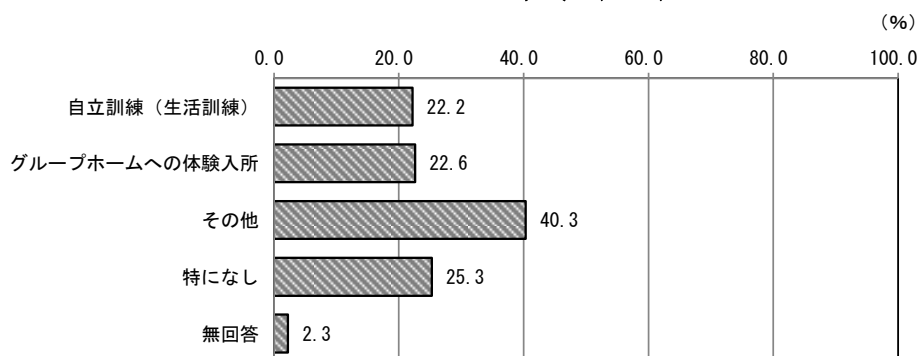
(2) 生活訓練

<< I の回答が 1～3 の方について記入してください。 >>

M 退院に向けて必要な資源を次の区分により記入してください（複数回答可）。

症状が「寛解・いわゆる社会的入院」「症状残存・退院可能」「症状残存・要入院継続」の人の退院に向けての必要資源〔生活訓練〕は「その他」が 40.3%と最も高く、次いで「特になし」が 25.3%となっている。

図表 II-5-13 退院に向けての必要資源〔生活訓練〕
(MA) (N=751)



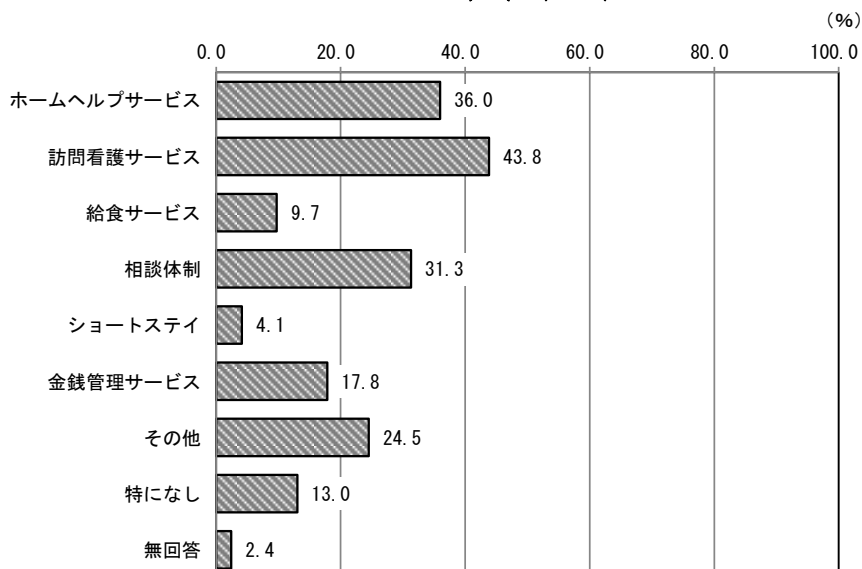
(3) 生活支援

<< I の回答が 1～3 の方について記入してください。 >>

N 退院に向けて必要な資源を次の区分により記入してください（複数回答可）。

症状が「寛解・いわゆる社会的入院」「症状残存・退院可能」「症状残存・要入院継続」の人の退院に向けての必要資源〔生活支援〕は「訪問看護サービス」が 43.8%と最も高く、次いで「ホームヘルプサービス」が 36.0%となっている。

図表 II-5-14 退院に向けての必要資源〔生活支援〕
(MA) (N=751)



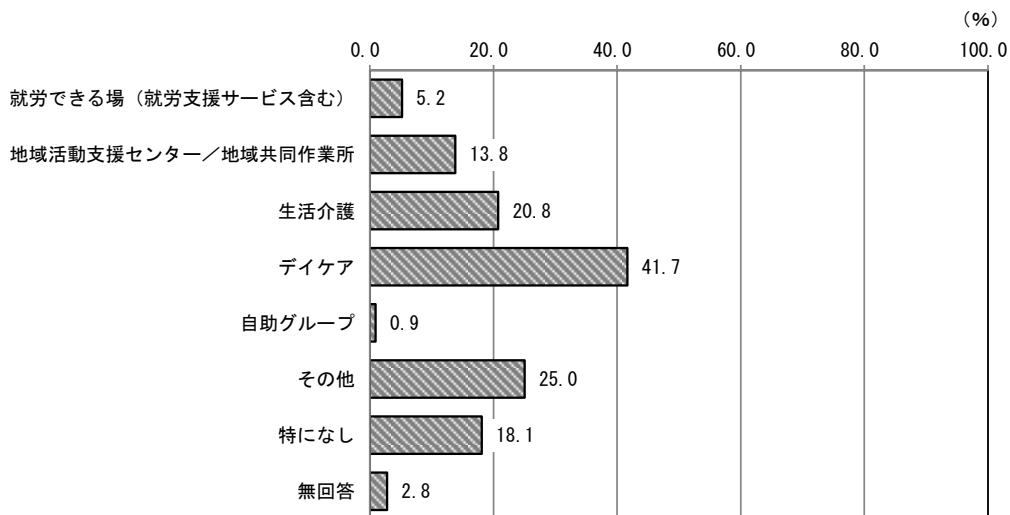
(4) 活動の場

＜＜I の回答が1～3の方について記入してください。＞＞

N 退院に向けて必要な資源を次の区分により記入してください（複数回答可）。

症状が「寛解・いわゆる社会的入院」「症状残存・退院可能」「症状残存・要入院継続」の人の退院に向けての必要資源〔活動の場〕は「デイケア」が41.7%と最も高く、次いで「その他」が25.0%となっている。

図表Ⅱ-5-15 退院に向けての必要資源〔活動の場〕
〈MA〉 (N=751)



Ⅱ—6 市民意識調査

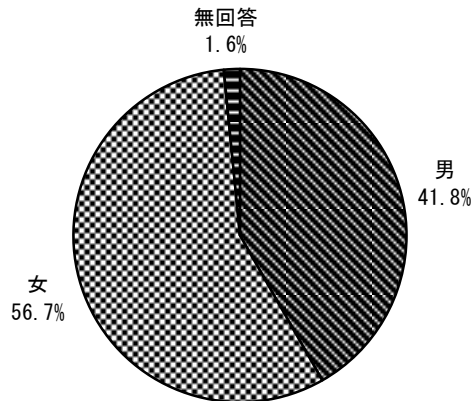
1 あなたのことについて

(1) 性別

問1 あなたの性別に○をつけてください。

性別は、「女性」が56.7%と高く、「男性」は41.8%となっている。

図表Ⅱ-6-1 性別〈SA〉(N=1,094)

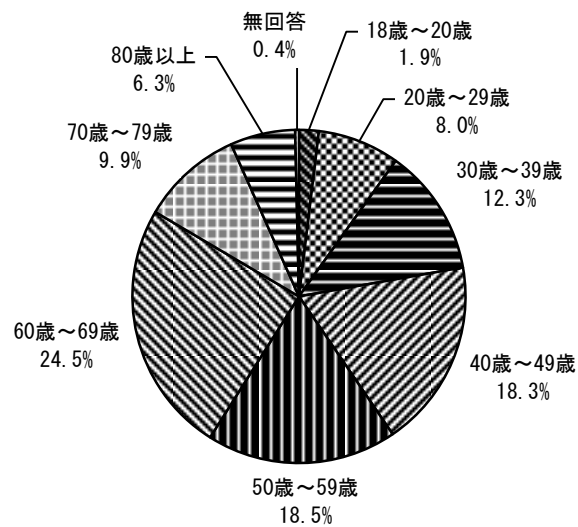


(2) 年齢

問2 あなたの年齢について、あてはまるものに○をつけてください。

年齢は、「60～69歳」が24.5%と最も高く、次いで「50～59歳」が18.5%となっている。

図表Ⅱ-6-2 年齢〈SA〉(N=1,094)



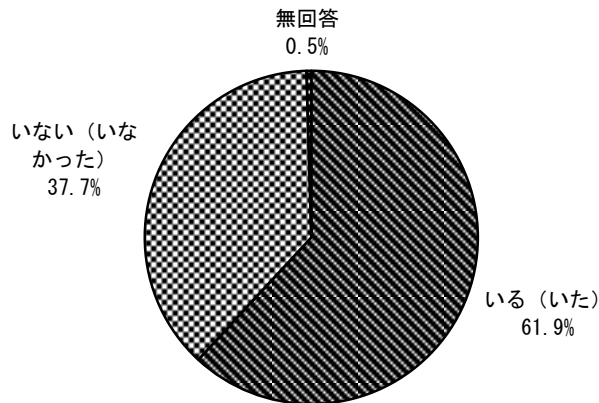
2 障がいのある人とのかかわりについて

(1) 身近に障がいのある人の有無

問3 あなたの身近に障がいのある人はいますか、または、これまでいたことがありますか。

身近に障がいのある人の有無は、「いる(いた)」が61.9%と高く、「いない(いなかった)」が37.7%となっている。

図表Ⅱ-6-3 身近に障がいのある人の有無〈SA〉(N=1,094)

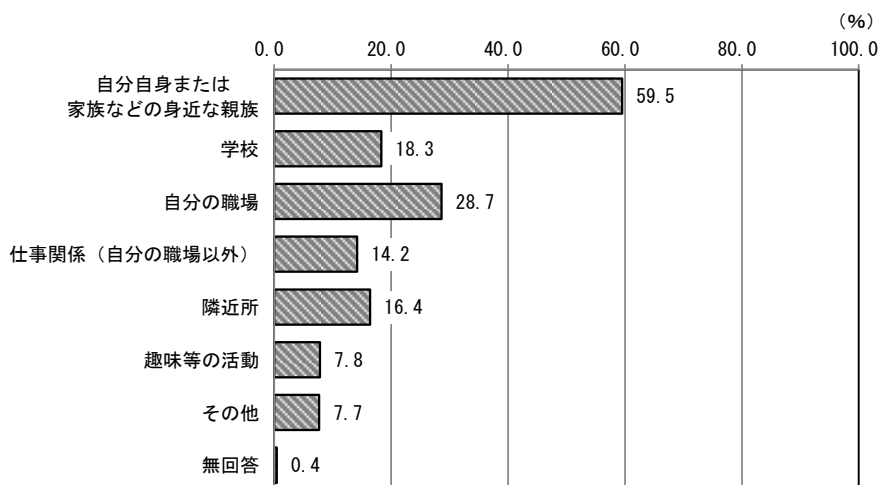


(2) 身近にいる(いた)障がいのある人について

問3-1 あなたの身近にいる(いた)障がいのある人は、どのようなところにいますか(いましたか)。あてはまるものすべてに○をつけてください。

身近にいる(いた)障がいのある人については、「自分自身または家族などの身近な親族」が59.5%と最も高く、次いで「自分の職場」が28.7%となっている。

図表Ⅱ-6-4 身近にいる(いた)障がいのある人について
〈MA〉(N=677) ※非該当除く

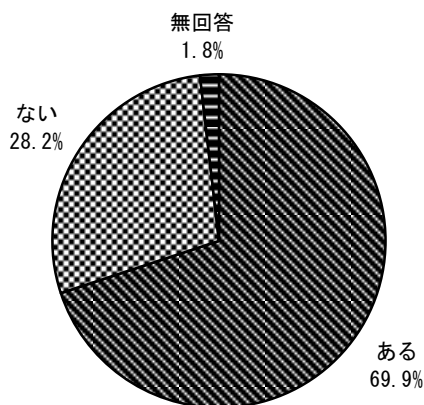


(3) 障がいのある人との会話や手助け

問 4 あなたは、障がいのある人と気軽に話したり、障がいのある人の手助けをしたりしたことがありますか。

障がいのある人との会話や手助けは、「ある」が69.9%と高く、「ない」が28.2%となっている。

図表Ⅱ-6-5 障がいのある人との会話や手助け〈SA〉 (N=1,094)

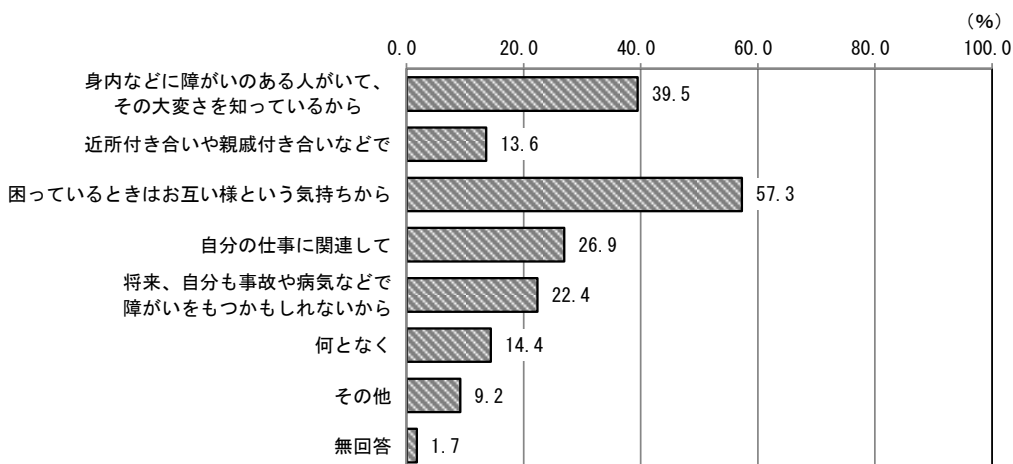


(4) 会話や手助け時の気持ち

問 4-1 それは、どのような気持ちからでしょうか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

会話や手助け時の気持ちは、「困っているときはお互い様という気持ちから」が57.3%と最も高く、次いで「身内などに障がいのある人がいて、その大変さを知っているから」が39.5%となっている。

図表Ⅱ-6-6 会話や手助け時の気持ち〈MA〉 (N=329) ※非該当除く

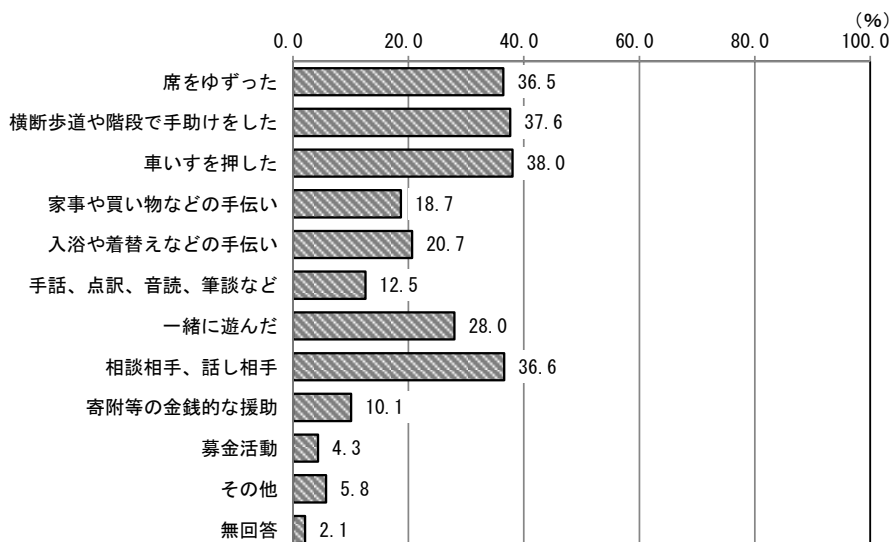


(5) 会話や手助けの内容

問 4-2 それは、どのような話や手助けでしたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

会話や手助けの内容は、「車いすを押した」が38.0%と最も高く、次いで「横断歩道や階段で手助けをした」が37.6%となっている。

図表Ⅱ-6-7 会話や手助けの内容〈MA〉
(N=765) ※非該当除く

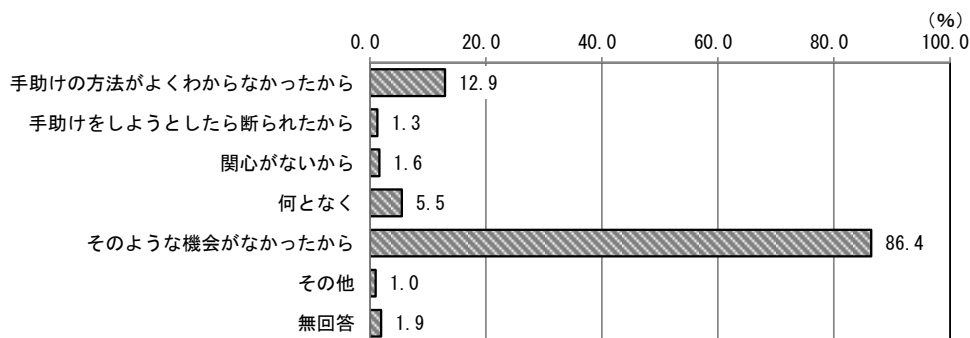


(6) 障がいのある人との会話や手助けをしたことがない理由

問 4-3 それは、どうしてですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

障がいのある人との会話や手助けをしたことがない理由は、「そのような機会がなかったから」が86.4%と最も高く、次いで「手助けの方法がよくわからなかったから」が12.9%となっている。

図表Ⅱ-6-8 障がいのある人との会話や手助けをした
ことがない理由〈MA〉 (N=309) ※非該当除く

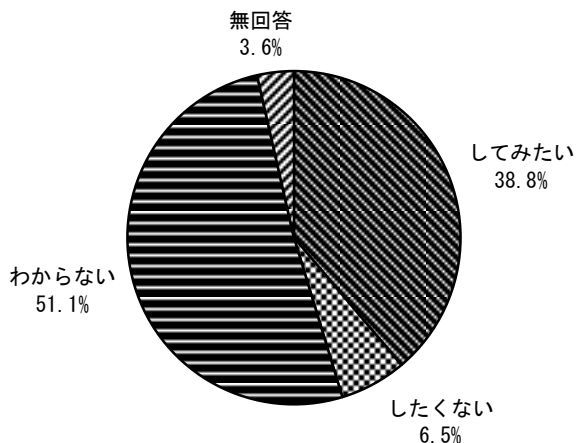


(7) 障がいのある人との会話や手助けへの意向

問 4-4 今後、障がいのある人の手助けなどをしてみたいと思いますか。

障がいのある人との会話や手助けへの意向は、「わからない」が 51.1%と最も高く、次いで「してみたい」が 38.8%となっている。

図表Ⅱ-6-9 障がいのある人との会話や手助けへの意向
(SA) (N=309) ※非該当除く

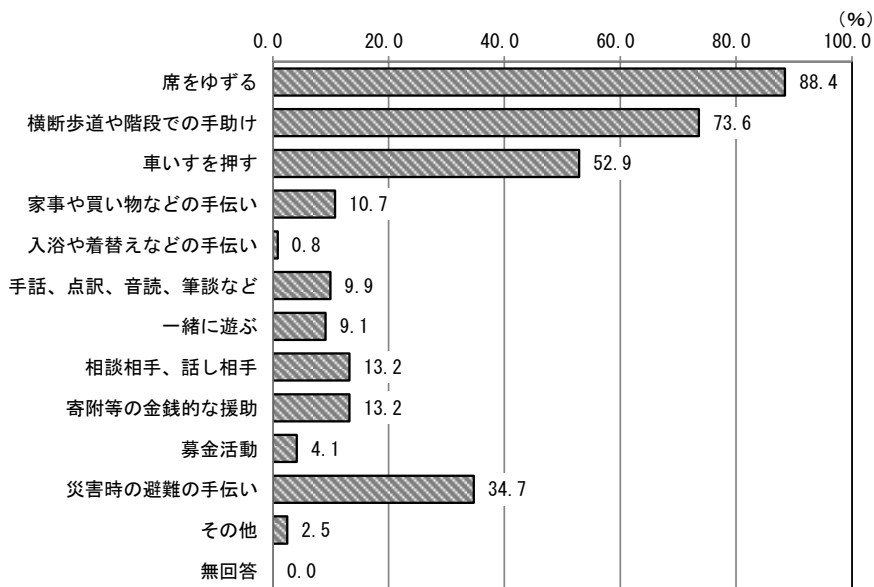


(8) 障がいのある人との会話や手助けの内容

問 4-5 それは、どのような手助けですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

障がいのある人との会話や手助けの内容は、「席をゆずる」が 88.4%と最も高く、次いで「横断歩道や階段での手助け」が 73.6%となっている。

図表Ⅱ-6-10 障がいのある人との会話や手助けの内容
(MA) (N=121) ※非該当除く



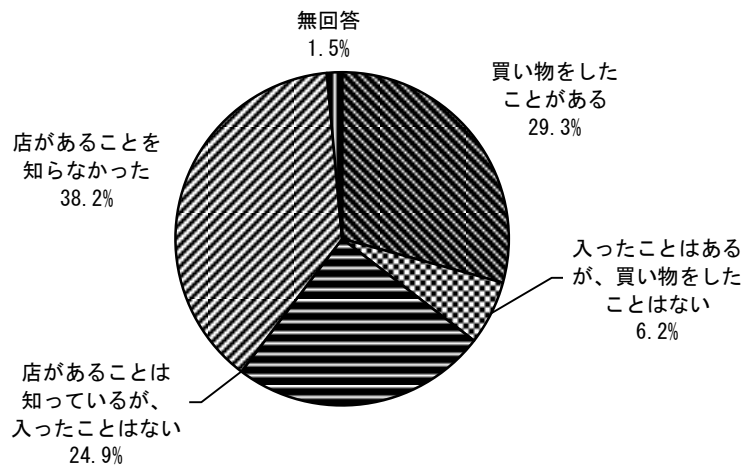
3 障がいのある人が働く店について

(1) 「元気ショップ」と「元気ショップいこ～る」での買い物の有無

問5 札幌市には、障がいのある人が障がい者施設等で製作した製品を売る店として、市営地下鉄南北線大通駅のコンコースにある「元気ショップ」とJR札幌駅西コンコースにある「元気ショップいこ～る」があります。あなたは、これらの店で買い物をしたことがありますか。

「元気ショップ」と「元気ショップいこ～る」での買い物の有無は、「店があることを知らなかった」が38.2%と最も高く、次いで「買い物をしたことがある」が29.3%となっている。

図表Ⅱ-6-11 「元気ショップ」と「元気ショップいこ～る」での買い物の有無〈SA〉(N=1,094)

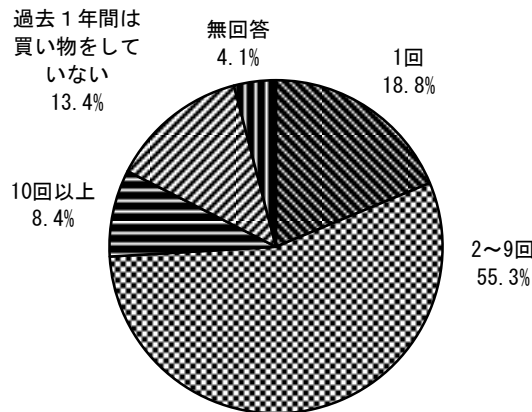


(2) 「元気ショップ」と「元気ショップいこ～る」での買い物の回数

問5-1 あなたは、これらの店で、過去1年間に何回買い物をしましたか。

「元気ショップ」と「元気ショップいこ～る」での買い物の回数は、「2～9回」が55.3%と最も高く、次いで「1回」が18.8%となっている。

図表Ⅱ-6-12 「元気ショップ」と「元気ショップいこ～る」での買い物の回数〈SA〉(N=320) ※非該当除く



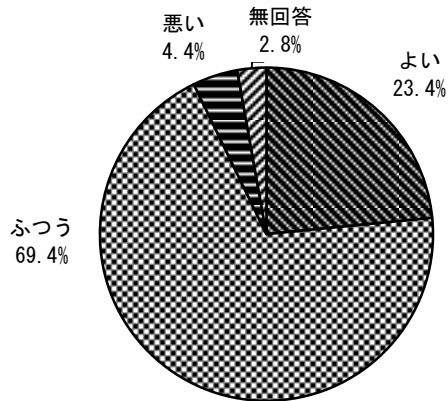
(3) 「元気ショップ」と「元気ショップいこ〜る」の評価

問 5-2 品揃えや値段、(お買い物された)商品の質、接客はどうでしたか。それぞれの項目について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

① 品揃え

品揃えは、「ふつう」が69.4%と最も高く、次いで「よい」が23.4%となっている。

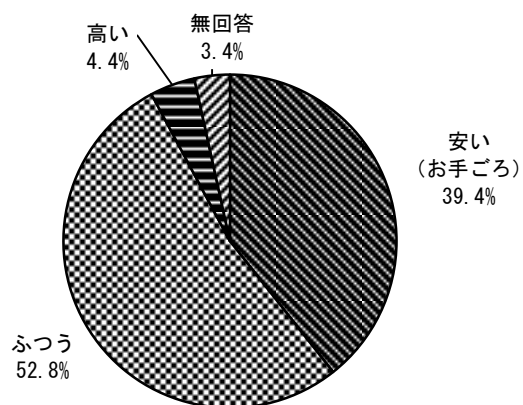
図表Ⅱ-6-13 品揃え〈SA〉(N=320) ※非該当除く



② 値段

値段は、「ふつう」が52.8%と最も高く、次いで「安い(お手ごろ)」が39.4%となっている。

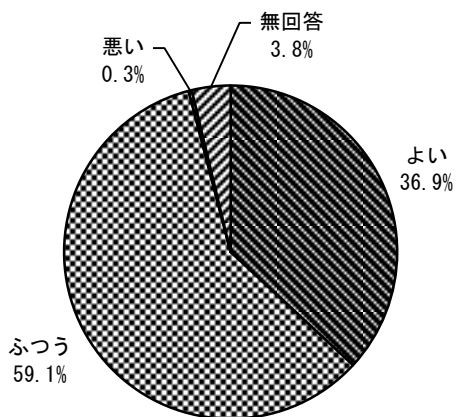
図表Ⅱ-6-14 値段〈SA〉(N=320) ※非該当除く



③ 商品の質

商品の質は、「ふつう」が59.1%と最も高く、次いで「よい」が36.9%となっている。

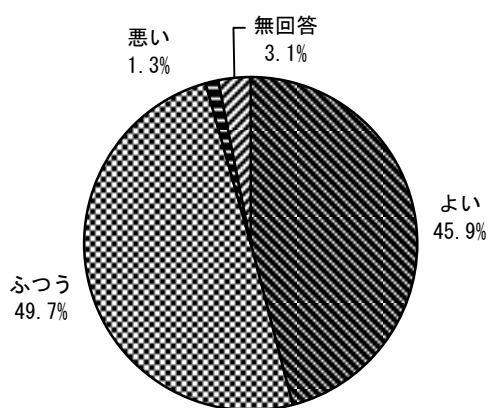
図表Ⅱ-6-15 商品の質〈SA〉(N=320) ※非該当除く



④ 接客

接客は、「ふつう」が49.7%と最も高く、次いで「よい」が45.9%となっている。

図表Ⅱ-6-16 接客〈SA〉(N=320) ※非該当除く

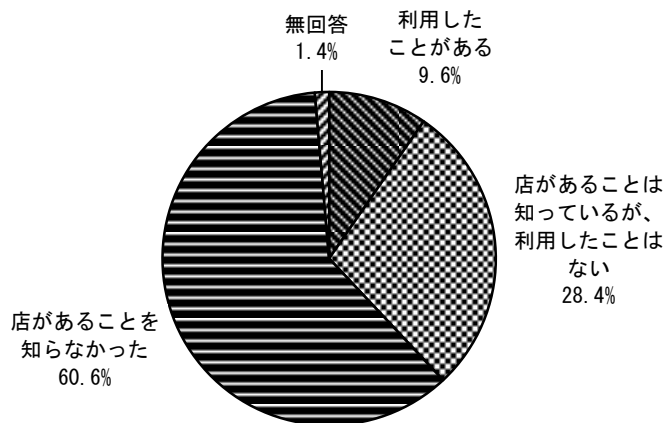


(4) 「元気カフェ」利用の有無

問6 札幌市では、多くの市民が訪れる公共施設等の空間を生かし、障がいのある人が接客等を通じてさまざまな方と交流することで、障がいに対する市民の理解促進につなげていくことなどを目的として、札幌市役所1階、社会福祉総合センター1階、中央図書館1階、白石区複合庁舎1階の計4箇所に「元気カフェ」を設置しています（運営事業者に対する補助）。あなたは、「元気カフェ」を利用したことがありますか。

「元気カフェ」利用の有無は、「店があることを知らなかった」が60.6%と最も高く、次いで「店があることは知っているが、利用したことはない」が28.4%となっている。

図表Ⅱ-6-17 「元気カフェ」利用の有無〈SA〉(N=1,094)

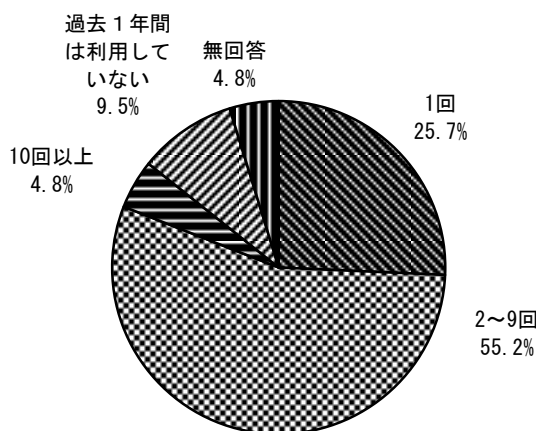


(5) 過去1年間の「元気カフェ」の利用回数

問6-1 あなたは、「元気カフェ」を、過去1年間で何回利用しましたか。

過去1年間の「元気カフェ」の利用回数は、「2～9回」が55.2%と最も高く、次いで「1回」が25.7%となっている。

図表Ⅱ-6-18 過去1年間の「元気カフェ」の利用回数〈SA〉(N=105) ※非該当除く



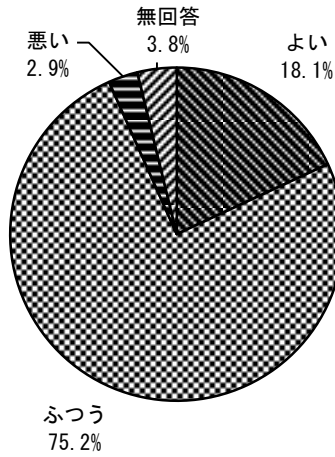
(6)「元気カフェ」の評価

問 6-2 品揃えや値段、(お買い物された)商品の質、接客はどうでしたか。それぞれの項目について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

① 品揃え

品揃えは、「ふつう」が75.2%と最も高く、次いで「よい」が18.1%となっている。

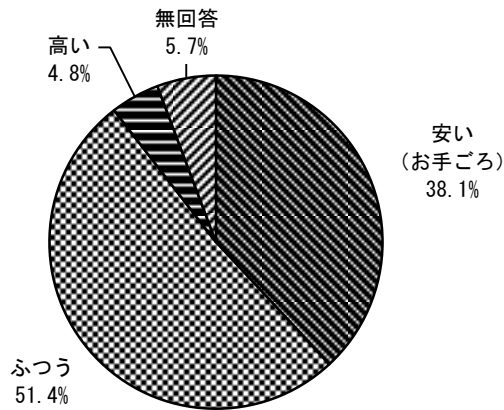
図表Ⅱ-6-19 品揃え〈SA〉(N=105) ※非該当除く



② 値段

値段は、「ふつう」が51.4%と最も高く、次いで「安い(お手ごろ)」が38.1%となっている。

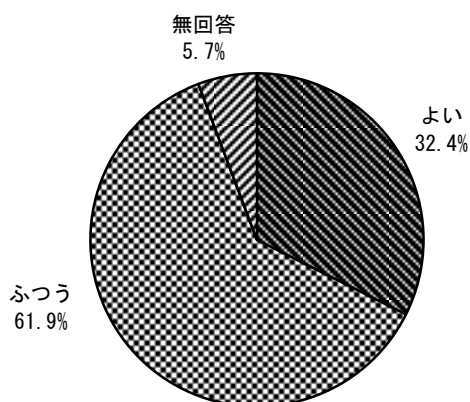
図表Ⅱ-6-20 値段〈SA〉(N=105) ※非該当除く



③ 商品の質

商品の質は、「ふつう」が61.9%と最も高く、次いで「よい」が32.4%となっている。

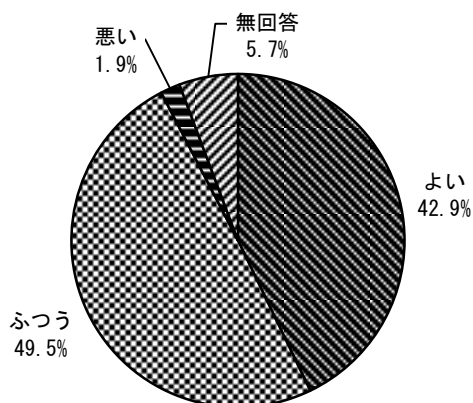
図表Ⅱ-6-21 商品の質〈SA〉(N=105) ※非該当除く



④ 接客

接客は、「ふつう」が49.5%と最も高く、次いで「よい」が42.9%となっている。

図表Ⅱ-6-22 接客〈SA〉(N=105) ※非該当除く



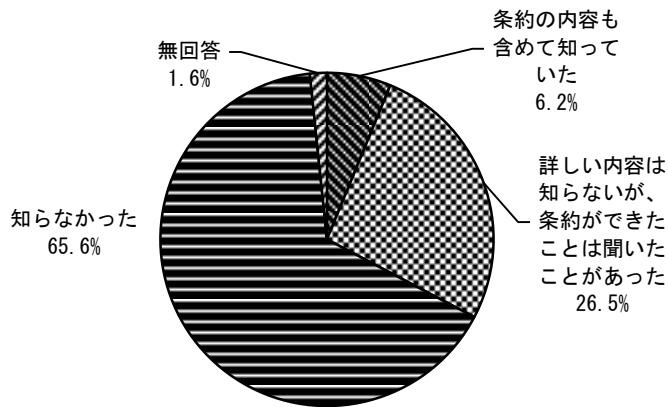
4 障害者権利条約などについて

(1) 「障害者権利条約」の認知度

問7 国連は、平成18年12月に「障害者権利条約」を採択しました。この条約は、障がいのある人の権利や尊厳を保護するため、障がいを理由とする差別の禁止や、障がいのある人が障がいのない人と同じように暮らすための様々な施策を包括的に定めるもので、平成19年9月に、日本もこの条約に署名しました。あなたは、この条約について知っていましたか。

「障害者権利条約」の認知度は、「知らなかった」が65.6%と最も高く、次いで「詳しい内容は知らないが、条約ができたことは聞いたことがあった」が26.5%となっている。

図表Ⅱ-6-23 「障害者権利条約」の認知度
(SA) (N=1,094)

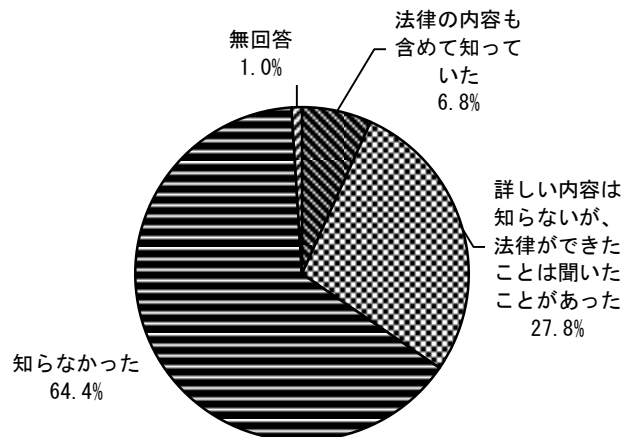


(2) 「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律（障害者虐待防止法）」の認知度

問8 平成24年10月に「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律（障害者虐待防止法）」が施行されました。この法律は、国や地方公共団体、障害福祉サービス従事者等、雇用主などに障がい者虐待の防止等のための責務を課すとともに、障がい者虐待を受けたと思われる障がい者を発見した人に対して通報義務を課しています。あなたは、この法律について知っていましたか。

「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律（障害者虐待防止法）」の認知度は、「知らなかった」が64.4%と最も高く、次いで「詳しい内容は知らないが、法律ができたことは聞いたことがあった」が27.8%となっている。

図表Ⅱ-6-2 「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律（障害者虐待防止法）」の認知度 (SA) (N=1,094)

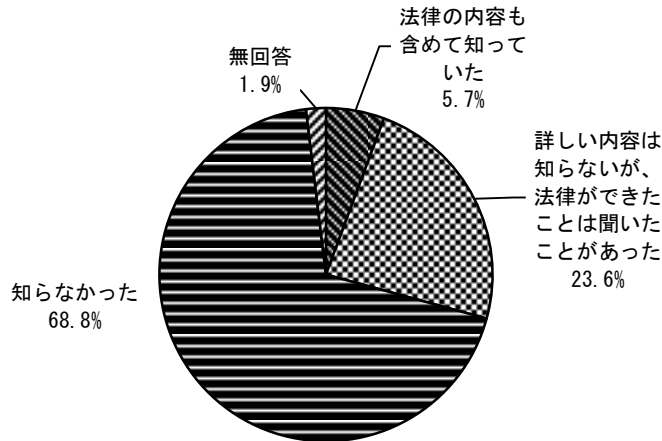


(3) 「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」の認知度

問9 平成25年6月に「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」が公布され、平成28年4月から施行されました。この法律では、国や地方公共団体、民間事業者に差別的取扱いの禁止などを規定するとともに、差別を解消するための措置などを規定しています。あなたは、この法律について知っていましたか。

「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」の認知度は、「知らなかった」が68.8%と最も高く、次いで「詳しい内容は知らないが、法律ができたことは聞いたことがあった」が23.6%となっている。

図表Ⅱ-6-25 「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」の認知度〈SA〉(N=1,094)

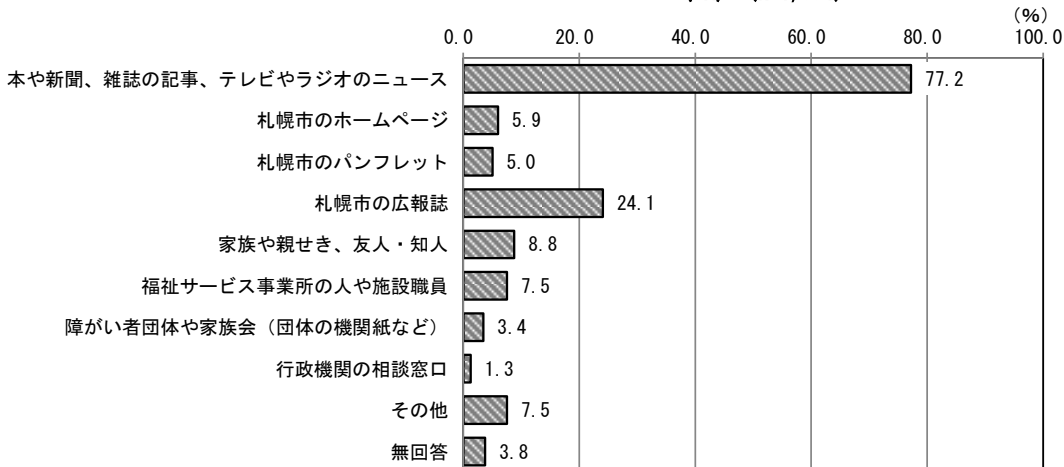


(4) 「障害者差別解消法」を知ったきっかけ

問9-1 あなたは、「障害者差別解消法」を何で知りましたか。あてはまるもの3つまで○をつけてください。

「障害者差別解消法」を知ったきっかけは、「本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース」が77.2%と最も高く、次いで「札幌市の広報誌」が24.1%となっている。

図表Ⅱ-6-26 「障害者差別解消法」を知ったきっかけ〈SA〉(N=1,094)



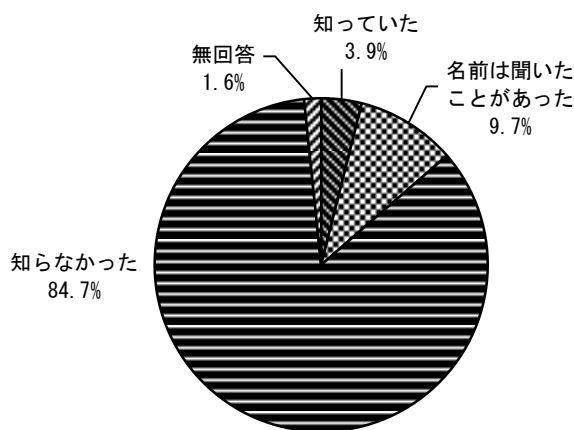
5 札幌市の施策について

(1) 「さっぽろ障がい者プラン」の認知度

問 10 札幌市では、「さっぽろ障がい者プラン」(計画期間：平成 24 年度～平成 29 年度)を策定しています。これは、障がいのある方の自立や社会参加の支援等について、その基本的な施策を定めるとともに、障害福祉サービス等に係る提供体制の確保に関し、サービスごとの必要な量の見込みなどについて定めています。あなたは、この計画があることを知っていましたか。

「さっぽろ障がい者プラン」の認知度は、「知らなかった」が 84.7%と最も高く、次いで「名前は聞いたことがあった」が 9.7%となっている

図表Ⅱ-6-27 「さっぽろ障がい者プラン」の認知度
(SA) (N=1,094)

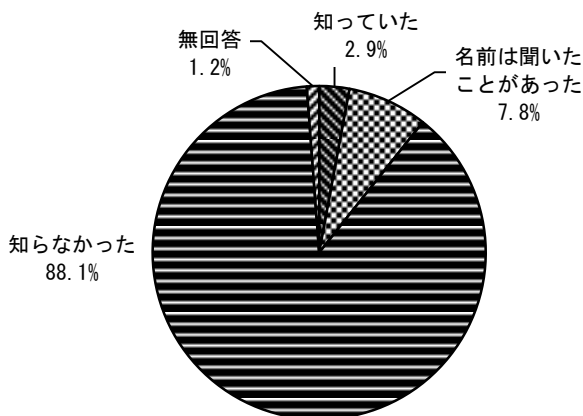


(2) 「心のバリアフリーガイド」について

問 11 札幌市では、「心のバリアフリーガイド」という冊子を作成しております。これは、障がいのある方の障がいの種別ごとにその症状や困っていることなどをまとめたものです。あなたは、この冊子があることを知っていましたか。

「心のバリアフリーガイド」については、「知らなかった」が 88.1%と最も高く、次いで「名前は聞いたことがあった」が 7.8%となっている。

図表Ⅱ-6-28 「心のバリアフリーガイド」について
(SA) (N=1,094)



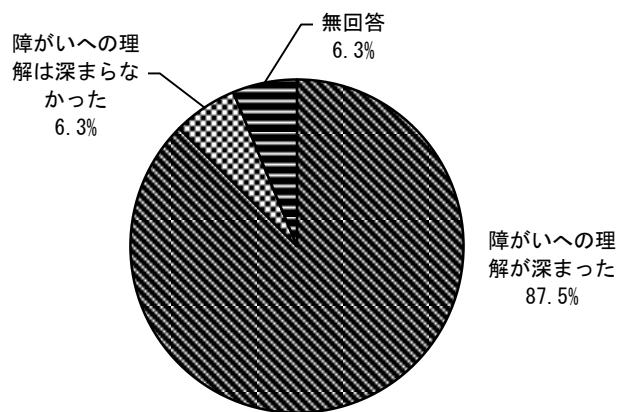
(3) 「心のバリアフリーガイド」の内容

問 11-1 あなたは、「心のバリアフリーガイド」を読んでどう思いましたか。

「心のバリアフリーガイド」の内容は、「障がいへの理解が深まった」が 87.5%と高く、「障がいへの理解は深まらなかった」が 6.3%となっている。

図表Ⅱ-6-29 「心のバリアフリーガイド」の内容

〈SA〉 (N=32) ※非該当除く



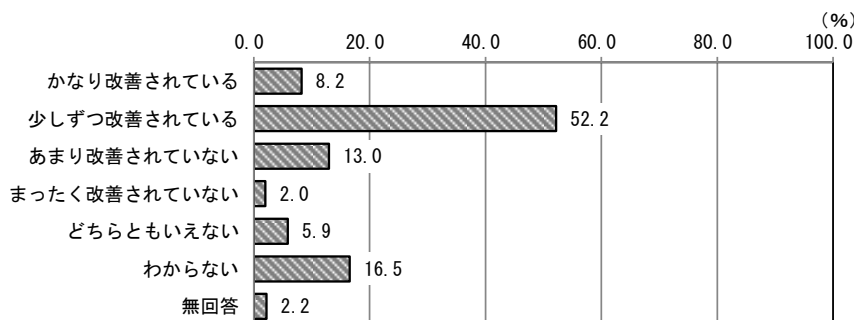
(4) 物理的バリアの改善について

問 12 札幌市では、障がいのある人もない人も、市民誰もが互いに人格と個性を尊重し支え合う「共生社会の実現」のために、4つの障壁・バリア（物理的バリア、制度的バリア、文化・情報面でのバリア、意識上のバリア）を取り除き、障がいについての理解促進を図ることとしています。この取組に関して、次の問いにお答えください。

(1) 3年前と比べて、物理的バリア（建物の出入口や通路に段差があり、車いすなどが利用できない）は、改善されていると感じますか。

物理的バリアの改善については、「少しずつ改善されている」が 52.2%と最も高く、次いで「わからない」が 16.5%となっている。

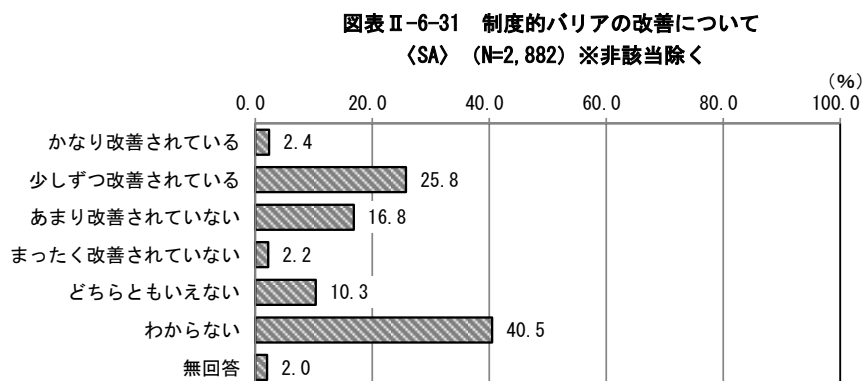
図表Ⅱ-6-30 物理的バリアの改善について〈SA〉 (N=1,094)



(5) 制度的バリアの改善について

(2) 3年前と比べて、制度的バリア（障がいがあることで資格が制限され、十分な社会活動ができない）は、改善されていると感じますか。

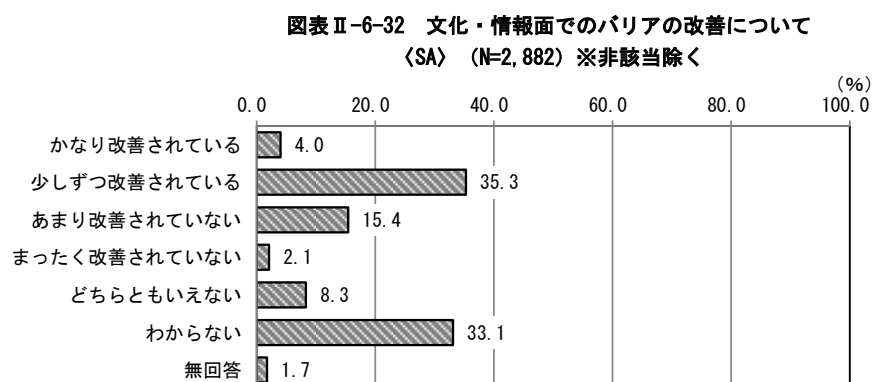
制度的バリアの改善については、「わからない」が40.5%と最も高く、次いで「少しずつ改善されている」が25.8%となっている。



(6) 文化・情報面でのバリアの改善について

(3) 3年前と比べて、文化・情報面でのバリア（点字や音声案内、手話通訳などがなく情報が伝わらない）は、改善されていると感じますか。

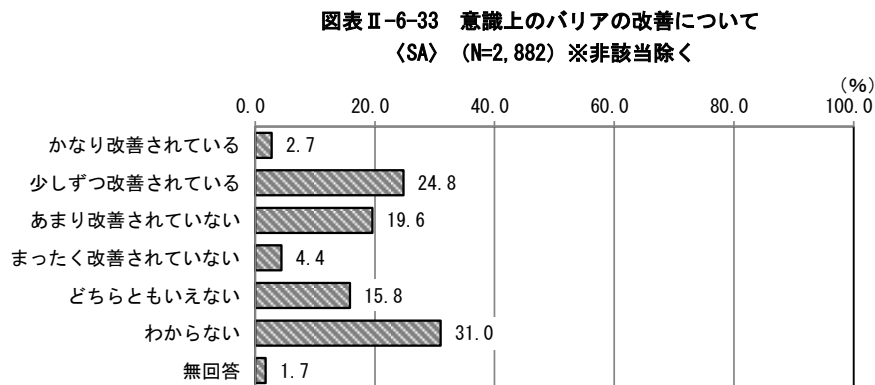
文化・情報面でのバリアの改善については、「少しずつ改善されている」が35.3%と最も高く、次いで「わからない」が33.1%となっている。



(7) 意識上のバリアの改善について

(4) 3年前と比べて、意識上のバリア（障がいのある人などへの偏見や哀れみの感情を抱き、平等な交流ができない）は、改善されていると感じますか。

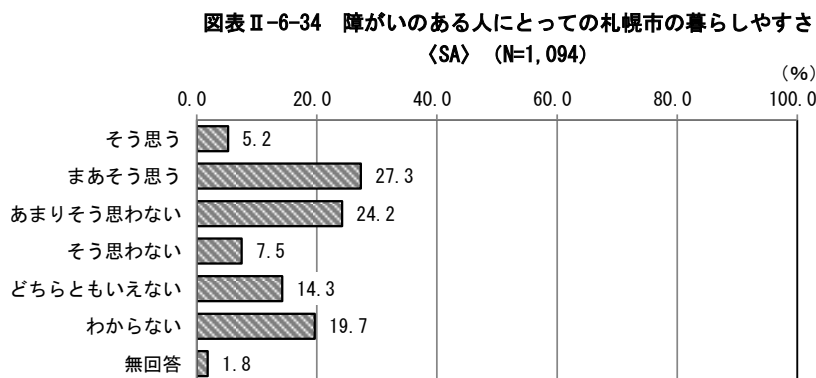
意識上のバリアの改善については、「わからない」が31.0%と最も高く、次いで「少しずつ改善されている」が24.8%となっている。



(8) 障がいのある人にとっての札幌市の暮らしやすさ

問13 あなたは、札幌市が障がいのある人にとって地域で普通に暮らしやすい都市であると思いますか。

障がいのある人にとっての札幌市の暮らしやすさは、「まあそう思う」が27.3%と最も高く、次いで「あまりそう思わない」が24.2%となっている。

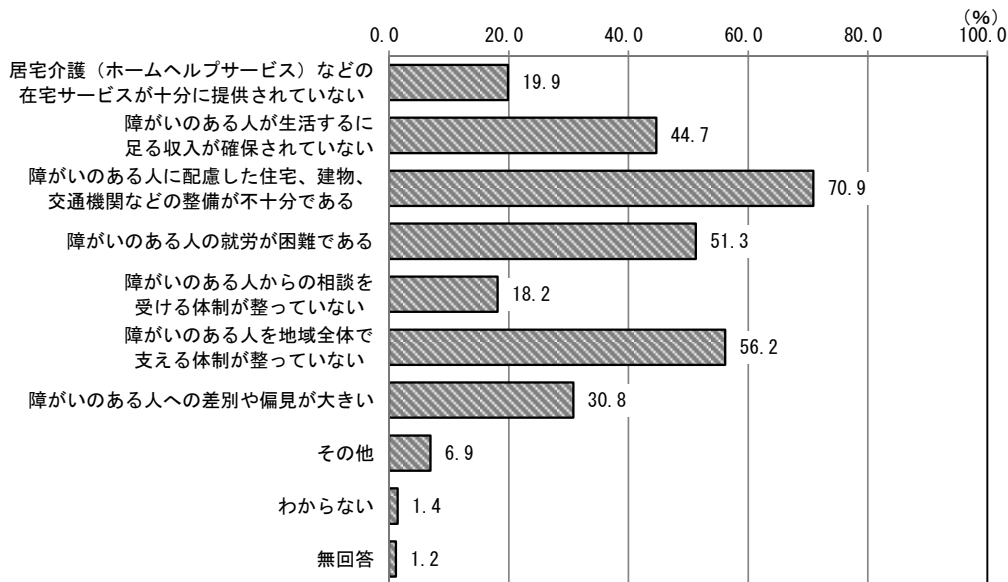


(9) 「暮らしやすいと思わない」理由

問 13-1 「そう思わない」理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「暮らしやすいと思わない」理由は、「障がいのある人に配慮した住宅、建物、交通機関などの整備が不十分である」が 70.9%と最も高く、次いで「障がいのある人を地域全体で支える体制が整っていない」が 56.2%となっている。

図表Ⅱ-6-35 「暮らしやすいと思わない」理由
〈MA〉 (N=347) ※非該当除く

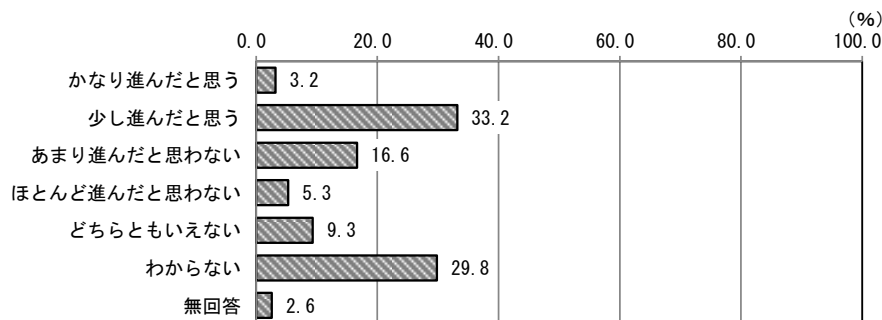


(10) 障がい者対策について

問 14 あなたは、3年前と比べて、福祉・教育・まちづくりなどの障がい者施策は進んだと思いますか。

障がい者対策については、「少し進んだと思う」が 33.2%と最も高く、次いで「わからない」が 29.8%となっている。

図表Ⅱ-6-36 障がい者対策について〈SA〉 (N=1,094)



(11) 障がいのある人に関する施策のうち、札幌市がもっと力を入れる必要があるもの

問 15 障がいのある人に関する施策のうち、札幌市がもっと力を入れる必要があるとあなたが思うものは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

障がいのある人に関する施策のうち、札幌市がもっと力を入れる必要があるものは、「障がいのある人に配慮した住宅、建物、交通機関などの整備」が 51.6%と最も高く、次いで「障がいに対する理解の促進」が 50.7%となっている。

図表Ⅱ-6-37 障がいのある人に関する施策のうち、札幌市がもっと力を入れる必要があるもの〈MA〉(N=1,094)

